

2022 年度～2026 年度

第4次交野市子ども読書活動推進計画

子どもと家庭・学校・地域

令和4年3月
交野市・交野市教育委員会



はじめに

「子どもの読書活動の推進に関する法律」において、子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならないと規定しています。そのため、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的に、4月23日を「子ども読書の日」として定めています。

しかしながら、近年においてはインターネット環境やスマートフォン等情報通信機器の急速な進展により、利便性は大幅に高まったものの、中学生や高校生の文字・活字離れを急速に進めることとなり、子どもの読書環境にも大きな影響を与えています。国においては、学校段階における読書離れを大きな課題と捉え、子どもの読書環境を整備することは極めて重要な課題と考えています。

国の「第四次子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」では、市町村の役割として、子どもの読書活動を一層推進するため、教育委員会のみならず福祉部局等が連携することに加え、学校、図書館、民間団体、民間企業といった関係者の連携、協力によって横断的な取組みができるよう体制を整備することが求められています。

読書を楽しむことは子どもの豊かな感性や情操を育み、成長していく子どもたちを支え続けます。そのため、すべての子どもが自主的に読書活動できるよう、社会全体で積極的にそのための環境の整備を推進していくことは極めて重要とされています。

交野市では「第2・3次子ども読書活動推進計画」を引き継ぎながら、時代の変化を踏まえてその内容を見直し、今後の子どもの読書活動を推進する環境を整えるため、前計画の改定版として「第4次子ども読書活動推進計画」を策定しました。

この計画により、家庭・学校・地域で、子どもの読書活動が進むとともに、読書活動を通じて地域や世代間の交流が進み、子どもたちの読書環境がより良いものになることを願っています。

結びに、本計画の策定にあたり、ご協力をいただきました関係者の皆様方に御礼申し上げます。

交野市・交野市教育委員会

目 次

第1章 第4次交野市子ども読書活動推進計画の策定について ----- 1

1. 背景 ----- 1
2. 策定の理念 ----- 1
3. 第4次交野市子ども読書活動推進計画の位置づけ ----- 2
4. 計画期間 ----- 3
5. 計画の推進主体 ----- 3
6. 計画の進行管理（推進体制） ----- 3

第2章 第2・3次交野市子ども読書活動推進計画の取組み成果と課題 ----- 4

1. 大阪府における子どもの読書活動推進の調査内容と交野市の調査内容 ----- 4
2. 第2・3次計画期間中の市立図書館の主な取組みと成果 ----- 12
3. 学校図書館の状況 ----- 14
4. 地域の状況 ----- 15
5. 取組み概要及び成果 ----- 17

第3章 第4次交野市子ども読書活動推進計画 ----- 24

1. 家庭における子どもの読書活動の推進 ----- 27
2. 学校等における子どもの読書活動の推進 ----- 28
3. 地域における子どもの読書活動の推進 ----- 32
4. 市立図書館における子どもの読書活動の推進 ----- 33
5. 子どもの読書活動の普及啓発活動 ----- 37

参考資料 ----- 38

1. 第4次交野市子ども読書活動推進計画策定に係る事務処理要領 ----- 38
2. アンケート集計結果 ----- 40
3. 子どもの読書活動の推進に関する法律 ----- 70
4. 用語集 ----- 72

第1章

第4次交野市子ども読書活動推進計画の策定について

1. 背景

交野市では、平成18年度に「第1次交野市子ども読書活動推進計画」を策定しました。電子書籍元年といわれる平成22年度以降、子どもの貸出冊数や利用者数の減少など図書館離れとともに、読書離れの傾向が顕著に現れてきました。このことから、平成27年には国の「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」や「第2次大阪府子ども読書活動推進計画」を参酌し、「第2・3次交野市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動を推進してきました。

近年、グローバル化の進展や高度情報化への技術革新により多くの情報が溢れ、GIGAスクール構想の実現等、子どもを取り巻く社会環境が急激に変化しています。特に、整備の進んだインターネット環境やスマートフォン等情報通信機器の急速な普及、それらを活用したSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）等、コミュニケーションツールの多様化は子どもたちを取り巻く読書環境に大きな影響を与えています。また、情報や知識の習得方法、読書形態が変わりつつある中、とりわけ、中学生や高校生の読書離れを急速に進めることとなっています。そのような中で、読書活動は情報を基に自分の考えを形成し表現するなどの「新しい時代に必要となる資質・能力」を育むことになるとの点からも重要性が高まっています。

このような状況を踏まえ、今般、国の「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（第四次）及び「第4次大阪府子ども読書活動推進計画」を参酌し、「第4次交野市子ども読書活動推進計画」を策定いたしました。

家庭・学校・地域・図書館等が連携し、子どもの読書への関心を高め、子どもが発達段階に応じた読書習慣を身につけ、生涯にわたって読書を楽しむことができるよう、社会全体で子どもの読書活動を推進する必要があると考えています。

2. 策定の理念

本計画では、第2・3次交野市子ども読書活動推進計画に掲げた基本理念を継承します。

「子どもの周りに本があること」

「子どもが本を読みたいと思うきっかけをつくる人が周りにいること」

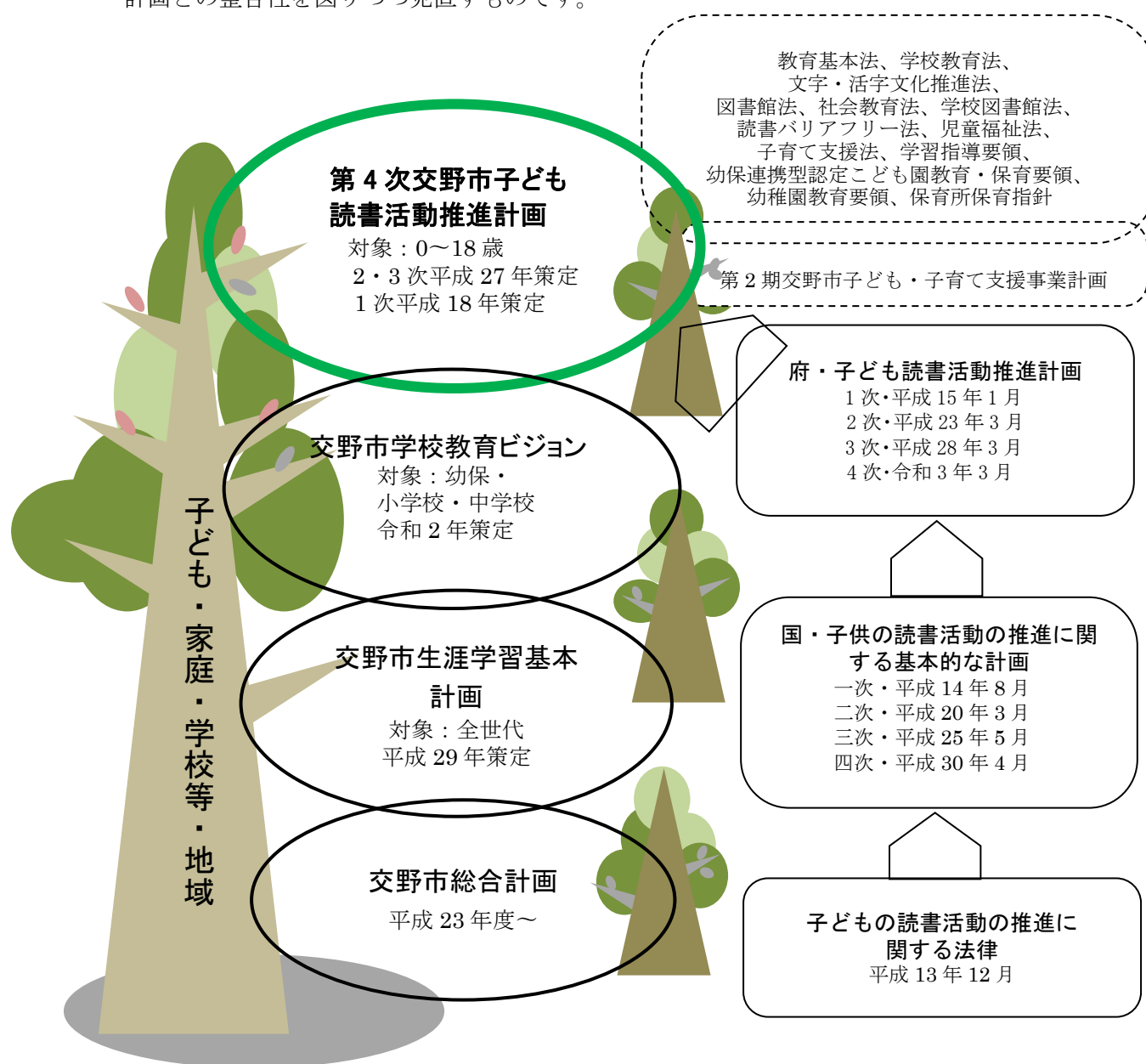
全ての子どもが読書への興味・関心を高め、必要な知識を得るとともに、自ら読書活動ができるよう家族や学校、地域みんなでその環境づくりをめざします。

子どもの読書活動の推進に関する法律（基本理念）

第2条 子ども読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

3. 第4次交野市子ども読書活動推進計画の位置づけ

本計画は「第2・3次交野市子ども読書活動推進計画」の理念を引き継ぐとともに、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第4条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。」また、同法第9条2「市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画を策定するよう努めなければならない。」と規定されていることから、府が第4次計画を策定した状況を踏まえ、本市でも平成27年に策定した第2・3次計画を市の上位計画や関連計画との整合性を図りつつ見直すものです。



4. 計画期間

計画の期間は、令和4年度から令和8年度の5か年とします。

なお、進捗状況や社会情勢等の変化に応じて必要な見直しを行います。

第1次計画	第2・3次計画	第4次計画
平成18年7月～	平成27年度～平成31年度	令和4年度～令和8年度

5. 計画の推進主体

子ども読書活動推進計画の推進主体は、市と教育委員会をはじめ、子どもと一緒に読書活動に取り組む家庭・学校・地域の人々です。各主体が自主的に、この計画に取り組むとともに相互に連携し協働することで、より効果的な計画の推進につながります。

市と教育委員会は、独自の取組みはもちろんのこと、各主体の取組みがより効果的に進められるための環境整備や支援を行っていきます。

6. 計画の進行管理（推進体制）

計画を着実に進めるため、毎年、図書館協議会及び教育委員会において計画の推進とともに具体的施策の進行管理を行います。

進行管理は、具体的施策の進捗状況として図書館ホームページで公表します。

第2章

第2・3次交野市子ども読書活動推進計画の取組み成果と課題

1. 大阪府における子どもの読書活動推進の調査内容と交野市の調査内容

「第4次大阪府子ども読書活動推進計画」（令和3年3月）策定時におけるアンケート調査の内容と交野市の現状を比較し、「第4次交野市子ども読書活動推進計画」策定のための資料にするものです。

(1) 大阪府の調査

○時期 令和元年12月～令和2年2月（府の第4次計画策定資料）

○調査対象

（ア）国公立の小中高支援学校（義務教育学校含む）の児童・生徒〔抽出調査〕

（小学5年生：1,645人、中学2年生：1,698人、高校2年生：1,759人）

（イ）保護者（（ア）の児童・生徒の保護者）〔抽出調査〕

（ウ）国公立小中高支援学校（義務教育学校含む）〔全数調査〕

（エ）国公立幼稚園（認定子ども園等含む）〔全数調査〕

（オ）公立保育所（認定子ども園等含む）〔全数調査〕

（カ）公立図書館（分館、公民館図書室含む）〔全数調査〕

（キ）公民館（（カ）を除く）、公民館類似施設〔全数調査〕

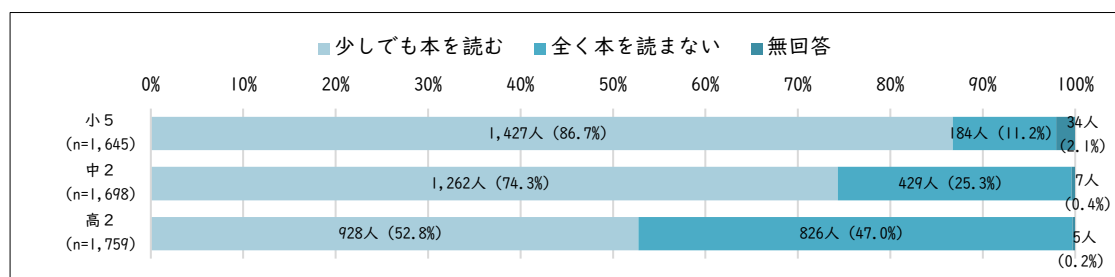
（ク）青少年教育施設〔全数調査〕

※第4次大阪府子ども読書活動推進計画（第4章「第1 令和元年度大阪府子ども読書活動調査」参照）

○大阪府調査結果（大阪府調査結果抜粋）

（ア）学校の授業時間以外で「全く本を読まない」子どもの割合

全国学力・学習状況調査と同様に、小学生に比べ中学生になると、学校の授業時間以外「全く本を読まない」子どもの割合は、高くなっています。高校生では、約半数の子どもが全く本を読まないという結果となっています。



(イ) 読書をする理由（調査対象：(ア)で「全く本を読まない」と回答した児童・生徒以外）

「本の内容を楽しむことができる」がどの学年でも最も割合が高くなっています。

また、「知らなかったことを知ることができる」は、学年が高くなるにつれて割合が低くなっています。

	気分転換になる	感動を得ることができる	本の内容を楽しむことができる	いろいろな人の考え方に触れることができる	空想したり夢を描いたりすることができる	趣味を深めることができる	文章を読む力がつく	他の人と話す話題が増える
小5 (n=1,461)	772人 (52.8%)	315人 (21.6%)	1,012人 (69.3%)	297人 (20.3%)	596人 (40.8%)	425人 (29.1%)	639人 (43.7%)	532人 (36.4%)
中2 (n=1,269)	592人 (46.7%)	401人 (31.6%)	870人 (68.6%)	276人 (21.7%)	423人 (33.3%)	375人 (29.6%)	449人 (35.4%)	249人 (19.6%)
高2 (n=933)	466人 (49.9%)	308人 (33.0%)	645人 (69.1%)	249人 (26.7%)	279人 (29.9%)	264人 (28.3%)	264人 (28.3%)	143人 (15.3%)
	言葉の表現力をつけることができる	物事を深く考えられるようになる	勉強の役に立つ	知らなかったことを知ることができる	わからない	その他	無回答	
小5 (n=1,461)	409人 (28.0%)	330人 (22.6%)	542人 (37.1%)	907人 (62.1%)	76人 (5.2%)	170人 (11.6%)	16人 (1.1%)	
中2 (n=1,269)	321人 (25.3%)	234人 (18.4%)	264人 (20.8%)	561人 (44.2%)	85人 (6.7%)	83人 (6.5%)	11人 (0.9%)	
高2 (n=933)	214人 (22.9%)	170人 (18.2%)	130人 (13.9%)	336人 (36.0%)	43人 (4.6%)	35人 (3.8%)	6人 (0.6%)	

(ウ) 読書をしない理由（調査対象：(ア)で「全く本を読まない」と回答した児童・生徒）

学年が上がるにつれて、「読書をする時間がない」と回答する子どもの割合が高くなっています。

また、「読みたいと思う本がない」「本を読むのがめんどろ」と回答する子どもの割合は、どの学年も高くなっています。

	読書をする時間がない	読みたいと思う本がない	どの本を読んでも良いかわからない	読書をする必要性を感じない	本を勧める人が周りにいない	本の値段が高い	地域の図書館が近くにない	本屋が近くにない
小5 (n=184)	61人 (33.2%)	98人 (53.3%)	24人 (13.0%)	39人 (21.2%)	16人 (8.7%)	18人 (9.8%)	8人 (4.3%)	13人 (7.1%)
中2 (n=429)	160人 (37.3%)	212人 (49.4%)	48人 (11.2%)	95人 (22.1%)	34人 (7.9%)	65人 (15.2%)	16人 (3.7%)	40人 (9.3%)
高2 (n=826)	397人 (48.1%)	323人 (39.1%)	88人 (10.7%)	102人 (12.3%)	46人 (5.6%)	76人 (9.2%)	22人 (2.7%)	27人 (3.3%)
	家に読みたい本がない	学校図書館(室)が開いていない	文字を読むのが苦手	本を読むのがめんどろ	友だちや家族が本を読んでいない	わからない	その他	無回答
小5 (n=184)	60人 (32.6%)	1人 (0.5%)	53人 (28.8%)	82人 (44.6%)	21人 (11.4%)	15人 (8.2%)	18人 (9.8%)	19人 (10.3%)
中2 (n=429)	107人 (24.9%)	4人 (0.9%)	69人 (16.1%)	182人 (42.4%)	29人 (6.8%)	40人 (9.3%)	26人 (6.1%)	39人 (9.1%)
高2 (n=826)	130人 (15.7%)	1人 (0.1%)	137人 (16.6%)	296人 (35.8%)	48人 (5.8%)	60人 (7.3%)	33人 (4.0%)	54人 (6.5%)

(エ) 読書をする時間がない理由

(調査対象：(エ) で「読書をする時間がない」と回答した児童・生徒)

「塾や勉強」と回答する子どもの割合がどの学年でも高く、中学生になると「部活動」、高校生になると「部活動」や「アルバイト」で読書をする時間がない子どもの割合も高くなっています。

また、全体的に回答割合の高い「テレビ」や「友だちとの遊びや付き合い」、小学生の回答割合が高い「ゲーム」、特に中高生の回答割合が高い「インターネット・メール・SNS・電話」も読書をする時間がない主な理由となっています。

	塾や勉強	部活動	学校での放課後活動	習い事やボランティア活動	家事・手伝いや家の用事など	アルバイト	テレビ	インターネット・メール・SNS・電話
小5 (n=61)	27人 (44.3%)	—	2人 (3.3%)	24人 (39.3%)	11人 (18.0%)	—	27人 (44.3%)	18人 (29.5%)
中2 (n=160)	91人 (56.9%)	120人 (75.0%)	15人 (9.4%)	42人 (26.3%)	30人 (18.8%)	—	54人 (33.8%)	100人 (62.5%)
高2 (n=397)	160人 (40.3%)	200人 (50.4%)	10人 (2.5%)	32人 (8.1%)	56人 (14.1%)	119人 (30.3%)	109人 (27.5%)	204人 (51.4%)
	友だちとの遊びや付き合い	ゲーム	漫画・雑誌	その他	無回答			
小5 (n=61)	24人 (39.3%)	36人 (59.0%)	27人 (44.3%)	7人 (11.5%)	1人 (1.6%)			
中2 (n=160)	73人 (45.6%)	73人 (45.6%)	48人 (30.0%)	10人 (6.3%)	2人 (1.3%)			
高2 (n=397)	151人 (38.0%)	110人 (27.7%)	83人 (20.9%)	22人 (5.5%)	6人 (1.5%)			

○分析結果

ア. 「時間がない」 ➡ 読書時間を確保できない、読書のために時間を割かない

「令和元年度読書調査」において、「読書をする時間がない」理由は、「部活動」「塾や勉強」「インターネット等」と回答する割合が高くなっています。上記の理由のうち、「部活動」や「塾や勉強」等、子どもが自由に時間の使い方を決めることができない活動がある一方で、5年前と比較して、子どものインターネットの平均利用時間が増加しており、その内容は動画視聴、コミュニケーション(SNS)、ゲーム、音楽視聴等の割合が高く、電子書籍の割合は低くなっています。

この結果から、「読書が好き」な子どもの割合が減少傾向にある要因の一つとして、読書以外(インターネットを利用した動画視聴、コミュニケーション(SNS)等)のことに多くの時間を費やすため、読書に時間を割かない子どもが増加していることが考えられます。

イ. 「読みたいと思う本がない」 ➡ 興味を持てるような本がない

「読みたいと思う本がない」と回答した要因については、主に次の3点が想定されます。

- ・本自体に興味・関心が向けられていない
- ・身近な場所にある本が、読みたいと思う本ではない
- ・身近な場所に本がない

「本自体に興味・関心が向けられていない」については、もともと読書への興味・関心がない子どもや必要性を感じていない子ども、分析結果アで示した読書以外のことに興味・関心が向けられて、読書への興味・関心が薄れている子どもがいることが考えられます。

「身近な場所にある本が、読みたいと思う本ではない」「身近な場所に本がない」については、学校図書館（室）の開館割合が増加していることや、学校や教育保育施設と公立図書館の連携割合が増加していることなどから、5年前と比較すると読書環境の整備は進んでいると考えられますが、それらの環境で子どもが興味を持てるような本がないということが想定されます。「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」（平成28年度 文部科学省）によると、「読書を行っていない高校生は、中学生までに読書習慣が形成されていない者と、高校生になって読書の関心度合いが低くなり本から遠ざかっている者に大別されると考えられる。」と言及されています。また、「家に読みたい本がない」「本の値段が高い」「本屋が近くにない」などの回答もあることから、様々な事情により、身近な場所に本がない子どもがいるということも想定されます。

ウ.「本を読むのがめんどろ」➡ 本を読むことが面倒、文字を読むことが苦手

「本を読むのがめんどろ」と回答した子どもは、「本を読まない理由」を複数選択している割合が高く、特に「読みたいと思う本がない」「読書をする時間がない」「家に読みたい本がない」「読書をする必要性を感じない」「文字を読むのが苦手」を選択している割合が高いという結果となりました。このうち、「文字を読むのが苦手」は、読む力が身に付いていない子どもがいる可能性があり、国の有識者会議では「小学校中学年になると、最後まで本を読み通すことができる子どもとそうでない子どもの違いが現れ始める。」という指摘がされています。（「子どもの読書活動の推進に関する有識者会議 論点まとめ」（文部科学省））

○「本を読むのがめんどろ」と回答した子どもの読書をしないその他の選択した回答

	読書をする時間がない	読みたいと思う本がない	どの本を読んでも良いかわからない	読書をする必要性を感じない	本を勧める人が周りにいない	本の値段が高い	地域の図書館が近くにない
小5 (n=82)	35人 (42.7%)	57人 (69.5%)	15人 (18.3%)	33人 (40.2%)	11人 (13.4%)	15人 (18.3%)	7人 (8.5%)
中2 (n=182)	65人 (35.7%)	120人 (65.9%)	22人 (12.1%)	76人 (41.8%)	22人 (12.1%)	33人 (18.1%)	6人 (3.3%)
高2 (n=296)	125人 (42.2%)	149人 (50.3%)	50人 (16.9%)	75人 (25.3%)	27人 (9.1%)	38人 (12.8%)	12人 (4.1%)
	本屋が近くにない	家に読みたい本がない	学校図書館（図書室）が開いていない	文字を読むのが苦手	友だちや家族が本を読んでいない	わからない	その他
小5 (n=82)	9人 (11.0%)	41人 (50.0%)	1人 (1.2%)	34人 (41.5%)	16人 (19.5%)	7人 (8.5%)	8人 (9.8%)
中2 (n=182)	17人 (9.3%)	62人 (34.1%)	3人 (1.6%)	53人 (29.1%)	22人 (12.1%)	9人 (4.9%)	10人 (5.5%)
高2 (n=296)	12人 (4.1%)	69人 (23.3%)	1人 (0.3%)	97人 (32.8%)	32人 (10.8%)	11人 (3.7%)	9人 (3.0%)

(2) 交野市の調査

○時期 令和3年6月～10月

○調査対象

(ア) 市内公立小中学校の児童・生徒

(小学5年生：635人、中学2年生：569人)

(イ) 市内府立高等学校の生徒

(高校2年生：271人)

(ウ) 保護者（(ア) 児童・生徒の保護者）

(小学5年生保護者：422人、中学2年生保護者：242人)

(エ) 公立小中学校〔全数調査〕小学校10校・中学校4校

(オ) 学校図書担当教員 14人

(カ) 公・私立認定こども園、保育所、小規模保育施設〔抽出調査〕計20園

(キ) 保護者（(カ) の保護者）〔抽出調査〕465人

(ク) 4か月児健診受診保護者〔抽出調査〕87人

○本市アンケート調査抜粋

※回答者数に無回答は含みません

(1) 読書について

小学生では80%が「好き」で、「好きではない」の割合は20%であった。中学生では2/3が「好き」で、1/3が「好きではない」と答えている。高校生も中学生と同様の傾向である。

1. 読書は好きですか

	回答者数	好き	割合 (%)	どちらかといえば好き	割合 (%)	どちらかといえば好きではない	割合 (%)	好きではない	割合 (%)
小学5年生	629	268	42.6	235	37.4	83	13.2	43	6.8
中学2年生	564	181	32.1	193	34.2	107	19.0	83	14.7
高校2年生	271	77	28.4	95	35.1	57	21.0	40	14.8
合計	1,464	526	35.9	523	35.7	247	16.9	166	11.3

(2) 授業以外の読書時間

「30分以上1時間未満」の24.5%が最も高く、次に、「ほとんど全く読まない」が21.7%となっている。「ほとんど全く読まない」では小学生が13.0%と低く、次に中学生の25.5%、高校生が34.3%と最も高くなっており、学年が上がるにつれ、不読率が高くなっている。

6. 学校の授業時間以外に、ふだん1日にどれくらいの時間読書しますか

	回答者数	2時間以上	割合 (%)	1時間以上2時間未満	割合 (%)	30分以上1時間未満	割合 (%)	10分以上30分未満	割合 (%)	10分未満	割合 (%)	ほとんど全く読まない	割合 (%)
小学5年生	629	53	8.4	103	16.4	180	28.6	127	20.2	86	13.7	82	13.0
中学2年生	564	41	7.3	68	12.1	122	21.6	108	19.1	83	14.7	144	25.5
高校2年生	271	22	8.1	30	11.1	57	21.0	38	14.0	31	11.4	93	34.3
合計	1,464	116	7.9	201	13.7	359	24.5	273	18.6	200	13.7	319	21.8

(3) 読書する理由(調査6で「ほとんど全く読まない」と回答した児童・生徒以外)

小学生では「空想したり、夢を描いたりできる」が最も高く48.4%で、次に「元気が出たりワクワクする」が42.2%、「知らなかったことを知ることができる」は36.6%となっている。中高生では「元気が出たりワクワクする」が最も高くそれぞれ45.5%、68%で、次に「空想したり、夢を描いたりできる」が36.4%、41%、「知らなかったことを知ることができる」は29.3%、30.9%となっている。

8.読書をする理由

複数回答

	回答者数	元気が出たりワクワクする	割合(%)	いろいろな人の考え方を知る	割合(%)	空想したり、夢を描いたりできる	割合(%)	ほかのひとと話すことができる	割合(%)
小学5年生	547	231	42.2	109	19.9	265	48.4	89	16.3
中学2年生	420	191	45.5	106	25.2	153	36.4	82	19.5
高校2年生	178	121	68.0	59	33.1	73	41.0	38	21.3
合計	1,145	543	47.4	274	23.9	491	42.9	209	18.3
	回答者数	勉強の役に立つ	割合(%)	知らなかったことを知ることができる	割合(%)	わからない	割合(%)	その他	割合(%)
小学5年生	547	129	23.6	200	36.6	62	11.3	68	12.4
中学2年生	420	61	14.5	123	29.3	70	16.7	71	16.9
高校2年生	178	17	9.6	55	30.9	14	7.9	17	9.6
合計	1,145	207	18.1	378	33.0	146	12.8	156	13.6

(4) 読書しない理由(調査6で「ほとんど全く読まない」と回答した児童・生徒)

小学生では、「文字を読むのが苦手」が最も高く36.6%、次に「読みたいと思う本がない」が34.1%、「読書する時間がない」は32.9%となっている。中学生では、「読みたいと思う本がない」が最も高く43.8%、次に「本を読むのがめんどろ」が38.9%、「読書する時間がない」が26.4%となっている。高校生では、「読みたいと思う本がない」が39.8%、「読書する時間がない」38.7%、「本を読むのがめんどろ」が36.6%となっている。全体的には、「読みたいと思う本がない」が40.1%、「本を読むのがめんどろ」が36.1%、「読書する時間がない」31.7%の順になっている。

10.読書しない理由

複数回答

	回答者数	読書する時間がない	割合(%)	読みたいと思う本がない	割合(%)	どの本を読んでもいいかわからない	割合(%)	本の値段が高い	割合(%)
小学5年生	82	27	32.9	28	34.1	8	9.8	2	2.4
中学2年生	144	38	26.4	63	43.8	10	6.9	10	6.9
高校2年生	93	36	38.7	37	39.8	4	4.3	3	3.2
合計	319	101	31.7	128	40.1	22	6.9	15	4.7
	回答者数	文字を読むのが苦手	割合(%)	本を読むのがめんどろ	割合(%)	その他	割合(%)		
小学5年生	82	30	36.6	25	30.5	3	3.7		
中学2年生	144	30	20.8	56	38.9	9	6.3		
高校2年生	93	18	19.4	34	36.6	3	3.2		
合計	319	78	24.5	115	36.1	15	4.7		

(5) 本を読む時間がない理由

小学生では、「ゲームやYouTube」が70.4%と最も高く、次に「友達と遊ぶ」、「習い事やボランティア活動」となっている。中学生でも、「ゲームやYouTube」が最も高く57.9%、次に「塾や勉強」、「友達と遊ぶ」となっている。高校生では、「ゲームやYouTube」が最も高く77.8%、次に「塾や勉強」、「友達と遊ぶ」となっており、中学生と同様の傾向となっている。

11. 本を読む時間がないのは何をしているからですか

複数回答

	回答者数	塾や勉強	割合 (%)	友達と遊ぶ	割合 (%)	習い事やボランティア活動	割合 (%)	家の手伝いや家族の世話	割合 (%)
小学5年生	27	6	22.2	12	44.4	8	29.6	5	18.5
中学2年生	38	20	52.6	15	39.5	14	36.8	5	13.2
高校2年生	36	21	58.3	16	44.4	7	19.4	7	19.4
合計	101	47	46.5	43	42.6	29	28.7	17	16.8
	回答者数	テレビを見る	割合 (%)	ゲームやYouTube	割合 (%)	その他	割合 (%)		
小学5年生	27	5	18.5	19	70.4	1	3.7		
中学2年生	38	12	31.6	22	57.9	2	5.3		
高校2年生	36	15	41.7	28	77.8	5	13.9		
合計	101	32	31.7	69	68.3	8	7.9		

12. 本を読まない友達に読書をすすめるとしたらどんな方法やどうすれば読書しようと思いますか 複数回答

	回答者数	読書をする時間を取る	割合 (%)	図書館など読書ができる場所を増やす	割合 (%)	読みたくなる本をプリントで紹介する。	割合 (%)	読みたくなる本をSNSで紹介する	割合 (%)	読書したくなるイベントをする	割合 (%)
小学5年生	629	259	41.2	144	22.9	140	22.3	65	10.3	74	11.8
中学2年生	564	236	41.8	82	14.5	81	14.4	212	37.6	46	8.2
高校2年生	271	85	31.4	22	8.1	25	9.2	141	52.0	32	11.8
合計	1,463	580	39.6	248	17.0	246	16.8	418	28.6	152	10.4
	回答者数	本の値段を安くする	割合 (%)	電子書籍が充実する	割合 (%)	友達と本の話をする	割合 (%)	家族で本の話をする	割合 (%)	図書館や学校図書館に読みたくなる本を置く	割合 (%)
小学5年生	629	106	16.9	50	7.9	345	54.8	105	16.7	146	23.2
中学2年生	564	177	31.4	117	20.7	173	30.7	47	8.3	103	18.3
高校2年生	271	72	26.6	84	31.0	94	34.7	15	5.5	40	14.8
合計	1,463	355	24.3	251	17.2	612	41.8	167	11.4	289	19.8
	回答者数	図書館や学校図書館に本のことを相談できる人がいる	割合 (%)	読書手帳など記録や達成する目標を持つ	割合 (%)	その他	割合 (%)				
小学5年生	629	41	6.5	104	16.5	32	5.1				
中学2年生	564	15	2.7	21	3.7	20	3.5				
高校2年生	271	3	7.0	7	2.6	4	1.5				
合計	1,463	59	4.0	132	9.0	56	3.8				

2.学校の図書館は好きですか(小・中)

	回答者数	好き	割合 (%)	どちらかといえば好き	割合 (%)	どちらかといえば好きではない	割合 (%)	好きではない	割合 (%)
小学5年生	626	307	49.0	236	37.7	57	9.1	26	4.2
中学2年生	563	76	13.5	230	40.9	129	22.9	128	22.7
合計	1,189	383	32.2	466	39.2	186	15.6	154	13.0

5.好きな作家や本、マンガ、文章はありますか

	回答者数	はい	割合 (%)	いいえ	割合 (%)	これから見つける	割合 (%)
小学5年生	629	525	83.5	73	11.6	32	5.1
中学2年生	564	460	81.6	72	12.8	35	6.2
高校2年生	271	230	84.9	29	10.7	12	4.4
合計	1,464	1,215	83.0	174	11.9	79	5.4

(6) 分析結果

読書する理由としては、小中学生とも自分の好きな分野の本を選び、「空想したり夢を描いたりすることができる」ため読書することがうかがえる。高校生では、本を読むことにより「元気が出たりワクワクする」傾向にあり、小中学生の「空想したり夢を描くこと」と同様の意味合いがあるものと思われる。また、「知らなかったことを知ることができる」割合は3割を超えているが、「勉強の役に立つ」では割合が低くなっており、勉強以外の調べものに対して読書していることが見て取れる。

読書しない理由については、小中高生全てで「読みたいと思う本がない」の割合が最も高く、これは、読みたいと思う本があれば読書につながるのではないと思われる。また、「本を読むのがめんどろ」「読書する時間がない」の割合が高く、このことは活字離れや文字嫌いの傾向をうかがわせている。また、「読書する時間がない」では、小学生では、インターネット等の情報機器の普及・使用により、読書するよりもゲームや音楽の視聴に時間を費やしていることが見て取れる。中高生では、進学を控えているため、塾や勉強に時間を費やしている割合が高い。

次に読書を薦める方法等については、小学生では、「友だちと本の話をする」の割合が最も高く、友だちとの関わりの中で本の話があることがわかる。高校生では「情報機器を活用して本の紹介をすべき」という意見が多いことが見て取れる。全体では「友だちと本の話をする」割合が最も高く、続いて「読書をする時間を取る」「読みたくなる本をSNSで紹介する」となっている。「友だちと本の話をする」については、読みたくなる本の紹介にも繋がっているものと思われる。

好きな作家や本、マンガがあるかの設問では「ある」との回答が小中高生全てで8割を超えており、読書体験から自分の好きな分野があることがわかる。

これらのことから、学習とは異なる側面で読書を楽しむ子どもは一定数存在し、興味のある本があれば読むこと、友だちと本の話をして読書への関心を高めること、そのために本の紹介が重要となっていることがうかがえる。

また、読みたいと思う本があれば読書につながるとすると、子どもが集う場所に本がある状況を作り出すことが読書へのきっかけになると考えられる。

2. 第2・3次計画期間中の市立図書館の主な取組みと成果

(1) 平成27年度から平成31年・令和元年度の新たな取組みと成果等

27年7月	コンピューターシステム更新 スマートフォン対応
27年8月	幼稚園・保育園に自動車文庫乗り入れ開始
27年8月	絵本紹介冊子「いっしょによんで、2歳から楽しめる絵本リスト」の配布開始
27年12月	ブックスタート4か月児健診にて絵本の配布開始
28年度	子ども向け大活字図書の整備（「講談社青い鳥文庫」所蔵開始）
28年12月	ぬいぐるみお泊り会開始
29年3月	まちの図書館化事業開始（市内10か所設置）
29年6月	雑誌スポンサー制度開始
29年7月～	「目指せ読みメン！おはなし会とミニ講座」開催（～元年度）
29年8月	一日図書館員開始
29年度	小学校巡回便開始
29年度～	よみきかせサポーター養成講座開催（～元年度）
29年10月	第1児童センター図書室をこども図書室としてリニューアルオープン
31年1月	府内図書館向けインターネット予約サービス開始
31年4月	こども図書室定例おはなし会開始
元年9月	星田コミュニティセンター図書室閉室
元年12月	星田会館図書室オープン
2年3月	「交野市立図書館運営方針」策定

(2) 児童書等の蔵書冊数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
児童書蔵書冊数	100,717	101,360	100,733	98,404	100,042	102,167	102,815
一般書蔵書冊数	135,783	138,938	138,273	125,311	123,920	124,471	124,825

(3) 貸出冊数等の推移（広域利用除く）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
貸出冊数	429,953	460,036	451,610	439,964	447,956	423,304	405,359

(4) 図書館の利用状況等の推移

	単位	H27年	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
人口（3月末）	人	77,943	77,913	77,816	77,834	77,588	77,511
全登録者数	人	24,687	24,222	23,607	22,926	22,559	21,849
実質登録者数（1回以上利用した人数）	人	11,055	10,666	10,143	9,937	9,818	8,199
人口当り実登録者率	%	14.2	13.7	13.0	12.8	12.7	10.6
個人貸出数（広域含）	冊	472,770	466,857	453,755	463,559	436,457	414,649
実利用者一人当り貸出冊数	冊	42.8	43.8	44.7	46.6	44.5	50.6
個人・一般書貸出冊数（広域含）	冊	306,750	295,487	291,049	296,663	279,242	262,896
内）倉治図書館	冊	101,236	99,927	99,867	100,416	91,846	78,808
内）青年の家図書室	冊	127,628	120,623	131,307	132,416	123,688	96,752
内）星田会館図書室（※1）	冊	39,274	38,606	38,083	36,666	36,220	59,117
内）第1児童センターこども図書室（※2）	冊	32,103	30,517	3,277	6,979	6,847	7,115
内）自動車文庫	冊	6,509	5,814	6,456	6,273	6,392	5,311
内）We b	冊	—	—	12,059	13,913	14,249	15,793
個人・児童書貸出冊数（広域含）	冊	166,020	171,370	162,706	166,896	157,215	151,753
内）倉治図書館	冊	48,543	52,445	51,267	47,164	42,030	34,414

内) 青年の家図書室	冊	57,156	59,401	59,665	58,509	55,546	42,604
内) 星田会館図書室	冊	31,849	31,807	29,981	26,955	28,817	44,960
内) 第1児童センターこども図書室	冊	18,797	19,979	10,508	22,057	21,353	20,151
内) 自動車文庫	冊	9,675	7,738	7,234	7,313	4,632	3,198
内) We b	冊	—	—	4,051	4,898	4,837	6,426
団体貸出数	冊	18,311	18,106	24,685	26,347	24,233	20,769
蔵書冊数(雑誌含む)	冊	243,662	242,260	227,280	228,139	231,144	231,974
市民一人当たり蔵書冊数	冊	3.1	3.1	2.9	2.9	3.0	3.0
一般書蔵書冊数	冊	138,938	138,273	125,311	123,920	124,471	124,825
内) 倉治図書館(自動車文庫含)	冊	61,353	62,318	65,737	63,517	63,052	62,778
内) 青年の家図書室	冊	44,864	45,251	47,177	47,862	47,672	46,682
内) 星田会館図書室	冊	10,766	11,086	11,690	11,746	12,872	14,525
内) 第1児童センターこども図書室	冊	21,730	19,414	492	561	623	578
内) 地域家庭文庫他一般	冊	225	204	215	234	252	262
児童書蔵書冊数	冊	101,360	100,733	98,404	100,042	102,167	102,815
内) 倉治図書館(自動車文庫含)	冊	31,299	33,438	31,886	32,745	34,434	34,115
内) 青年の家図書室	冊	20,475	21,448	21,307	21,754	22,477	22,310
内) 星田会館図書室	冊	10,770	10,865	10,771	9,982	9,588	10,110
内) 第1児童センターこども図書室	冊	15,537	14,239	13,117	13,469	13,942	14,242
内) 地域家庭文庫他一般	冊	23,279	20,743	21,323	22,092	21,726	22,038
雑誌蔵書冊数	冊	3,364	3,428	3,565	4,177	4,506	4,334

※1: 令和元年12月1日より開室。同9月1日までは「星田コミュニティーセンター図書室」として開室

※2: 平成29年10月より「第1児童センター図書室」を「こども図書室」としてリニューアルオープン(児童書に特化)

(5) 図書館の継続行事参加者等の推移

	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
定例おはなし会参加人数(倉治)	人	201(20回)	255(22回)	226(24回)	245(22回)	208(18回)	68(15回)
定例おはなし会参加人数(青年)	人	257(22回)	161(22回)	214(23回)	131(23回)	81(18回)	37(10回)
定例おはなし会参加人数(こども)	人	—	—	—	—	243(20回)	68(14回)
おたのしみ会参加人数(倉治)	人	121(2回)	107(2回)	77(2回)	103(2回)	99(2回)	9(1回)
おたのしみ会参加人数(武道)	人	43(2回)	73(2回)	75(2回)	100(2回)	78(2回)	9(1回)
おたのしみ会参加人数(星田)	人	—	—	—	—	—	18(1回)
おたのしみ会参加人数(こども)	人	—	—	—	—	35(1回)	12(1回)
ビデオ上映会参加人数(倉治)	人	55(2回)	57(2回)	58(2回)	23(2回)	15(1回)	—
ブンブン劇場参加人数(倉治・武道)	人	127(2回)	120(2回)	130(2回)	82(2回)	59(1回)	25(1回)
ブックスタート絵本配布人数(保健)	人	201(4回)	556(12回)	519(12回)	570(12回)	430(11回)	241(0回)
職員出前講座参加人数	人	550(18回)	441(14回)	491(14回)	412(15回)	246(8回)	45(4回)
訪問おはなし会(小学校)参加人数	人	1,073(6回)	711(4回)	882(5回)	646(4回)	530(4回)	(0回)
連続講座等の開催(倉治)	人	146(4回) 学校図書館 地域ボランティア連続講座	76(3回) 学校図書館地 域ボランティア連続講座	146(5回) よみかせサ ポートー養成 講座ほか	188(延7 回)よみか かせサポー ター養成講 座ほか	155(延7 回)よみか かせサポー ター養成講 座ほか	15(1回) 学校図書館 地域ボラン ティア連続 講座
リサイクル・フェア参加組数(倉治)	組	241	239	287	272	—	273
リサイクル・フェア譲与冊数	冊	4,811	5,144	5,040	5044	—	7,368
小学校の図書館見学参加人数	人	614(7校)	641(9校)	551(7校)	537(7校)	546(7校)	164(2校)
中学生職場体験受入人数	人	18(5校)	20(5校)	18(5校)	20(5校)	20(5校)	—
合計参加人数	人	3,406	3,218	3,387	3,057	2,741	771

※倉治: 倉治図書館、青年: 青年の家図書室、星田: 星田会館図書室、こども: 第1児童センターこども図書室、

武道: 武道施設、保健: 保健福祉総合センター(ゆうゆうセンター)、をさす

(6) 障がい者サービス

① 青年の家図書室大活字図書コーナーの充実

平成24年3月1日より設置(蔵書総数: 523冊 令和2年度受入冊数: 32冊)

② 対面朗読: 青年の家図書室にて、朗読グループ「あい」による目の不自由な方へ対面朗読

3. 学校図書館の状況

(1) 学校別の充足率（％）

学校図書館用のデータベースを利用した蔵書管理のもと、適切な資料の選択収集、蔵書の更新を行いつつ、学校図書館図書標準の達成に向けた蔵書の充実を図っています。

学校名	H26年度 蔵書数 (冊)	H26年度 充足率 (%)	H27年度 充足率 (%)	H28年度 充足率 (%)	H29年度 充足率 (%)	H30年度 充足率 (%)	R元年度 充足率 (%)	R元年度 蔵書数 (冊)
交野小学校	8,416	75.41	66.90	70.59	75.34	75.34	82.31	9,350
星田小学校	6,388	69.74	65.59	67.88	78.52	78.52	79.58	7,926
郡津小学校	9,290	80.36	81.55	84.18	104.28	104.40	111.67	13,132
岩船小学校	9,284	105.98	109.11	97.24	105.11	105.39	116.69	10,222
倉治小学校	7,655	66.22	67.73	67.98	82.77	84.24	92.47	10,875
妙見坂小学校	6,658	69.64	75.58	78.70	87.06	87.06	94.31	8,639
長宝寺小学校	6,373	80.06	82.85	83.00	87.69	87.69	93.74	7,462
旭小学校	6,787	70.99	77.00	80.32	89.19	89.19	97.16	8,900
藤が尾小学校	10,100	110.26	113.54	69.33	75.98	76.11	83.58	7,656
私市小学校	7,077	80.79	83.28	85.37	103.47	103.47	110.76	9,703
小学校計	78,028	80.28	81.30	77.91	88.69	88.91	94.05	93,865
第一中学校	13,881	105.80	78.20	79.75	81.67	81.67	80.79	10,212
第二中学校	9,479	66.57	66.89	69.17	71.11	71.11	72.73	10,589
第三中学校	7,350	49.40	51.40	52.81	57.69	57.69	59.51	8,855
第四中学校	14,035	106.97	105.04	52.50	54.37	54.49	58.44	7,948
中学校計	44,745	80.83	74.64	63.13	65.83	65.86	67.54	37,604
小中学校計	122,773	80.48	78.88	72.55	80.39	80.55	85.66	131,469

※学校図書館に整備すべき蔵書の標準（文部科学省）

小学校標準蔵書数		中学校標準蔵書数	
クラス数	計算式	クラス数	計算式
7～12	$5,080 + 480 \times (\text{学級数} - 6)$	7～12	$7,360 + 560 \times (\text{学級数} - 6)$
13～18	$7,960 + 400 \times (\text{学級数} - 12)$	13～18	$10,720 + 480 \times (\text{学級数} - 12)$
19～30	$10,360 + 200 \times (\text{学級数} - 18)$	19～30	$13,600 + 320 \times (\text{学級数} - 18)$

(2) 学校図書館の整備・活用

学校では、教職員研修を実施し、調べ学習など学校図書館を活用した授業の推進を図っています。

また、学校図書館の読書・学習・情報センターとしての機能を充実させるため、「学びあいサポーター」「学校図書館アドバイザー」を全校に配置。司書教諭をはじめとするすべての教員と連携しながら、子どもの読書活動及び学校図書館活用支援を行っています。

調べ学習や学級文庫用の資料充実のため、選書に関する情報提供や学校巡回による団体貸出等、市立図書館との連携を強化しています。

(3) 学校図書館ボランティア

各小中学校で読み聞かせ活動を主としたボランティアは、平成13年に市内の先駆けとなる「旭小学校図書活動応援隊」が発足し、続いて平成21年に初の学校図書館電算化を手掛けた私市小学校で「きさいちおはなしばたけ」が発足しました。その後、各小中学校で読み聞かせ活動を主としたボランティアが結成されました。

各小中学校で読み聞かせ活動のほか、学校図書館の書架整理、本の修理、季節に合わせた壁面飾りの制作など、学びあいサポーターや図書担当教員と連携して読書環境の整備や啓発を行っています。

また、「学校図書館ボランティア講座」の受講や自主研修を通して、資質の向上をめざすとともに、他校ボランティアや図書館との交流を図っています。

(4) 障がいのある児童・生徒への読書活動の推進

図書館からの大活字本や大型絵本等の団体貸出を利用しました。

4. 地域の状況

(1) 地域家庭文庫の状況

子どもたちに「良い本を！良い読書環境を！」を願う手づくりの子ども図書館です。市内有志の方々が地域の施設を活用し、市制施行前から長年にわたり、地域の子どものための読書活動を支えてこられました。

現在は、時間をかけて選び抜かれた3,000冊以上の本を有する5つの文庫が、本の貸出のほか、読み聞かせ、おはなし会、季節の行事などを実施しています。

① 活動状況

文庫名	開設場所	世話人数	活動曜日	時間帯
天野が原第一文庫	さくら丘自治会館	24人	水	14:30～16:30
えんがわ文庫	天野が原4丁目集会所	8人	土	14:00～16:00
きらきら文庫	妙見東自治センター	2人	木	15:00～17:00
妙見坂文庫	妙見坂自治会館ふれあい	6人	第2・4月	14:30～16:30
森なかよし文庫	森区民ホール	5人	土・第1月	14:00～16:00・他

② 貸出冊数（冊）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
天野が原第一文庫	1,339	1,589	1,575	2,016	1,423	1,136	825
えんがわ文庫	1,338	1,279	795	842	834	726	288
きらきら文庫	245	291	283	229	208	176	88
妙見坂文庫	1,600	1,655	1,970	3,800	705	555	265
森なかよし文庫	440	574	848	451	472	657	256
合 計	5,234	5,624	5,581	7,338	3,642	3,250	1,722

③ かたの子ども文庫連絡会

「子ども文庫」同士の横のつながり、活動の情報交換の場として発足。文庫交流や本の選定を行う定例会のほか、世話人の資質向上のためのストーリーテリング(※お話を覚えて子どもに語ること)入門講座など講座の実施、市内小学校へのおはなしの出前などを実施されています。

また、平成27年からブックスタート事業にご協力いただいています。

長年にわたる活動に対して、2021年度子供の読書活動優秀実践団体として、令和3年4月23日子ども読書の日に文部科学大臣表彰を受けました。

(2) おはなしぐるーぷ KIRARA

絵本の読み語りを主として、子どもの心の成長や親子のコミュニケーションが豊かになることを願い、また、子どもだけでなくすべての年齢の人に絵本の楽しさを届けたいという思いで平成16年から活動されています。

青年の家図書室定例おはなし会の実施、倉治図書館おたのしみ会への参加のほか、約500冊の絵本を並べて一緒に楽しむ「絵本のひろば」を年に一度開催されています。

① 図書館事業への協力活動

事業名	活動場所
よみきかせサポーター養成講座	倉治図書館
リサイクル・フェア	倉治図書館
おたのしみ会	倉治図書館
おはなし会	青年の家図書室

② 主催事業(図書館共催)

事業名及び会場	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
「えほんのひろば」 青年の家ロビー	219 人	267 人	206 人	中止

(3) よみきかせサポーター

平成29年から令和元年度に開催した「よみきかせサポーター養成講座」受講生が、図書館定例おはなし会などそれぞれのグループでの活動のほか、市内小学校でのよみきかせボランティアとしても個々に活動されています。

	グループ名	主な活動拠点館
1期生	おはなし会 たんぽぽ	第1児童センターこども図書室
2期生	ぶらんこ	第1児童センターこども図書室
3期生	パブリカ	星田会館図書室

(4) 朗読グループ あい

目の不自由な方、通常の活字による読書ができない方へ音訳ボランティア活動を実施されています。

青年の家図書室での対面朗読やデイジー図書(専用再生機を必要とする録音図書)の作製など視覚障がい者サービスにご協力いただいています。

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
対面朗読実施回数	52 回	54 回	45 回	46 回	44 回	38 回	0 回

(5) 子育て支援と地域やボランティアによる読書活動

① 社会福祉協議会と校区福祉委員会による子育てサロン（小学校区単位）

地域の輪づくりを目的とするなか、乳幼児を子育て中の人の子連れで集える場所として、活動を行っている子育てサロン活動で絵本の読み聞かせ等も行われています。

② 市の子育て支援事業によるつどいの広場や子育て支援センター

③ 子育てネットワーク「ティンクル」による赤ちゃんサロンや子育てサークル

②③とも子育て支援を目的とするなかで手遊びや絵本の読み聞かせ等も行われています。

5. 取組み概要及び成果

第2・3次交野市子ども読書活動推進計画 体系図 （平成27年策定）

基本方針	基本項目		主な施策
4・3・2・1 子どもの読書環境の整備・充実 子どもが読書に親しむ機会の充実 子どもが読書活動の推進 子どもが読書活動の推進 子どもが読書活動の推進 子どもが読書活動の推進 子どもが読書活動の推進	1. 家庭における子どもの読書活動の推進		○ブックスタートの充実 ○絵本の紹介 ○育児パパとママの講習会
	2. 学校等における子どもの読書活動の推進	(1) 幼稚園・保育園の読書活動の推進	○絵本の蔵書確保 ○保護者への絵本貸出 ○保育士・教諭の読み聞かせ研修
		(2) 小・中学校の読書活動の推進	○言語活動の充実に向けた取組み ○学校図書館支援事業 ○学校図書館利用計画 ○団体貸出の利用 ○障がい児の読書活動推進 ○異年齢間の読み聞かせ
	3. 地域における子どもの読書活動の推進		○読み聞かせサポーターの育成 ○地域組織の連携と支援
	4. 市立図書館における子どもの読書活動の推進		○上記施策の支援と連携 ○障がい児の読書活動推進 ○ブックスタートの充実（再掲） ○第1児童センターの見直し ○ブンブン号（移動図書館）の運行見直し
	5. 子どもの読書活動の普及啓発活動（本の森プロジェクト等の取組み等）		○本の森によるイベント ○広報紙等による本の紹介、ブックトーク、ビブリオバトル ○推進計画の周知、概要版の団体等への配布

1. 家庭における子どもの読書活動の推進

(事業名、部署名、方向性は平成27年度策定当初のまま)

	実施項目	方向	主体	R 元年 主な実施内容	担当
①	ブックスタートの実施（4か月児健診時に読み聞かせの啓発と絵本の無料配布）	充実	市	H27.12より絵本の配布を開始。図書館職員2名、ボランティア1名で対応	図書館 健康増進課
②	育児パパ・ママ向け絵本紹介（地域ボランティアや市立図書館からの絵本紹介）	継続	地域市	絵本紹介冊子「いっしょによんで2歳から楽しめる絵本リスト」を市内公私立幼保（3歳児クラス）へ配布	図書館 子育て支援課
③	地域やボランティアによる読み聞かせの促進（子育てサロン、子育てサークル、子育て支援センター、放課後児童会等）	充実	地域	・図書館よりサロン・サークル等へ出前講座（おはなし会・読書相談・講義等）実施 ・子育て支援拠点、放課後児童会での日常的な活動内でのよみきかせ実施	図書館 子育て支援課 青少年育成課 社会福祉協議会
④	学校等における家庭への啓発（幼稚園等での絵本の貸出、学校での学校通信等を通じた家庭への啓発等）	充実	園学校	学校だよりや図書だより等にて啓発 幼稚園等については、絵本の貸出のお知らせを実施	図書館 指導課 こども園課
⑤	育児パパ・ママへの読み聞かせ講習会の実施	新規	市	・「目指せ 読みメン！」として、おはなし会とミニ講座を開催	図書館 教育総務室
⑥	子ども向け新規イベントの実施 ぬいぐるみお泊り会（お気に入りのぬいぐるみを図書館に預け疑似体験等） 子ども1日図書館長の募集等	新規	市	・ぬいぐるみおとまり会を実施 ・一日図書館員の実施	図書館 教育総務室

- ・「ブックスタートの充実」については、4か月健診での絵本配布開始（平成27年12月）から3年が経過し、絵本の受取が2回目となる第2子の受診も多く見られたことから、令和元年度より絵本の選択肢を3冊から5冊に増やしました。
- ・「絵本の紹介」については、市内こども園等の3歳児クラスへの絵本紹介冊子配布を5年間継続して行いました。
- ・「育児パパ・ママとの講習会」については、「目指せ！読みメン！」講座の会場を変えつつ、4年間（初年度試行を含む）実施しました。平成30年からは「ぼろりすひろば（第1児童センター）」にて、ポラリスとの共催事業として実施しましたが、本来の対象者である男性保護者の参加が思うように伸びませんでした。

2. 学校等における子どもの読書活動の推進

(1) 幼稚園・保育所

	実施項目	方向	主体	R 元年 主な実施内容	担当
①	幼稚園・保育園の絵本蔵書の充実（団体貸出等を含む）	充実	園市	・団体貸出 ・リサイクル図書の配布	図書館 こども園課
②	公立幼稚園の保護者へ絵本の貸出実施	充実	幼稚園	全幼稚園で実施	図書館 こども園課
③	民間幼稚園・保育園の保護者へ絵本の貸出実施	新規	幼稚園 保育園	順次実施	図書館 こども園課
④	幼稚園教諭や保育士に読み聞かせ講習会（絵本の選び方や読み方等）	新規	園市	・おはなし会の実施 ・よみきかせサポーター養成講座の実施	図書館 こども園課

⑤	ブンブン号（移動図書館）の夏休み巡回（希望する園等に個別巡回を行う）	新規	市	実施	図書館
⑥	幼稚園や保育園向けに乳幼児期の絵本の紹介（絵本リストの作成と配布）	新規	市	絵本紹介冊子「いっしょによんで 2歳から楽しめる絵本リスト」を市内公立幼保（3歳児クラス）へ配布	図書館
⑦	市立機能支援センター（こどもゆうゆう）への団体貸出とおはなし会の実施	継続	市	団体貸出及びおはなし会の実施	図書館 機能支援センター

- ・「絵本の蔵書確保」については、公私立問わず多くの園が継続的に団体貸出やリサイクル図書を活用しており、「保護者への絵本貸出」は公立全園で実施されました。
- ・「保育士・教諭の読み聞かせ研修」もほとんど実施できませんでした。

(2) 小・中学校

	実施項目	方向	主体	R 元年 主な実施内容	担当
①	全校一斉読書の実施（朝の読書などの一斉読書への取り組み）	継続	学校	市内全小中学校で実施	指導課
②	市立図書館との連携（団体貸出の利用やブックトークの実施など）		学校	団体貸出	指導課 図書館
③	学校図書館を活用した授業の推進（学校図書館利用計画など）		学校	国語、生活、社会、総合的な学習を中心に調べ学習の取り組みを実施。	指導課
④	図書館資料の整備（学校図書館図書標準（量と質の確保）の達成に向けた整備）		学校	学びあいサポーター・図書館アドバイザーの配置により蔵書の新陳代謝を図った。	指導課 学校管理課
⑤	学校図書館支援事業の全校実施（学校図書館司書の配置、学校図書館の環境整備、蔵書のデータベース、毎日開館、推薦図書コーナーの設置）		学校市	学びあいサポーター（小・中）・図書館アドバイザー（小）として全校に人員配置。小学校巡回便の実施。	指導課 図書館
⑥	地域ボランティア対象研修の実施（学校司書や学校図書ボランティア、学校支援地域本部等の地域人材が読み聞かせなどができるよう市立図書館と連携し、子ども読書推進活動支援員養成講座等の研修）		学校	学校図書館ボランティア連続講座の開催	指導課 図書館 社会教育課
⑦	保護者向けに児童生徒の読書活動の啓発（学校通信等を利用）	充実	学校	学校だよりや図書だより等で、学校での読書活動の啓発。	指導課 図書館
⑧	教諭向けに子どもの読書活動等に係る講習会の実施（指導課と市立図書館が共同開催）	継続	学校市	学校図書館、地域ボランティア講座を開催	指導課 図書館
⑨	中学校の学校図書館の地域開放と地域連携の促進（実験校からの取り組み）	充実	学校	第二中学校で実施。	指導課 社会教育課 図書館
⑩	異年齢間の読み聞かせ交流の促進（中・小・幼保連携）（実験校からの取り組み）	新規	学校	小学校の学年間のほか、幼小間、小中間で実施。	指導課 図書館
⑪	障がいのある児童生徒の読書活動の推進（障がいに応じた選書や視聴覚機器等の活用）	継続	学校	大活字本や大型えほんを活用。	指導課
⑫	府立交野支援学校等への団体貸出の促進と市立図書館見学会等の実施（見学とおはなし会等を実施）	充実 新規	支援学校市	団体貸出 見学・おはなし会未実施	図書館

- ・「言語活動の充実に向けた取組み」については「学校図書館支援事業」実施当初から指導課、学校現場、図書館が継続して連携してきたことにより、学校図書館の環境整備、人（学びあいサポーター）の配置が実現し、学校巡回便の実施やそれによる「団体貸出の利用」増加にも繋がりました。

「第2・3次交野市子ども読書活動推進計画（2015～2019）」に係るアンケート										
集 計										
令和元年度実績										
①	学校だよりを通じて、家庭における読書活動の啓発に行った。								13校（93%）	
②	図書だよりを通じて、家庭における読書活動の啓発を行った。								11校（79%）	
③	全校一斉読書（朝の読書タイム等）を行った。								13校（93%）	
④	学校図書館を活用した授業（調べ学習等）を行った。	1年生	国語	週1 : 2(20%) 月1 : 2(20%) 学期1 : 5(50%)	生活	月1 : 2(20%) 学期1 : 4(40%)	その他	学期1 : 1(10%)		
		2年生	国語	週1 : 2(20%) 月1 : 2(20%) 学期1 : 6(60%)	生活	月1 : 2(20%) 学期1 : 4(40%)	その他	週1 : 1(10%) 学期1 : 2(20%)		
		3年生	国語	週1 : 2(20%) 月1 : 3(30%) 学期1 : 5(50%)	社会	週1 : 0(0%) 月1 : 3(30%) 学期1 : 4(40%)	総合	週1 : 0(0%) 月1 : 2(20%) 学期1 : 5(50%)	その他	週1 : 1(10%) 月1 : 0(0%) 学期1 : 1(10%)
		4年生	国語	週1 : 2(20%) 月1 : 3(30%) 学期1 : 5(50%)	社会	週1 : 0(0%) 月1 : 3(30%) 学期1 : 6(60%)	総合	週1 : 1(10%) 月1 : 2(20%) 学期1 : 6(60%)	その他	週1 : 1(10%) 月1 : 0(0%) 学期1 : 1(10%)
		5年生	国語	週1 : 2(20%) 月1 : 3(30%) 学期1 : 5(50%)	社会	週1 : 0(0%) 月1 : 3(30%) 学期1 : 6(60%)	総合	週1 : 1(10%) 月1 : 2(20%) 学期1 : 6(60%)	その他	週1 : 0(0%) 月1 : 0(0%) 学期1 : 2(20%)
		6年生	国語	週1 : 2(20%) 月1 : 3(30%) 学期1 : 5(50%)	社会	週1 : 0(0%) 月1 : 3(30%) 学期1 : 6(60%)	総合	週1 : 1(10%) 月1 : 2(20%) 学期1 : 7(70%)	その他	週1 : 0(0%) 月1 : 0(0%) 学期1 : 2(20%)
		1年生	国語	月1 : 1(25%)	社会	学期1 : 2校(25%)	総合	年1 : 1(25%)	その他	学期1 : 1(25%) 年1 : 1(25%)
		2年生	国語	学期1 : 1(25%) 年1 : 1(25%)	社会	学期1 : 1校(25%)	総合		その他	学期1 : 2校(25%)
		3年生	国語		社会	学期1 : 1校(25%)	総合		その他	
⑤	学校だよりや図書だよりを通じて、保護者向けに学校での読書活動の様子を伝えた。								13校（93%）	
⑥	※中学校のみ 学校図書館の地域開放を行った。								0校（0%）	
⑦	異年齢間の読み聞かせ交流を行った。								6校（43%）	
⑧	障がいのある児童生徒に対して、障がいに応じた選書（大活字本・大型絵本等を含む）や視聴覚機器等の活用を行った。								9校（64%）	
⑨	令和元年度末の学校図書館蔵書の冊数 （学校図書館図書標準より多い蔵書数の学校）								1校（7%）	

第2・3次子ども読書活動推進計画進捗状況調査（令和2年6月実施）学校教育部指導課 アンケート集計より

3. 地域における子どもの読書活動の推進

	実施項目	方向	主体	R 元年 主な実施内容	担当
①	よみきかせサポーター制度（地域で読み聞かせできる人材を独自制度により育成）	新規	地域市	・「よみきかせサポーター養成講座」の実施 ・前年度受講生の活動支援	図書館 教育総務室
②	地域家庭文庫や読み聞かせ等のボランティア団体との連携・支援	継続	地域市	ブックスタートやおはなし会、えほんのひろば等で地域団体と連携	図書館
③	子育てサロンや子育てサークル等での読書活動の推進（ボランティア紹介や団体貸出の活用）	充実	地域社協市	図書館よりサロン・サークル等へ出前講座（おはなし会・読書相談等）実施	図書館
④	放課後児童会における読書活動の推進（団体貸出の活用、指導員の研修実施）	充実	市	・団体貸出 ・リサイクル図書の譲渡 ・「よみきかせサポーター養成講座」への指導員の参加	青少年育成課 図書館

- ・「読み聞かせサポーターの育成」については、平成 29 年度より「よみきかせサポーター養成講座」を 3 年連続で実施しました。修了生は年度ごとにグループを結成、図書館でのおはなし会を担当するほか、各自で学校図書館ボランティアとしても活動しており、「地域組織の連携と支援」という面においても、後継者不足に悩むボランティアの支援となりました。
- ・既存ボランティアとの連携事業として、令和元年度よりかたの子ども文庫連絡会と共催で「ストーリーテリング入門講座」を実施しています。

4. 市立図書館における子どもの読書活動の推進

		実施項目	方向	主体	R 元年 主な実施内容	担当
①	家庭への取組み	ブックスタートの実施（4 か月児健診時に読み聞かせの啓発と絵本の無料配布）【再掲】	充実	市	H27. 12 より絵本の配布を開始。	図書館 健康増進課
②		育児パパ・ママ向け絵本紹介（地域ボランティアや市立図書館からの紹介）【再掲】	継続	地域市	絵本紹介冊子「いっしょによんで 2 歳から楽しめる絵本リスト」を市内公私立幼保（3 歳児クラス）へ配布	図書館 子育て支援課
③		育児パパ・ママへの読み聞かせ講習会実施（読書イベント時に開催）【再掲】	新規	市	・「目指せ読みメン！」おはなし会とミニ講座開催 「つどいの広場」講座に参加	図書館
④		子ども向け新規イベントの実施 ぬいぐるみお泊り会等【再掲】	新規	市	・ぬいぐるみおとまり会を実施 ・一日図書館員実施	図書館
⑤	幼稚園・保育園との取組み	幼稚園・保育園の絵本蔵書の充実（園 300 冊を目指す）（団体貸出を含む）【再掲】	充実	園市	・団体貸出 ・リサイクル図書の譲渡	図書館
⑥		幼稚園教諭や保育士に読み聞かせ講習会（絵本の選び方や読み方等）【再掲】	新規	園市	おはなし会を実施 保育士に読み聞かせ講習会実施	図書館
⑦		ブンブン号（移動図書館）の夏休み巡回（希望する園等に個別巡回を行う）【再掲】	新規	市	実施	図書館
⑧		幼稚園や保育園向けに乳幼児の絵本の紹介（リストの作成と配布）【再掲】	新規	市	絵本紹介冊子「いっしょによんで 2 歳から楽しめる絵本リスト」を市内公私立幼保（3 歳児クラス）へ配布	図書館
⑨		市立機能支援センター（こどもゆうゆう）団体貸出とおはなし会の実施【再掲】	継続	市	団体貸出 おはなし会の実施	図書館 機能支援センター

⑩	小中学校との取組み	学校図書館支援事業の全校実施にむけた支援【再掲】	継続	学校市	小学校巡回便の実施	指導課 図書館
⑪		教諭向けに子ども読書活動等に係る講習会の実施（指導課と図書館が共同）【再掲】	継続	学校市	学校図書館ボランティア連続講座の開催	指導課 図書館
⑫		選書に関する情報提供、調べ学習等の支援（情報と本集め、団体貸出等）	充実	学校市	学校からの要望を受け、選書、団体貸出等を実施	図書館 指導課
⑬		府立交野支援学校等への団体貸出の促進と市立図書館見学会等の実施【再掲】	充実 新規	支援学校市	団体貸出 見学・おはなし会未実施	図書館
⑭	地域等への取組み	よみきかせサポーター制度（地域で読み聞かせできる人材を独自制度で育成）【再掲】	新規	市	・「よみきかせサポーター養成講座」開催 ・前年度受講生の活動支援	図書館 教育総務室
⑮		地域家庭文庫や読み聞かせ等のボランティア団体との連携・支援【再掲】	継続	地域市	ブックスタートやおはなし会、えほんのひろば等で連携	図書館
⑯		子育てサロンや子育てサークル等での読書活動の推進【再掲】	継続	地域社協・市	図書館よりサロン・サークル等へ出前講座（おはなし会・読書相談等）実施	図書館
⑰	図書館の取組み	図書館システムの見直しによる児童向けサービスの向上	見直し	市	ホームページ（子どものページ）を充実、読書手帳配布等	図書館
⑱		定例おはなし会、学校訪問おはなし会、季節のおたのしみ会の実施	継続	市	定例おはなし会及びおたのしみ会実施、学校訪問実施	図書館
⑲		点字絵本や大活字図書などの資料整備	充実	市	大活字図書所蔵	図書館
⑳		職員出前講座の実施（読み聞かせから読み聞かせができる人材の育成へ）	見直し 実施	市	ボランティア等へ読み聞かせ及び人材育成の講義実施	図書館
㉑		第1児童センター図書室の児童向け事業の充実	充実	市	・子ども図書室としてリニューアルオープン ・おはなし会及びおたのしみ会の実施 ・「目指せ読みメン！」おはなし会とミニ講座及びこども読書の日記念特別おはなし会の実施	図書館 青少年育成課

- ・「障がい児の読書活動推進」については、平成28年度に児童向け大活字図書の寄贈（120冊）を受けました。「府立交野支援学校等への団体貸出の促進と市立図書館見学会等の実施」は5年間を通して未実施でした。
- ・現在、市内小学校では日本語を母語としない児童が増加しており、彼らも含めた『図書館利用に障がいのある子ども』への支援について、令和元年6月に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）に基づいて、図書館における『障がい者サービスの拡充』に関連する事項として検討する必要があります。
- ・「第1児童センターの見直し」については、同施設を平成29年度に児童書と子育て関連図書に特化した「こども図書室」としてリニューアルし、以降、併設の子育て支援拠点を運営するポラリスと共催で年に数回のイベントを実施してきました。令和元年度からは、よみきかせサポーター養成講座1期生である「おはなし会“たんぽぽ”」による定例おはなし会（月2回）を開始し、課題であった乳幼児対象のおはなし会を実現することができました。開始初年度である令和元年度の参加者は、年間243人で、倉治図書館208人、青年の家図書室81人を上回る結果となっています。令和2年度からは2期生ぶらんこも合流しています。
- ・「ブンブン号（移動図書館）の運行見直し」については、通常運行休止期間の7、8月に幼保（こども園）への個別巡回（申込制）を5年間継続して実施しました。初年度は5園であった巡回が11園に増加、同時に実施している団体貸出についても多く活用されています。

5. 子どもの読書活動の普及啓発活動

	実施項目	方向	主体	R 元年 主な実施内容	担当
①	本の森プロジェクト ○学校図書館支援事業【再掲】 ○学校図書館支援事業に係るボランティアの育成支援 ○読み聞かせサポーターの講習会実施【再掲】 ○映画「じんじん」の上映会をスタートに、毎年イベントを実行委員会と教育委員会が連携して企画実施	H25～ 先行 実施	実行委 員会 市	まちかどライブラリや夏休み！親子で楽しむコンサート〈音楽絵本館〉及び♪輝くキッズの紹介＆ミニコンサート等の実施 ♪音楽つき絵本の読み聞かせ 主催：交野演奏家クラブ音夢の会の実施	教育総務室 図書館
②	広報紙による絵本及び本の紹介（毎月掲載）	充実	市	テーマを変え毎月実施	図書館
③	ビブリオバトルやブックトークの実施（イベント時等に検討）	新規	市	ビブリオバトル研修実施	図書館
④	よみきかせサポーター制度（地域で読み聞かせできる人材を独自制度で育成）【再掲】	新規	地域 市	・「よみきかせサポーター養成講座」実施 ・前年度受講生の活動支援	図書館 教育総務室
⑤	子ども向け新規イベントの実施 ぬいぐるみお泊り会（お気に入りのぬいぐるみを図書館に預け疑似体験等） 子ども1日図書館長の募集等【再掲】	新規	市	・ぬいぐるみおとまり会を実施 ・一日図書館員実施	図書館 教育総務室
⑥	子ども読書活動推進計画の公表と、概要版による学校等への周知徹底	新規	市	図書館ホームページにて公表	図書館

- ・「本の森によるイベント」については、実施項目にある H26 年度の映画「じんじん」の上映会以降、図書館としての具体的な連携はありませんでした。
- ・「広報紙等による本の紹介」は小学校新1年生を対象に、「絵本から物語へ」「科学・知識の絵本」のテーマで実施、5年間で60冊に達しました。
- ・「ブックトーク」については、小学校訪問おはなし会時に高学年に行いました。
- ・「ビブリオバトル」については、教員・学校図書館ボランティアを対象に講座を2回実施しましたが、図書館イベントとしての実施には至っておらず、単独での開催は難しいと考えます。
- ・「推進計画の周知、概要版の団体等への配布」については、初年度に概要版の配布を行って以降、毎年の進捗状況を図書館ホームページで行っています。

第3章

第4次交野市子ども読書活動推進計画

計画の基本理念

第2・3次交野市子ども読書活動推進計画に掲げた基本理念を継承します。

「子どもの周りに本があること」

「子どもが本を読みたいと思うきっかけをつくる人が周りにいること」

計画策定の基本方針

子どもは、読書を通じて読解力や想像力、思考力、表現力等を養うとともに多くの知識を得て、多様な文化を理解することができるようになります。また、文学作品のみならず、自然科学・社会科学関係の資料を読み深め、それらを活用することで、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、さらなる探求心や真理を求める態度が培われます。学習能力を養ううえで読書活動は、情報を基に自分の考えを形成し、表現する時に必要となる言語活用能力を育む側面からも重要です。それには、子どもの発達段階に応じた体系的な読書活動が求められています。

このことから、子どもが発達段階に応じた読書習慣を身につけることができるよう関連機関との連携・協力のもと、効果的な取組みを進めていきます。

また、成長するに合わせ、中高生時期の多忙な中でも読書に興味関心を持つきっかけを作り出す必要があります。

令和元年6月に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（以下、「読書バリアフリー法」）に基づき、資料の充実・整備に努めます。

これらアンケート等から把握できた課題、前計画の成果、交野市の現状を踏まえ、今後の取組みを進めていく基本方針を定めます。

1. 子どもが読書に親しむ機会の充実
2. 読書環境の整備・充実
3. 家庭、地域、学校を通じた社会全体での取組み
4. 子どもの読書情報の提供・啓発

基本項目

計画を推進するために、目標を以下のとおり定めます。

1. 家庭における子どもの読書活動の推進

読み聞かせの楽しさや読書の重要性について、子どもの最も身近な存在である家庭での理解の促進を図るとともに、読書が習慣化するよう啓発に努めます。

2. 学校等における子どもの読書活動の推進

認定こども園、幼稚園、保育園での絵本や物語に親しむ環境の整備や団体貸出、ブブン号の活用を図るとともに、各学校段階で生涯にわたる読書習慣が身に付くよう環境整備に努めるとともに、読書の幅が広がるよう啓発に努めます。

3. 地域における子どもの読書活動の推進

各関係機関、ボランティア団体との連携・協力を図り、地域においてさまざまな本との出会いができるよう、機会や場を工夫し提供して、子どもが読書活動に興味を持つよう環境の充実を図ります。

4. 市立図書館における子どもの読書活動の推進

子どもが利用しやすい環境の整備や資料の充実を図るとともに、子ども向けテーマにちなんだ特集展示本の工夫・イベントの開催や地域で読み聞かせができる人材の育成等に努めます。

5. 子どもの読書活動の普及啓発活動

広報紙による絵本及び本の紹介を行うとともに、幼児期の読書習慣を育む読み聞かせや学校図書館の活用についての啓発活動、子どもたちの成長に応じた読書指導に努めます。



実施施策及び内容

体系図

基本方針	基本項目		主な施策
1 2 3 4 子どもが読書に親しむ機会の充実 読書環境の整備・充実 家庭、地域、学校を通じた社会全体での取組み 子どもの読書情報の提供・啓発	1. 家庭における子どもの読書活動の推進		○ブックスタートの充実 ○絵本の紹介 ○保護者等への読み聞かせ等の啓発
	2. 学校等における子どもの読書活動の推進	(1) 認定こども園、幼稚園等の読書活動の推進	○絵本の蔵書確保 ○保護者への絵本貸出 ○保育士・教諭の読み聞かせ研修 ○ブンブン号（移動図書館）の活用
		(2) 小・中学校の読書活動の推進	○言語活動の充実に向けた取組み ○学校図書館環境整備 ○学校図書館利用計画 ○団体貸出・小学校巡回便の利用 ○障がい児の読書活動推進 ○ビブリオバトル、異年齢間の読み聞かせ ○保護者・家庭への啓発
	3. 地域における子どもの読書活動の推進		○よみきかせサポーターの支援 ○地域組織の連携と支援 ○子どもの読書に関連する講座等の開催
	4. 市立図書館における子どもの読書活動の推進		○上記施策の支援と連携、協力 ○読書環境及び資料の充実 ○推進に係る講座等の開催 ○読書に障がいのある子どもへの支援 ○ブックスタートの充実（再掲） ○ブンブン号（移動図書館）の運行充実 ○職員出前講座
	5. 普及啓発活動		○本の森プロジェクトへの協力 ○広報紙等による本の紹介 ○推進計画の周知と公表 ○子どもの読書に関連する講座等の開催（再掲）

1. 家庭における子どもの読書活動の推進

国が示す方策（第四次計画）

家庭においては、読み聞かせをしたり、子供と一緒に本を読んだり、図書館に出向いたりするなど、工夫して子供が読書に親しむきっかけを作ることが重要である。また、読書の時間を設けるなどして家族で読書の習慣付けを図ったり、読書を通じて家族で感じたことや考えたことを話し合ったりするなど、読書に対する興味や関心を引き出すように子供に働き掛けることが望まれる。家庭における読書活動が進むよう、保護者を対象とした家庭教育に関する講座の開催、家庭教育の一環として行われる読み聞かせ会やわらべ歌に親しむ活動をはじめとする家族が触れあう機会の提供、お薦め本を掲載したリーフレットの作成など、家庭における読書活動の参考となる取組みが求められる。ブックスタートや子供を中心に家族で同じ本を読むことで、本を媒介として相互理解を深め、家族の絆が深まることを目指す活動である「家読(うちどく)」などの取組みをさらに推進することが望まれる。

府の方策（第4次計画）

乳幼児の時期の子どもの読書活動について、読書活動の取組みを行うことができていない教育保育施設や時間のない保護者に対し幅広い支援を実施する。（ことばを知り、本にひかれ、本に親しむ）

交野市の現状と課題

- 子育て中の親は、子どもと一緒に読書をする時間や余裕がない
- スマートフォン等の普及で子どもから大人まで読書離れが進んでいる中、子どもへの読み聞かせの重要性は広く認識している
- 子育て世代は「子どもに絵本を」という思いはあっても忙しく、図書館のイベント参加や貸出には結びついていない
- 親が子どもと一緒にどんな絵本を読んだら良いのかわからない

アンケートからの主な意見等

- 子どもがさわぐので図書館に行きづらい
- 図書館に行く時間がない。園への配送や市内に返却ポストを増やすなどしてほしい
- テーマ分けやPOPなど、本を探しやすい、手に取りやすい工夫をしてほしい
- 年齢にあった本の紹介をしてほしい
- 新しい本を充実させてほしい

今後の取組み

子どもの読書活動では、家庭が最も重要な役割を担っていることから、本が身近にある環境やおはなし会等、読書に親しむことができる機会の提供とともに、保護者等に向けて絵本リストの配布や講座等の啓発活動を行っていきます。

また、乳幼児がいる家庭においても利用しやすい図書館の環境整備やサービスの充実に努めます。

実施項目及び内容	方向	主体	H27 ～	R4	R5	R6	R7	R8	担当
ブックスタートの実施（4か月児健診時に読み聞かせの啓発と絵本の無料配布）	継続	市							図書館 健康増進課
乳幼児のいる家庭向け絵本紹介（地域ボランティアや市立図書館からの絵本紹介）「育児パパ・ママ向け絵本紹介」から名称変更	継続	地域市							図書館 こども園課 子育て支援課
地域やボランティアによるよみきかせの促進（子育てサロン、子育てサークル、地域子育て支援拠点、放課後児童会での日常的な活動内でのよみきかせ実施）	継続	地域							社協※、図書館 子育て支援課 青少年育成課
認定こども園・幼稚園や学校における家庭への啓発（市立認定こども園等での絵本の貸出、学校での学校通信等を通じた家庭への啓発）	継続	園学校							図書館 指導課 こども園課
子ども向けイベントの実施（図書館利用促進のため、ぬいぐるみおとまり会、一日図書館員の募集、実施）	継続	市							図書館
子どもが集う場所での児童書の充実（まちの図書館等での絵本や児童書の充実、本を読む機会の拡充）	新規	市							図書館 子育て支援課
赤ちゃんタイムの実施（乳幼児とその保護者が気兼ねなく図書館利用ができる時間帯の設定）	新規	市							図書館
図書館利用の整備（子育て世代の図書館利用促進にかかる環境整備、サービスの充実）	新規	市							図書館

※社協は、社会福祉協議会の略。

2. 学校等における子どもの読書活動の推進

(1) 認定こども園・幼稚園・保育所等の役割と取組み

国が示す方策（第四次計画）

乳幼児期に読書の楽しさを知ることができるよう、幼稚園、保育所等は、幼稚園教育要領及び保育所保育指針（平成20年厚生労働省告示第141号）に基づき、乳幼児が絵本や物語に親しむ活動を積極的に行うことが期待される。幼稚園教育要領及び保育所保育指針の理解を促進すること等を通じて、幼稚園、保育所等において幼児が絵本や物語に親しむ活動の充実を促す。また、幼稚園、保育所等における図書の整備への支援を行うことで、幼稚園、保育所等において絵本や物語に親しむ環境の整備を促す。

府の方策（第4次計画）

発達段階ごとの特徴を考慮し、様々な場所・状況にいるすべての子どもが「読みたいと思える本」と出合うため、興味・関心が向くような本が子供に届けられるようネットワークを充実する。

（本に出合い、本に親しみ、本に学ぶ）

交野市の現状と課題

- こども園等における絵本の所蔵数が300冊を超える園は、全体で3割弱である
- 保護者への本の貸出や啓発活動を行っているこども園等は少数の園に限られる
- 市立図書館とこども園等の関わりが増加してきた
- 蔵書を増やしたいこども園等は、ブンブン号やリサイクル・フェア、団体貸出を積極的に活用している

アンケートの主な意見等

- 読書活動の推進についてこども園等でどのような取組みが可能か教えてほしい
- ブンブン号（移動図書館）の巡回を希望するが駐車スペースの確保が難しい
- 読み聞かせや選書について学習する機会があれば利用したい
- 紙芝居や大型絵本を定期的に持ってきてほしい
- 図書館との連携を継続していきたい

今後の取組み

認定こども園・幼稚園・保育所等は、乳幼児期に読書の楽しさを知ることができるよう、絵本や物語に親しむ活動を積極的に行います。本に触れる機会を増やすため、リサイクル本、団体貸出の活用を図ります。

あわせて、子どもの読書活動では、乳幼児のいる家庭が最も重要な役割を担っていることから、保護者に向けて積極的な絵本の貸出やおはなし会等の啓発活動を行います。

実施項目	方向	主体	H27 ～	R4	R5	R6	R7	R8	担当
市立認定こども園の絵本蔵書の充実 (園300冊を目指す、リサイクルフェアの活用、団体貸出を含む)	継続	園市							図書館 こども園課
市立認定こども園の保護者へ絵本の貸出実施 (H27年度当初からすべての公立園で実施)	継続	園							図書館 こども園課
私立認定こども園、幼稚園の絵本蔵書の充実 (リサイクルフェアの活用、団体貸出を含む)	継続	園市							図書館
私立認定こども園、幼稚園等の保護者へ絵本の貸出実施 (協力要請により順次実施)	継続	園市							図書館 こども園課
幼稚園教諭や保育士に読み聞かせ講習会 (年齢別絵本の選び方や読み方等)	継続	園市							図書館 こども園課
ブンブン号(移動図書館)の夏休み巡回 (希望する園等に個別巡回を行う)	継続	市							図書館
認定こども園や幼稚園等向けに乳幼児期の絵本の紹介 (絵本リストの作成と配布)	充実	園市							図書館 こども園課
市立児童発達支援センター(こどもゆうゆう)への団体貸出等 (ブンブン号利用による団体貸出とおはなし会)	継続	市							図書館 児童発達支援センター

(2) 学校の役割と取組み

国が示す方策（第四次計画）

子供の読書習慣を形成していく上で、学校はかけがえのない大きな役割を担っている。学校教育法（昭和22年法律第26号）においても、義務教育として行われる普通教育の目標の一つとして、「読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと」（第21条第5号）が規定されており、平成29年、30年に公示された学習指導要領においても、言語活動等を充実するとともに、学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り児童生徒の自主的、自発的な読書活動を充実することとしている。子供が生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するため、学校においては、子供が自由に読書を楽しみ、読書の幅を広げていくことができるような環境を整備し、適切な支援を行うことが求められる。小学校・中学校・高等学校等の各学校段階において、子供が生涯にわたる読書習慣を身に付け、読書の幅を広げるため、読書機会の拡充や図書の紹介、読書経験の共有により、様々な図書に触れ合う機会を確保することが重要である。

障害のある子供は豊かな読書活動が体験できるよう、点字図書や音声図書など、一人一人の教育的ニーズに応じた図書館資料の整備を図り、学習指導要領等に基づき自発的な読書を促す指導が行われる取組みを推進する。

- 家庭・地域との連携による読書活動の推進
- 学校図書館の資料、施設等の整備・充実
- 学校図書館の活用を推進していくための人的配置の推進
- 学校図書館の情報化

府の方策（第4次計画）

読書への興味・関心が高まるようにインターネットを活用した取組みを進める。

支援が必要な子供への読書環境づくりとして、日本語指導が必要な児童・生徒の状況に応じ読書に関心を持ち豊かな読書活動が行えるよう様々な機会や環境を整備する。

発達段階ごとの特徴を考慮し、様々な場所・状況にいるすべての子どもが「読みたいと思える本」と出合うため、興味・関心に向くような本が子供に届けられるようネットワークを充実する。

（本に出合い、本に親しみ、本に学ぶ）

交野市の現状と課題

- 学校図書館の、読書・学習・情報センターとしての機能を充実させるため、「学びあいサポーター」を全校に配置
- 小学校巡回便の実施により学級文庫や調べ学習用資料の団体貸出が増加している
- 中学校でも学校図書館の活用、市立図書館との連携を進めていく必要がある
- 読書が好きな児童・生徒は年々増加しているが、依然、不読率も高く（平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査）、さらなる読書環境の充実が必要
- GIGAスクール構想により、全校にLTEタブレット端末を導入、ICTを活用した学習環境の整備が進められている
- 小学校での読書活動がタブレットを用いたビブリオバトル、教員による読み聞かせ、全校での「読書の木」の作成、図書委員会での取組み等、多岐にわたり活発になっている
- 5年前と比較して授業で活用する小学校図書館での貸出冊数が大きく伸びている

アンケートの主な意見等

- 学びあいサポーターの配置により、学校図書館の蔵書が充実してきた
- 学びあいサポーターの配置により、調べ学習資料の相談、準備がしやすい
- 授業で学校図書館を活用する場面が増えた
- 本や学校図書館利用のさらなる推進のため教員にどう働きかけるべきか
- 市立図書館からの学級文庫用資料の貸出が助かる
- 市立図書館との連携を継続してほしい
- タブレットとの併用に伴い、著作権教育の必要性、難しさを感じる

今後の取組み

各教科等における学校図書館を活用した学習活動や読書指導の充実を図っていくために、司書教諭や学びあいサポーターのみならず、学校全体で児童生徒の学習・読書活動を推進していく体制を整備します。主体的な学習活動の拠点として機能するよう、校内研修や研究会等を通じた教職員の意識や指導力の向上、学校図書館利用計画の作成、児童生徒の言語活用力の向上に向け学校図書館を活用した取組みの充実に努めます。

障がいのある子どもの読書活動については、障がいの状況に応じた選書やタブレット等 ICT 機器の活用にも努めます。

また、学校と教育委員会が連携し、学校図書館運営に係るボランティアの育成等地域との連携にも努めます。

実施項目	方向	主体	H27 ～	R4	R5	R6	R7	R8	担当
全校一斉読書の実施（朝の時間等を活用した、一斉読書への取組み）	継続	学校							指導課
市立図書館との連携（学級文庫や授業支援、ビブリオバトルやブックトーク等への団体貸出、訪問おはなし会の実施）	継続	学校							指導課 図書館
学校図書館を活用した授業の推進（全校における学校図書館利用計画の作成、市立図書館での団体貸出等の利用による学校図書館を活用した授業の充実）	充実	学校							指導課
図書館資料の整備（学校図書館図書標準（量と質の確保）の達成に向けた整備）	継続	学校							指導課 学務保健課
学校図書館の環境整備（学校図書館司書の配置、学校図書館の環境整備、蔵書のデータベース、毎日開館、推薦図書コーナーの設置、図書館による小学校巡回便の活用、定例会による情報共有）	継続	学校 市							指導課 図書館
地域ボランティア対象研修の実施（学校司書や学校図書ボランティア、学校支援地域本部等の地域人材が読み聞かせなどができるよう市立図書館と連携し、学校図書館ボランティア講座等の研修）	継続	学校							指導課 図書館 社会教育課
保護者向けに児童生徒の読書活動の啓発（学校だよりや図書だより等の学校通信で、学校での読書活動の啓発）	継続	学校							指導課 図書館
教員向けに子どもの読書活動等に係る講習会の実施（指導課と市立図書館が共同開催）	継続	学校 市							指導課 図書館
異年齢間の読み聞かせ交流の促進（小中一貫教育、及び中・小・こ幼連携、による取組み）	継続	学校							指導課 図書館

障がいのある児童生徒の読書活動の推進（障がいに応じた選書やタブレット等 ICT 機器の活用）	継続	学校							指導課
--	----	----	--	--	--	--	--	--	-----

※学びあいサポーター（学校図書館司書）は、平成 25 年度「交野市学校教育ビジョン」に位置づけ学校図書館支援事業の取組みの中で各学校に配置されました。なお、学校図書館司書は、専ら学校図書館に関する業務を担当し、司書教諭と連携しながら、多様な読書活動を企画・実施するなど、学校図書館サービスの改善や充実に努めることとしています。

3. 地域における子どもの読書活動の推進

国が示す方策（第四次計画）

地方公共団体においては、域内のボランティアグループや企業の社会貢献活動の取組みなどの状況を把握するとともに、子供の読書活動を推進する活動で公共性が高いと認められるものについては、活動の場の確保のため、域内の公民館等の公共施設の利用に便宜を図るなど、奨励方策を講ずることが期待される。

子供の読書活動を推進していく上で、学校が家庭・地域と連携して地域ぐるみで子供の読書活動を推進することが重要である。幅広い地域住民等の参画による「地域学校協働活動」として実施される学校図書館等の支援や読み聞かせの実施等の活動を推進することを通じて、地域の図書館との連携や子供の読書活動の充実を図ることが有効である。

府の方策（第4次計画）

ボランティアや子ども読書活動にかかわる支援者に対して、本に関する情報や読書手法等を届けられることができるよう取組みを実施する。（子どもと本をつなぎ、本に親しむ）

交野市の現状と課題

- 市内の地域子ども文庫は 5 団体に減少。担い手の高齢化とともに利用する子どもも減少傾向にある
- よみきかせサポーター制度により新たに 3 つのボランティアグループが発足した
- 子どもが本にふれる場所や機会の維持、充実

アンケートの主な意見等

- コロナ禍において文庫活動がままならず、利用者が離れてしまうのではないかと案じている
- コロナ禍においても、いつもある場所が開いている、ここにすれば本が読めるという安心の場を提供するため、文庫開室に努めたい
- ボランティアへ活動の場の提供や講座開催などの支援を継続してほしい
- ボランティアの固定化、高齢化が進んでいる
- 放課後児童会、子育てサロンや子育て支援センターと市立図書館の連携継続を望む



今後の取組み

地域のボランティアについては、地域家庭文庫の運営支援、読み聞かせ等のボランティア団体との連携、前計画時に発足したよみきかせサポーターへのフォローアップ支援を引き続き行っています。

また、社会福祉協議会と校区福祉委員会が実施している子育てサロンや地域の自主的な子育てサークル活動、放課後児童会における読書活動の推進に向けて、本の団体貸出やリサイクル本の活用、指導員への講座案内等支援を広げます。子どもがいる場所にある環境を作ります。

実施項目	方向	主体	H27 ～	R4	R5	R6	R7	R8	担当
地域家庭文庫と読み聞かせ等のボランティア団体との連携・支援	継続	地域市							図書館
子育てサロンや子育てサークル等での読書活動の推進（ボランティア紹介や団体貸出の活用）	継続	地域社協市							図書館
放課後児童会における読書活動の推進（団体貸出の活用、指導員講座案内）	継続	市							青少年育成課 図書館
子どもの読書に関連した各種講座開催（市民向け児童書関連の講座開催、よみきかせボランティアグループへの研修支援等）「よみきかせサポーター制度」からの移行	新規	市							図書館
子どもが集う場所での児童書の充実（まちの図書館等での絵本や児童書の充実、絵本に触れる場所・機会の充実） 【再掲】	新規	市							子育て支援課 図書館

4. 市立図書館における子どもの読書活動の推進

国が示す方策（第四次計画）

子供にとって、図書館は、その豊富な蔵書の中から読みたい本を自由に選択し、読書の楽しみを知ることができる場所である。また、保護者にとっても、子供に読ませたい本を選択したり、子供の読書について司書や司書補に相談したりすることができる場所である。

さらに、図書館は、子供やその保護者を対象とした読み聞かせ会、講座、展示会等を実施するほか、子供の読書活動を推進する団体の支援や、多様なボランティア活動等の機会や場所の提供、それらの活動を円滑に行うための研修等も行っており、地域における子供の読書活動を推進する上で重要な役割を果たしている。このような取組みは、引き続き、図書館において充実させていくことが求められている。

図書館における子供の読書活動を推進するためには、読書活動をより身近に感じられる環境を整備していくことが重要である。

- ①読書活動に関する情報提供 ②移動図書館の活用 ③子供の利用のためのスペースの設置
- ④情報化の推進 ⑤障害のある子供のための諸条件の整備・充実 ⑥学校図書館との連携・協力
- ⑦ボランティア活動の促進 ⑧子供の読書活動の推進のための図書館の機能強化
- ⑨図書館相互や関係機関との連携・協力 ⑩図書館資料の整備・提供

府の方策（第4次計画）

ボランティアや子ども読書活動にかかわる支援者に対して、本に関する情報や読書手法等を届けることができるよう取組みを実施する。（本のある環境、本に学び、本に親しむ）

交野市の現状と課題

- 家庭・学校・地域・ボランティアが抱える課題解決に向けての連携・支援
- 蔵書の充実をはじめ、電子書籍やICタグ等の情報通信技術の活用を検討、より利用しやすい図書館の整備と運営
- 視覚障がい児など障がいのある子ども、日本語が読めない子ども等読書が難しい子どもを対象にした資料の充実、サービスの拡充

アンケートの主な意見

○小学生（5年生）

- ・図書館にマンガを置いてほしい
- ・好きなジャンルやシリーズ本を置いてほしい（こわい本、スポーツの本など）
- ・「読書をする理由」の自由記入最多意見は「おもしろいから」

○中高生（中学2年生・高校2年生）

- ・図書館に勉強スペースがほしい
- ・ライトノベルを充実させてほしい
- ・「読書をする理由」の自由記入上位意見は「おもしろいから」「ひまつぶし」
- ・「本を読みたくなるには」の設問に対し、「読みたくなる本をSNSで紹介する」「電子書籍が充実する」の回答がやや上位にきている

○小中学生の保護者

- ・立ち寄りたくなるきれいで充実した図書館の建設を希望する
- ・徒歩や自転車で気軽に本を読みに行ける場所が近くにあるとよい
- ・ブンブン号が近くまできてくれるとうれしい
- ・新刊、話題作、子どもの興味を引く本など蔵書を充実してほしい
- ・子どもが図書館にいきたくなるようなイベントをしてほしい
- ・おすすめの本などを紹介してほしい
- ・本にふれる機会を増やすことで子どもが本を読むようになると思う

今後の取組み

すべての子どもが読書を楽しめるよう、読書環境や蔵書の充実に努めます。また、整備とともに子どもに向けたサービスの拡充を図ります。家庭や学校、地域の子どもの読書活動の取組みが円滑に行えるよう必要な支援や連携を進めます。地域や学校で活動するよみきかせサポーター、関連団体への支援を行います。読書に障がいがある子どもたちの読書活動を進めるため、資料整備及び個々のニーズに応じた資料収集を行います。団体貸出やリサイクル・フェア等資料の有効活用により、子どもの周りに本がある環境づくりに努めます。

子どもの読書への興味・関心へつなげるようホームページを活用した普及活動に努めます。

	実施項目	方向	主体	H27 ~	R4	R5	R6	R7	R8	担当
家庭 への 取組 み	ブックスタートの実施（4か月児健診時に読み聞かせの啓発と絵本の無料配布）【再掲】	継続	市							図書館 健康増進課
	乳幼児のいる家庭向け絵本紹介（地域ボランティアや市立図書館からの絵本紹介）「育児パパ・ママ向け絵本紹介」から名称変更【再掲】	継続	地域 市							図書館 子育て支援 課
	子ども向けイベントの実施（図書館利用促進のため、ぬいぐるみおとまり会、一日図書館員の募集、実施）【再掲】	継続	市							図書館
	子どもが集う場所での児童書の充実（まちの図書館等での絵本や児童書の充実、本を読む機会の拡充）【再掲】	新規	市 地域							図書館 子育て支援 課
	赤ちゃんタイムの実施（乳幼児とその保護者が気兼ねなく図書館利用ができる時間帯の設定）【再掲】	新規	市							図書館
	図書館利用の整備（子育て世代の図書館利用促進にかかる環境整備、サービスの充実）【再掲】	新規	市							図書館
認定こども園・幼稚園との取組み	市立認定こども園の絵本蔵書の充実（園300冊をめざす、リサイクル・フェアの活用、団体貸出を含む）【再掲】	継続	園 市							図書館 こども園課
	私立認定こども園、幼稚園等の絵本の充実（リサイクルフェアの活用、団体貸出を含む）【再掲】	継続	園 市							図書館
	幼稚園教諭や保育士に読み聞かせ講習会（年齢別絵本の選び方や読み方等）【再掲】	継続	園 市							図書館
	ブンブン号（移動図書館）の夏休み巡回（希望する園等に個別巡回）【再掲】	継続	市							図書館
	認定こども園や幼稚園向け乳幼児期の絵本の紹介（絵本リストの作成と配布）【再掲】	充実	市							図書館
	市立児童発達支援センター（こどもゆうゆう）団体貸出とおはなし会の実施【再掲】	継続	市							図書館 児童発達支 援センター
小中 学校 との 取組 み	選書に関する情報提供、調べ学習等の支援（学級文庫及び授業支援、ビブリオバトルやブックトーク等への団体貸出、訪問おはなし会の実施）	継続	学校 市							指導課 図書館
	学校図書館の環境整備（学校図書館司書の配置、学校図書館の環境整備、蔵書のデータベース、毎日開館、推薦図書コーナーの設置、図書館による小学校巡回便の活用、定例会による情報共有）「支援事業」より名称変更【再掲】	継続	学校 市							指導課 図書館
	教員向けに子ども読書活動等に係る講習会の実施（指導課と図書館が共同）【再掲】	継続	学校 市							指導課 図書館
地域	地域家庭文庫や読み聞かせ等のボランティア団体との連携・支援【再掲】	継続	地域 市							図書館
	子育てサロンや子育てサークル等での読書活動の推進（ボランティア紹介や団体貸出の活用）【再掲】	継続	地域 社協 市							図書館

地域との取り組み	放課後児童会における読書活動の推進（団体貸出の活用、図書館での講座・リサイクル・フェア等案内）【再掲】	継続	市							青少年育成課 図書館
	子どもの読書に関連した各種講座開催（市民向け児童書関連の講座開催、よみきかせボランティアグループへの研修支援等）「よみきかせサポーター制度」からの移行【再掲】	新規	市							図書館
	子どもが集う場所での児童書の充実（まちの図書館等での絵本や児童書の充実、絵本に触れる場所・機会の充実）【再掲】	新規	市							子育て支援課 図書館
図書館の取り組み	図書館システムの機能を活かした児童向けサービスの向上（ブックリストやリンク集の充実、読書マラソンや読書手帳の利用促進等）	充実	市							図書館
	定例おはなし会、学校訪問おはなし会、季節のおたのしみ会の実施（子どもが集う場所での読書活動推進、他機関との連携）	継続	市							図書館
	読書に障がいのある子どもへの支援（点字絵本や大活字図書、LLブック、多言語絵本などの資料整備）→「府立交野支援学校との連携」から移行	充実	市							図書館
	職員出前講座の実施（ボランティア等への講義実施、子育てサロン、サークルへのおはなし会等）	継続	市							図書館
	ヤング・アダルト図書コーナーの設置（YA向けの資料の充実、コーナー設置）	新規	市							図書館
	図書館利用の整備（子育て世代の図書館利用促進にかかる環境整備、サービスの充実）	新規	市							図書館
普及啓発活動	本の森プロジェクト（市民団体と連携し、本に親しむためのイベントを開催）	継続	実行委員会 市							教育総務室 図書館
	広報紙による絵本及び本の紹介（テーマにそった絵本を毎月紹介）	継続	市							図書館
	子ども向けイベントの実施（利用促進のため、ぬいぐるみおとまり会、一日図書館員の募集、実施）【再掲】	継続	市							図書館
	子ども読書活動推進計画の公表と周知、進捗状況調査【再掲】	継続	市							図書館

5. 子どもの読書活動の普及啓発活動

国が示す方策（第四次計画）

「子ども読書の日」を中心とした全国的な普及啓発の推進等

地方公共団体は、「子ども読書の日」の趣旨にふさわしい事業を引き続き実施するよう努めるとともに、文字・活字文化についての関心と理解を深めるために設けられた「文字・活字文化の日」（10月27日）においても、その趣旨にふさわしい行事が国民の間で実施されるよう努める。

子供の読書活動の実態や、学校、図書館、民間団体における様々な取組み、並びに家庭読書、書評合戦（ビブリオバトル）及びブックトーク等の先駆的・モデル的な取組みに関する情報を収集するとともに、子供の読書活動の推進に関する専用のホームページを活用し、情報を広く提供するなど、必要な各種情報の収集・提供に努める。

府の方策（第4次計画）

様々な広報媒体を活用し、読書活動ができていない子どもが少しでも本に興味・関心を持つよう読書活動の普及啓発を行っていく。（本にひかれ、本に出会う）

今後の取組み

子どもたちにたくさんの本と出会ってほしい、読書を日々の暮らしの中で習慣にしてほしいという願いから、すべての子どもたちが読書を楽しめるように家庭や地域、学校と教育委員会が協働して「本の森プロジェクト」を平成25年度より先行して始めました。

幼児期の読書習慣、学校図書館の活用、子どもたちの成長に応じた読書指導のほかに、地域の図書ボランティア・各種団体による絵本を通じての読書活動の活性化など、市民参加型事業を行います。

実施項目	方向	主体	H27 ～	R4	R5	R6	R7	R8	担当
本の森プロジェクト（市民団体と連携し、本に親しむためのイベントを開催）	継続	実行委員会 市							教育総務室 図書館
広報紙による絵本及び本の紹介 （テーマにそった絵本を毎月紹介）	継続	市							図書館
子ども向けイベントの実施 （利用促進のため、ぬいぐるみおとまり会、一日図書館員の募集、実施）【再掲】	継続	市							図書館 教育総務室
子ども読書活動推進計画の公表と周知、進捗状況調査【再掲】	継続	市							図書館



参考資料

参－１．

第４次交野市子ども読書活動推進計画策定に係る事務処理要領

（目的）

第１条 この要領は、子どもの読書活動の推進に関する法律（平成 13 年法律第 154 号）第 9 条第 2 項の規定に基づき、子どもの読書活動の推進及び充実を図るため、第 4 次交野市子ども読書活動推進計画（以下「計画」という。）の策定に関し、交野市立図書館条例第 4 条に規定する交野市図書館協議会（以下「協議会」という。）の関わりについて、必要な事項を定めるものとする。

（協議会の関わり等）

第２条 協議会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について関わるものとする。

- （１） 計画の策定に関すること
- （２） 子どもの読書活動推進の施策に関すること
- （３） 会議の開催やアンケート調査等、計画策定に必要な事項に関すること
- （４） 所管事務調査の実施
- （５） パブリックコメントの実施

（期限）

第３条 計画策定の期限は、令和 4 年 3 月 31 日までとする。

（委任）

第４条 この要領に定めるもののほか、計画の策定について必要な事項は、図書館長が別に定める。

（付則）

この要領は、令和 3 年 5 月 26 日から施行する。

交野市図書館協議会委員名簿

令和3年5月現在

氏 名	所 属 ・ 勤 務 先 等
足 立 多 恵	学校教育部部長
有 山 正 子	交野市子ども会育成連絡協議会副会長
今 堀 太 逸	佛教大学名誉教授
良 幸 浩	福祉部部長
神 原 洋 子	交野市ボランティアグループ連絡会 朗読グループ「あい」代表
木 下 みゆき	大阪大谷大学教授・図書館長
栗 原 義 雄	交野市青少年指導員会会長
小 嶺 彰 博	交野市立第一中学校校長
島 田 国 久	健やか部部長
恒 松 小百合	交野市立藤が尾小学校校長
中 嶋 智 子	かたの子ども文庫連絡会代表
西 岡 浩 二	生涯学習推進部部長
松 井 京 子	かたの子ども文庫連絡会
向 井 正 明	大阪府立交野高等学校校長
山 岡 直 子	大阪府立中央図書館 資料情報課長

(50音順)

参ー２．アンケート集計結果

■公立小学校の図書館の活用状況等（10／10校回答）

1. 学校図書館の利用状況等について										
(1)	貸出冊数を教えてください	平均	最大	最小	基本的に令和2年度実績であるが、令和2年4月から6月臨時休校期間、現況の令和3年度上半期については、図書館休館や貸出を行っていない学校があることから数字にばらつきが生じている。					
			22,791	4,054						
(2) 開館日・時間・平均利用人数										
①	開館日	ア. 平日毎日	イ. 平日日／週	ウ. 土曜日	エ. 日曜日					
		6	4							
②	開館時間	ア. 全日	イ. 始業前	ウ. 昼休み	エ. 休み時間	オ. 放課後	キ. その他			
		2		7	6	1				
③	開館日の利用者数	ア. 0～19人	イ. 20～39人	ウ. 40～59人	エ. 60～79人	オ. 80～99人	カ. 100人以上			
		3	3	2	0	1				
(3) 長期休業期間の開館日・時間・平均人数を教えてください										
①	開館日	ア. 平日毎日	イ. 平日日／週	ウ. 土曜日	エ. 日曜日	オ. その他				
						5				
②	開館時間	ア. 全日	イ. 午前	ウ. 午後	エ. その他					
					2					
③	開館日の概ね利用人数	ア. 0～19人	イ. 20～39人	ウ. 40～59人	エ. 60～79人	オ. 80～99人	カ. 100人以上			
						1				
(4)	学校図書館のコンピューターの使用	ア. 自校図書館業務（受入れ、発注、台帳管理等）	イ. 自校図書館の本の・予約	ウ. 自校図書館の本の検索・予約	エ. インターネットによる公立図書館や他の学校の本の検索	オ. インターネットによる様々なホームページ閲覧	カ. CD-ROM等の閲覧	キ. メールの送受信	ク. その他	
		10	1	7	4	2	1	1	2	
(5) 選書方法等について										
①	過去3年間の購入冊数	平成30年度平均	令和元年度平均	令和2年度平均						
		365	368	332						
②	選書の参考	A. 児童・生徒のリクエスト	B. 教職員のリクエスト	C. 書評誌	D. 新聞書評	E. 出版社や取次店の目録	F. インターネット情報	G. 公立図書館の選定リスト	H. その他	
		8	10	4	3	8	4	6	4	
②	選書担当	A. 担当教職員の単独選定	B. 教職員で構成する選定委員会等で選定	C. 学びあいサポーター含む教職員で構成する選定委員会等で選定	D. 教職員と児童・生徒で構成する選定委員会等で選定	E. 児童・生徒で構成する選定委員会等	F. その他			
		1	1	6			5			
(6) 図書館の利用状況について										
①	3年前との利用比較	A. 進んでいる	B. 進んでいない	C. 変わらない						
		8		2						
②	進んだ点	A. 貸出冊数	B. 利用人数	C. 授業での利用	D. 蔵書の充実	E. 教職員への支援	F. その他			
		3	3	7	5	5	1			
③	活性化のための改善策	A. 児童・生徒が読みたい本を揃える等、選書の改善	B. 児童・生徒にとって「利用しやすい」等、施設としての魅力の向上	C. 教職員の児童・生徒に対する「読書の面白さ」に関するイベント等の啓発	D. 各教科が連携した効率的な読書指導計画の立案及び実践	E. 各教科、主に調べ学習での図書館資料の活用	F. 各教科、主に調べ学習でのタブレットとの併用に向けた図書資料の充実	G. 学校司書など専門人員の配置	H. 公立図書館との連携（本の貸出、連絡会等）	
		6	4	1	2	5	4	7	2	
		I. 地域人材など、ボランティアとの連携	J. その他							
		1								
2. 学校図書館の担当職員（令和3年度）について										
(1)	教諭以外の学校図書館を担当職員	ア. いる	イ. いない⇒問3.へ							
		10								
(2)	職員配置	ア. 学びあいサポーター	イ. 有償の図書整理員等	ウ. その他						
		10								
(3)	職員の勤務日数等	日数	平均2.1日/週	時間	平均6.8時間/日					
(4)	職員の業務	ア. 図書館の環境整備	イ. 貸出・返却業務	ウ. 本の受入と配架	エ. 選書	オ. 本の展示	カ. レファレンスサービス	キ. 読み聞かせ	ク. ブックトーク	
		10	9	9	9	9	7	9	6	
		ケ. 授業への支援	コ. 巡回図書依頼等公立図書館との連携	サ. 図書委員会での指導	シ. 図書館だより等刊行物の発行	ス. 他校との連携・調整	セ. その他			
		7	9	1	4	1				

3. 市立図書館との連携について								
(1) 現在行なっている連携内容	ア. 団体貸出	イ. 図書配送システム	ウ. 自動車文庫の利用	エ. 担当者連絡会	オ. 連携学習会	カ. 司書の派遣（選書支援・読み聞かせ）	キ. 図書館見学	ク. その他
	9	7		7	3		1	
	ケ. 全く行っていない							
(2) 今後、市立図書館とどのような連携を望まれますか（3つまで）	ア. 団体貸出	イ. 図書配送システム	ウ. 自動車文庫の利用	エ. 担当者連絡会	オ. 連携学習会	カ. 司書の派遣（選書支援・読み聞かせ）	キ. 図書館見学	ク. その他
	8	8		2	4	3		
4. 授業における読書活動について								
(1) 1クラスあたり月平均利用時間	ア. 0～3時間	イ. 4～8時間	ウ. 9～12時間	エ. 12時間以上				
	1	9						
(2) 学校図書館を活用した年間授業計画	ア. 作成している	イ. 作成していない						
	4	6						
(3) 図書の時間以外の図書館利用の有無	ア. している	イ. していない	ウ. その他					
	9	1	0					
(4) 調べ学習などにおける紙の本の活用	ア. している	イ. していない	ウ. タブレットのみ	エ. 紙の本とタブレットの併用	オ. その他			
	7			6				
(5) 朝の読書など一斉読書以外の特色ある取組	・毎週月曜日の朝読書 ・年2回の教職員による朝のローテーション読書毎日4～5分と時間を区切り、読み聞かせをしているクラスがある。 ・単元に関係する本を担当の先生が紹介している。 ・図書委員による読書の啓発（おすすめ本紹介・読みきかせ等） ・朝の読書タイム（1/週） ・教員による朝の会でのよみきかせ（自分のクラス以外で実施する） ・教師による読み聞かせタイム（朝学習の時間に担任ではない先生から読み聞かせをしてもらう） ・図書委員会の本の紹介（PPTを使って集会で）□ ・タブレットを活用してビブリオバトルを行った（委員会） ・「読書の木」をつくり、全校で感想・紹介を行った ・朝読書の実施 ・図書委員会での朝の集会における読み聞かせ（タブレット録音して本の紹介） ・学びあいサポーターによる朝の読み聞かせ ・学校長による昼休み放送での読み聞かせ							
5. 読書活動に関わるボランティアについて								
(1) 読書活動ボランティア	ア. いる	イ. いない						
	7	2						
ア. いる場合どのような人たちか	ア. 学校ボランティア	イ. 保護者等PTAの方々	ウ. 地域の読書グループ（子ども文庫等）	エ. その他				
	2	4	2					
(2) 運営に協力するボランティア	ア. いる	イ. いない						
	6	4						
ア. いる場合どのような人たちか	ア. 学校ボランティア	イ. 保護者等PTAの方々	ウ. 地域の読書グループ（子ども文庫等）	エ. その他				
	2	2		2				
6. その他特色ある取組								
・1. 2年生6クラスは図書の時間に2、3冊の読み聞かせ、ブックトーク、ストーリーテリング、本紹介の時間15分程度取ってから選書に入る。 1人2冊の貸出とし、1冊はおはなしをなるべく選ぶようにしている。								
・毎年秋に図書委員が読書週間を設け、期間内の読書冊数（又はページ数）上位者を表彰、しおりのプレゼント								
7. 自由意見								
・市立図書館で行われるイベントやテーマ展示の内容などを学校図書館も共有しPRすることで、互いの活性化につなげていきたい。								
・レファレンス、巡回便、学級文庫どれもとても有難い。特に学級文庫は図書室を常に開けておけない状況で子どもたちが手に取れる本が教室にあり、学期ごとに入れ替えてもらっているのは幸せなこと（担任教師談）								

■公立中学校の図書館の活用状況等（4校中4校回収）

1. 学校図書館の利用状況等について									
(1)	貸出冊数を教えてください	平均	最大	最小	基本的に令和2年度実績であるが、令和2年4月から6月臨時休校期間、現況の令和3年度上半期については、図書館休館や貸出を行っていない学校があることから数字にばらつきが生じている。				
			579	174					
(2) 開館日・時間・平均利用人数									
	① 開館日	ア. 平日毎日	イ. 平日日ノ週	ウ. 土曜日	エ. 日曜日				
		3	1						
	② 開館時間	ア. 全日	イ. 始業前	ウ. 昼休み	エ. 休み時間	オ. 放課後	キ. その他		
				4		2			
	③ 開館日の利用者数	ア. 0～19人	イ. 20～39人	ウ. 40～59人	エ. 60～79人	オ. 80～99人	カ. 100人以上		
		2	1	1					
(3) 長期休業期間の開館日・時間・平均人数を教えてください									
	① 開館日	ア. 平日毎日	イ. 平日日ノ週	ウ. 土曜日	エ. 日曜日	オ. その他			
			1			1			
	② 開館時間	ア. 全日	イ. 午前	ウ. 午後	エ. その他				
					1				
	③ 開館日の概ね利用人数	ア. 0～19人	イ. 20～39人	ウ. 40～59人	エ. 60～79人	オ. 80～99人	カ. 100人以上		
		1							
(4)	学校図書館のコンピューターの使途	ア. 自校図書館業務（受入れ、発注、台帳管理等）	イ. 自校図書館の本の・予約	ウ. 自校図書館の本の検索・予約	エ. インターネットによる公立図書館や他の学校の本の検索	オ. インターネットによる様々なホームページ閲覧	カ. CD-ROM等の閲覧	キ. メールの送受信	ク. その他
		4	1	4					
(5) 選書方法等について									
	① 過去3年間の購入冊数	平成30年度平均	令和元年度平均	令和2年度平均					
		201	161	179					
	② 選書の参考	Ａ. 児童・生徒のリクエスト	Ｂ. 教職員のリクエスト	Ｃ. 書評誌	Ｄ. 新聞書評	Ｅ. 出版社や取次店の目録	Ｆ. インターネット情報	Ｇ. 公立図書館の選定リスト	Ｈ. その他
		4	4		1	4	3	1	1
	② 選書担当	Ａ. 担当教職員の単独選定	Ｂ. 教職員で構成する選定委員会等で選定	Ｃ. 学びあいサポーター含む教職員で構成する選定委員会等で選定	Ｄ. 教職員と児童・生徒で構成する選定委員会等で選定	Ｅ. 児童・生徒で構成する選定委員会等	Ｆ. その他		
		1	1	2			1		
(6) 図書館の利用状況について									
	① 3年前との利用比較	Ａ. 進んでいる	Ｂ. 進んでいない	Ｃ. 変わらない					
		3		1					
	② 進んだ点	Ａ. 貸出冊数	Ｂ. 利用人数	Ｃ. 授業での活用	Ｄ. 蔵書の充実	Ｅ. 教職員への支援	Ｆ. その他		
		1	1	2	2	3			
	③ 活性化のための改善策	Ａ. 児童・生徒が読みたい本を揃える等、選書の改善	Ｂ. 児童・生徒にとって「利用しやすさ」等、施設としての魅力の向上	Ｃ. 教職員の児童・生徒に対する「読書の面白さ」に関するイベント等の啓発	Ｄ. 各教科が連携した効率的な読書指導計画の立案及び実践	Ｅ. 各教科、主に調べ学習での図書館資料の活用	Ｆ. 各教科、主に調べ学習でのタブレットとの併用に向けた図書資料の充実	Ｇ. 学校司書など専門人員の配置	Ｈ. 公立図書館との連携（本の貸出、連絡会等）
		3	3	3	1	3	1	2	1
		Ｉ. 地域人材など、ボランティアとの連携	Ｊ. その他						
			1						

2. 学校図書館の担当職員（令和3年度）について									
(1)	教諭以外の学校図書館を担当職員	ア. いる	イ. いない ⇒問3.へ						
		4							
(2)	職員配置	ア. 学びあいサポーター	イ. 有償の図書整理員等	ウ. その他					
		4							
(3)	職員の勤務日数等	日数	2.0日/週	時間	約5.5時間/日				
(4)	職員の業務	ア. 図書館の環境整備	イ. 貸出・返却業務	ウ. 本の受入と配架	エ. 選書	オ. 本の展示	カ. レファレンスサービス	キ. 読み聞かせ	ク. ブックトーク
		3	4	4	3	3	2	1	1
		ケ. 授業への支援	コ. 巡回図書依頼等公立図書館との連携	サ. 図書委員会での指導	シ. 図書館だより等刊行物の発行	ス. 他校との連携・調整	セ. その他		
		2	2		2				
3. 市立図書館との連携について									
(1)	現在行なっている連携内容と回数	ア. 団体貸出（年間回数）	イ. 図書配送システム	ウ. 自動車文庫の利用（年間回数）	エ. 担当者連絡会（年間回数）	オ. 連携学習会（年間回数）	カ. 司書の派遣（選書支援・読み聞かせ（回／年））	キ. 図書館見学（年間回数）	ク. その他
		1	1		1				
		ケ. 全く行っていない							
(2)	今後、市立図書館とどのような連携を望まれますか（3つまで）	ア. 団体貸出	イ. 図書配送システム	ウ. 自動車文庫の利用	エ. 担当者連絡会	オ. 連携学習会	カ. 司書の派遣（選書支援・読み聞かせ）	キ. 図書館見学	ク. その他
		3	3		1				
4. 授業における読書活動について									
(1)	1クラスあたり月平均利用時間	ア. 0～3時間	イ. 4～8時間	ウ. 9～12時間	エ. 12時間以上				
		4							
(2)	学校図書館を活用した年間授業計画	ア. 作成している	イ. 作成していない						
		3	1						
(3)	図書の時間以外の図書館利用の有無	ア. している	イ. していない	ウ. その他					
		3	1						
(4)	調べ学習などにおける紙の本の活用	ア. している	イ. していない	ウ. タブレットのみ	エ. 紙の本とタブレットの併用	オ. その他			
		4			1				
(5)	朝の読書など一斉読書以外の特色ある取組	・教職員による本の紹介（毎月3名が本を紹介し図書室に展示しおたよりにも掲載）							
		・図書委員会によるブックトーク、ビブリオバトル、読書ビンゴ実施							
		・国語科でのポップ作り、ビブリオバトル実施							
		・朝の読書活動							
		・図書委員による読書活動啓発							
		・国語の授業で本の紹介（ビブリオバトル）をしている							
5. 読書活動に関わるボランティアについて									
(1)	読書活動ボランティア	ア. いる	イ. いない						
		1	3						
		ア. いる場合どのような人たちが	イ. 学校ボランティア（年間活動日数）	イ. 保護者等PTAの方々（年間活動日数）	ウ. 地域の読書グループ（子ども文庫等）（年間活動日数）	エ. その他			
(2)	運営に協力するボランティア	ア. いる	イ. いない						
		1	2						
		ア. いる場合どのような人たちが	イ. 学校ボランティア	イ. 保護者等PTAの方々	ウ. 地域の読書グループ（子ども文庫等）	エ. その他			
(3)	その他特色ある取組	・歴史の授業に合わせて教員が時代毎の文学を紹介し、その時代の本を集めて展示することで普段手に取られない本が動くようにしている。							
7. 自由意見									

■小学5年生、中学2年生、高校2年生

令和3年9月から10月調査 【市内公立小学5年生 635／696人 回収率91.2％】

【市内公立中学2年生 569／689人 回収率82.6％】

【市内府立高校2年生 271／280人 回収率96.2％】

1. 読書は好きですか

	回答者数	好き	割合 (%)	どちらかといえば好き	割合 (%)	どちらかといえば好きではない	割合 (%)	好きではない	割合 (%)
小学5年生	629	268	42.6	235	37.4	83	13.2	43	6.8
中学2年生	564	181	32.1	193	34.2	107	19.0	83	14.7
高校2年生	271	77	28.4	95	35.1	57	21.0	40	14.8
合計	1,464	526	35.9	523	35.7	247	16.9	166	11.3

読書について、小学生では8割が「好き」で「好きではない」割合は2割であった。中学生では2/3が「好き」で1/3が「好きではない」と答えている。高校生も中学生と同様の傾向である。全体的には7割以上の生徒が好きと答えている。

2. 学校の図書館は好きですか（小・中）

	回答者数	好き	割合 (%)	どちらかといえば好き	割合 (%)	どちらかといえば好きではない	割合 (%)	好きではない	割合 (%)
小学5年生	629	307	48.8	236	37.5	57	9.1	26	4.1
中学2年生	564	76	13.5	230	40.8	129	22.9	128	22.7
合計	1,193	383	32.1	466	39.1	186	15.6	154	12.9

図書館が好きな割合は、小学生では8割以上となっているが中学生になると5割となっている。

2. 学校の図書館を利用しますか（高）

	回答者数	する	割合 (%)	しない	割合 (%)	どこにあるかも知らない	割合 (%)
高校2年生	271	18	6.6	247	91.1	5	1.8
合計	271	18	6.6	247	91.1	5	1.8

「しない」割合が9割近くになっている。

3. 普段わからないことがあったとき、どのように調べますか

複数回答

	回答者数	本や辞典などで調べる	割合 (%)	インターネットで調べる	割合 (%)	友達に聞く	割合 (%)	先生に聞く	割合 (%)	家族に聞く	割合 (%)
小学5年生	629	225	35.8	413	65.7	270	42.9	151	24.0	334	53.1
中学2年生	564	130	23.0	514	91.1	322	57.1	158	28.0	292	51.8
高校2年生	271	58	21.4	266	98.2	134	49.4	59	21.8	88	32.5
合計	1,464	413	28.2	1,193	81.5	726	49.6	368	25.1	714	48.8
	回答者数	調べない	割合 (%)	その他	割合 (%)						
小学5年生	629	45	7.2	6	1.0						
中学2年生	564	43	7.6	8	1.4						
高校2年生	271	6	2.2	4	1.5						
合計	1,464	94	6.4	18	1.2						

小・中・高生とも「インターネットで調べる」割合が最も高く、特に中・高生では9割以上となっている。次に「友達に聞く」、「家族に聞く」となっている。「本や辞典などで調べる」は学年が上がるにつれ、割合は低くなっている。情報機器の進展・普及により、瞬時に検索結果が表示されるからであろう。

4. 学校の授業で本を使って、わからない課題を解決したことがありますか

	回答者数	はい	割合 (%)	いいえ	割合 (%)	わからない	割合 (%)
小学5年生	629	299	47.5	126	20.0	199	31.6
中学2年生	564	195	34.6	183	32.4	185	32.8
高校2年生	271	60	22.1	142	52.4	68	25.1
合計	1,464	554	37.8	451	30.8	459	31.3

小学生では約1/2が「はい」と答えている。「はい」については学年が上がるにつれ、割合は減少傾向であり、逆に「いいえ」は増加傾向となっている。低学年において、調べ学習で本を使った授業が、また、4年生からタブレット端末の操作を授業で取り入れていることが理由であろう。

5. 好きな作家や本、マンガ、文章はありますか

	回答者数	はい	割合 (%)	いいえ	割合 (%)	これから見つける	割合 (%)
小学5年生	629	525	83.5	73	11.6	32	5.1
中学2年生	564	460	81.6	72	12.8	35	6.2
高校2年生	271	230	84.9	29	10.7	12	4.4
合計	1,464	1,215	83.0	174	11.9	79	5.4

小・中・高生とも「はい」の割合は8割以上となっており、読書が好きでなくても明確に好みの有無がうかがえる。

6. 学校の授業時間以外に、ふだん1日にどれくらいの時間読書しますか

	回答者数	2時間以上	割合 (%)	1時間以上2時間未満	割合 (%)	30分以上1時間未満	割合 (%)	10分以上30分未満	割合 (%)	10分未満	割合 (%)	ほとんど全く読まない	割合 (%)
小学5年生	629	53	8.4	103	16.4	180	28.6	127	20.2	86	13.7	82	13.0
中学2年生	564	41	7.3	68	12.1	122	21.6	108	19.1	83	14.7	144	25.5
高校2年生	271	22	8.1	30	11.1	57	21.0	38	14.0	31	11.4	93	34.3
合計	1,464	116	7.9	201	13.7	359	24.5	273	18.6	200	13.7	319	21.8

小・中・高生とも「30分以上1時間未満」が最も高く全体で24.5%、次に、「ほとんど全く読まない」が21.8%となっている。「ほとんど全く読まない」では小学生が13%と低く、次に中学生の25.5%、高校生が34.3%と最も高くなっており、学年が上がるにつれ、不読率が高くなっている。このことは、読書よりインターネットやゲームなどに時間を費やしているものと思われる。設問11と連動している。

7. ふだん、雑誌やマンガはどれくらい読みますか(雑誌)

	回答者数	ほぼ毎日	割合 (%)	月に1～3回程度	割合 (%)	年に数回	割合 (%)	全く読まない	割合 (%)
小学5年生	547	75	13.7	125	22.9	98	17.9	215	39.3
中学2年生	420	55	13.1	95	22.6	60	14.3	207	49.3
高校2年生	178	10	5.6	58	32.6	32	18.0	83	46.6
合計	1,145	140	12.2	278	24.3	190	16.6	505	44.1

小・中・高生とも「ほとんど全く読まない」が最も高く、次に「月に1～3回程度」となっており、読書離れがうかがえる。

7. 紙の本ですか、電子書籍ですか(雑誌)

	回答者数	紙の本	割合 (%)	電子書籍	割合 (%)	両方	割合 (%)
小学5年生	298	202	67.8	17	5.7	36	12.1
中学2年生	210	151	71.9	24	11.4	33	15.7
高校2年生	100	56	56.0	7	7.0	16	16.0
合計	608	409	67.3	48	7.9	85	14.0

「紙の本」が高く、「電子書籍」は低い。紙の本の方が身近であることがうかがえる。

7. ふだん、雑誌やマンガはどれくらい読みますか(マンガ)

	回答者数	ほぼ毎日	割合 (%)	月に1～3回程度	割合 (%)	年に数回	割合 (%)	全く読まない	割合 (%)
小学5年生	547	284	51.9	179	32.7	36	6.6	48	8.8
中学2年生	420	204	48.6	127	30.2	41	9.8	58	13.8
高校2年生	178	91	51.1	58	32.6	14	7.9	18	10.1
合計	1,145	579	50.6	364	31.8	91	7.9	124	10.8

小・中・高生とも、「ほぼ毎日」が最も高く、「ほとんど、全く読まない」は1割程度になっている。雑誌よりマンガを読む時間を費やしていることが見て取れる。

7. 紙の本ですか、電子書籍ですか(マンガ)

	回答者数	紙の本	割合 (%)	電子書籍	割合 (%)	両方	割合 (%)
小学5年生	499	227	45.5	15	3.0	54	10.8
中学2年生	372	141	37.9	48	12.9	91	24.5
高校2年生	163	31	19.0	37	22.7	57	35.0
合計	1,034	399	38.6	100	9.7	202	19.5

「紙の本」が高く「電子書籍」は低い。雑誌同様、紙の本の方が身近であることがわかる。

8. 読書をする理由

複数回答

	回答者数	元気が出たりワクワクする	割合 (%)	いろいろな人の考え方を知る	割合 (%)	空想したり、夢を描いたりできる	割合 (%)	ほかのひとと話すことが増える	割合 (%)
小学5年生	547	231	42.2	109	19.9	265	48.4	89	16.3
中学2年生	420	191	45.5	106	25.2	153	36.4	82	19.5
高校2年生	178	121	68.0	59	33.1	73	41.0	38	21.3
合計	1,145	543	47.4	274	23.9	491	42.9	209	18.3
	回答者数	勉強の役に立つ	割合 (%)	知らなかったことを知ることができる	割合 (%)	わからない	割合 (%)	その他	割合 (%)
小学5年生	547	129	23.6	200	36.6	62	11.3	68	12.4
中学2年生	420	61	14.5	123	29.3	70	16.7	71	16.9
高校2年生	178	17	9.6	55	30.9	14	7.9	17	9.6
合計	1,145	207	18.1	378	33.0	146	12.8	156	13.6

小学生では「空想したり、夢を描いたりできる」が最も高く48.4%で、次に「元気が出たりワクワクする」42.2%、「知らなかったことを知ることができる」は36.6%となっている。中・高生では「元気が出たりワクワクする」が最も高くそれぞれ45.5%、68%で、次に「空想したり、夢を描いたりできる」36.4%、41%、「知らなかったことを知ることができる」は29.3%、30.9%となっている。勉強のために読書するというよりも、楽しみとしてとらえていることがわかる。また、小中高生とも将来に希望を抱いていることが見て取れる。

9. 読む本をどのように選びますか

複数回答

	回答者数	自分の好きな本	割合 (%)	友達にすすめられた本	割合 (%)	家族にすすめられた本	割合 (%)	先生やほかの大人に進められた本	割合 (%)	図書館等で気になった本	割合 (%)
小学5年生	547	477	87.2	141	25.8	123	22.5	34	6.2	164	30.0
中学2年生	420	358	85.2	159	37.9	83	19.8	27	6.4	73	17.4
高校2年生	178	132	74.2	59	33.1	20	11.2	6	3.4	12	6.7
合計	1,145	967	84.5	359	31.4	226	19.7	67	5.9	249	21.7
	回答者数	書店で気になった本	割合 (%)	家にある本	割合 (%)	ベストセラーや話題の本	割合 (%)	SNSやインターネット	割合 (%)	その他	割合 (%)
小学5年生	547	199	36.4	149	27.2	62	11.3	108	19.7	23	4.2
中学2年生	420	187	44.5	93	22.1	82	19.5	148	35.2	13	3.1
高校2年生	178	88	49.4	19	10.7	36	20.2	90	50.6	2	1.1
合計	1,145	474	41.4	261	22.8	180	15.7	346	30.2	38	3.3

小・中・高生とも「自分の好きな本」の割合が最も高く全体で84.5%となっている。小学生では、次に「書店で気になった本」、「図書館等で気になった本」が高い割合を示している。中学生では次に「書店で気になった本」、「友達にすすめられた本」となっている。高校生では次に「SNSやインターネット」「書店で気になった本」となっている。「先生やほかの大人にすすめられた本」については最も低くなっている。学年が上がるにつれ情報機器を利用する傾向が見て取れる。

10. 読書しない理由

複数回答

	回答者数	読書する時間がない	割合 (%)	読みたいと思う本がない	割合 (%)	どの本を読んでもいいかわからない	割合 (%)	本の値段が高い	割合 (%)
小学5年生	82	27	32.9	28	34.1	8	9.8	2	2.4
中学2年生	144	38	26.4	63	43.8	10	6.9	10	6.9
高校2年生	93	36	38.7	37	39.8	4	4.3	3	3.2
合計	319	101	31.7	128	40.1	22	6.9	15	4.7
	回答者数	文字を読むのが苦手	割合 (%)	本を読むのがめんどろ	割合 (%)	その他	割合 (%)		
小学5年生	82	30	36.6	25	30.5	3	3.7		
中学2年生	144	30	20.8	56	38.9	9	6.3		
高校2年生	93	18	19.4	34	36.6	3	3.2		
合計	319	78	24.5	115	36.1	15	4.7		

小学生では、「文字を読むのが苦手」が最も高く36.6%、次に「読みたいと思う本がない」が34.1%、「読書する時間がない」は32.9%となっている。中学生では、「読みたいと思う本がない」が最も高く43.8%、次に「本を読むのがめんどろ」38.9%、読書する時間がないが26.4%となっている。高校生では、「読みたいと思う本がない」39.8%、「読書する時間がない」38.7%、「本を読むのがめんどろ」36.6%となっている。全体的には、「読みたいと思う本がない」40.1%、「本を読むのがめんどろ」36.1%、「読書する時間がない」31.7%の順になっている。小学生では文字の読み取りや文字についての知識が未熟なため「読むのが苦手」となっていると思われる。中高生になれば自分の好みが出てくるため「読みたい本がない」が高いものと思われる。

11. 本を読む時間がないのは何をしているからですか

複数回答

	回答者数	塾や勉強	割合 (%)	友達と遊ぶ	割合 (%)	習い事やボランティア活動	割合 (%)	家の手伝いや家族の世話	割合 (%)
小学5年生	27	6	22.2	12	44.4	8	29.6	5	18.5
中学2年生	38	20	52.6	15	39.5	14	36.8	5	13.2
高校2年生	36	21	58.3	16	44.4	7	19.4	7	19.4
合計	101	47	46.5	43	42.6	29	28.7	17	16.8
	回答者数	テレビを見る	割合 (%)	ゲームやYouTube	割合 (%)	その他	割合 (%)		
小学5年生	27	5	18.5	19	70.4	1	3.7		
中学2年生	38	12	31.6	22	57.9	2	5.3		
高校2年生	36	15	41.7	28	77.8	5	13.9		
合計	101	32	31.7	69	68.3	8	7.9		

小学生では、「ゲームやYouTube」が70.4%と最も高く、次に「友達と遊ぶ」、「習い事やボランティア活動」となっている。中学生でも、「ゲームやYouTube」が最も高く57.9%、次に、「塾や勉強」、「友達と遊ぶ」となっている。高校生では、「ゲームやYouTube」が最も高く77.8%、次に「塾や勉強」、「友達と遊ぶ」となっており、中学生と同様の傾向となっている。設問6と連動している。

12. 本を読まない友達に読書をすすめるとしたらどんな方法やどうすれば読書しようと思いますか
(複数回答)

	回答者数	読書をする時間を取る	割合 (%)	図書館など読書ができる場所を増やす	割合 (%)	読みたくなる本をプリントで紹介する。	割合 (%)	読みたくなる本をSNSで紹介する	割合 (%)	読書したくなるイベントをする	割合 (%)
小学5年生	629	259	41.2	144	22.9	140	22.3	65	10.3	74	11.8
中学2年生	564	236	41.8	82	14.5	81	14.4	212	37.6	46	8.2
高校2年生	271	85	31.4	22	8.1	25	9.2	141	52.0	32	11.8
合計	1,464	580	39.6	248	16.9	246	16.8	418	28.6	152	10.4
	回答者数	本の値段を安くする	割合 (%)	電子書籍が充実する	割合 (%)	友達と本の話をする	割合 (%)	家族で本の話をする	割合 (%)	図書館や学校図書館に読みたくなる本を置く	割合 (%)
小学5年生	629	106	16.9	50	7.9	345	54.8	105	16.7	146	23.2
中学2年生	564	177	31.4	117	20.7	173	30.7	47	8.3	103	18.3
高校2年生	271	72	26.6	84	31.0	94	34.7	15	5.5	40	14.8
合計	1,464	355	24.2	251	17.1	612	41.8	167	11.4	289	19.7
	回答者数	図書館や学校図書館に本のことを相談できる人がある	割合 (%)	読書手帳など記録や達成する目標を持つ	割合 (%)	その他	割合 (%)				
小学5年生	629	41	6.5	104	16.5	32	5.1				
中学2年生	564	15	2.7	21	3.7	20	3.5				
高校2年生	271	3	7.0	7	2.6	4	1.5				
合計	1,464	59	4.0	132	9.0	56	3.8				

小学生では、「友達と本の話をする」が最も高く54.8%、次に「読書をする時間を取る」41.2%となっている。中学生では、「読書をする時間を取る」が最も高く41.8%、次に「読みたくなる本をSNSで紹介する」37.6%、「本の値段を安くする」が31.4%となっている。高校生では、「読みたくなる本をSNSで紹介する」が最も高く52%、次に「友達と本の話をする」34.7%、「時間を取る」「電子書籍が充実する」が31%台となっている。

13. 交野市の図書館を利用したことがありますか (交野高校)

	回答者数	はい	割合 (%)	いいえ	割合 (%)	利用してみたい	割合 (%)
高校2年生	271	51	18.8	188	69.4	31	11.4

「いいえ」の割合が約7割あり、市外の生徒が多いため利用頻度の低いことがうかがえる。

14. 市立図書館を利用したことがありますか

	回答者数	はい	割合 (%)	いいえ	割合 (%)
小学5年生	629	378	60.1	229	36.4
中学2年生	564	335	59.4	226	40.1
合計	1,193	713	59.8	455	38.1

小中学生とも、約6割の生徒が利用している。

14. 交野市の図書館のホームページを見たことがありますか

	回答者数	はい	割合 (%)	いいえ	割合 (%)
小学5年生	629	102	16.2	509	80.9
中学2年生	564	68	12.1	490	86.9
高校2年生	271	18	6.6	252	93.0
合計	1,464	188	12.8	1,251	85.5

学年が上がるほど閲覧・利用率が低くなっている。総体的に閲覧率が低いことから、図書館が発信する情報に興味がないことがわかる。

あなたのお住まいは（交野高校）

	回答者数	交野市	割合 (%)	交野以外	割合 (%)
高校2年生	271	56	20.7	215	79.3

約8割の生徒が交野市外から通学している。

15. 読書しない理由で「めんどろ」・「苦手」と答えたその他の回答

複数回答

	回答者数	読書する時間がない	割合 (%)	読みたいと思う本がない	割合 (%)	どの本を読んでもいいかわからない	割合 (%)	本の値段が高い	割合 (%)	本を読むのが苦手	割合 (%)
小学5年生	55	11	20.0	12	21.8	5	9.1	2	3.6	30	54.5
中学2年生	86	16	18.6	33	38.4	7	8.1	7	8.1	30	34.9
高校2年生	52	10	19.2	13	25.0	3	5.8	2	3.8	18	34.6
合計	193	37	19.2	58	30.1	15	7.8	11	5.7	78	40.4
	回答者数	その他	割合 (%)								
小学5年生	55	0	0.0								
中学2年生	86	3	3.5								
高校2年生	52	0	0.0								
合計	193	3	1.6								

小学生では、「本を読むのが苦手」の割合が最も高く、次に「読みたい本がない」となっている。中学生になると逆に「読みたい本がない」が最も高く、次に「本を読むのが苦手」となっている。また、高校生では小学生と同様の傾向となっている。全体では、「本を読むのが苦手」が高い割合となっている。国の有識者会議では「文字を読むのが苦手」は、読む力が身についていない子どもがいる可能性があり、最後まで本を読み通すことができる子どもとそうでない子どもの違いが現れ始めると指摘されている。「本を読むのがめんどろ」で「本を読むのが苦手」の割合が高いのはこの指摘の表れかもしれない。

■学校図書館活用研修時調査集計

【令和3年6月調査 図書担当教員 14名／14名回答】

1	あなたは教科書以外、研究や指導書、趣味の読書等で本を読みますか	はい	11	いいえ	3			
	読まない場合の理由	時間がない	3	興味がない		本の必要性を感じない		本がない
		その他						
2	あなたは授業や研究以外で新聞を読みますか	読む	8	読まない	6			
	読む場合、どのような手段ですか	新聞紙	6	デジタル 有料		無料	2	
3	児童・生徒が図書の時間や授業時間以外に教室で本を読んでいるのを見たり、本や読書についての会話を聞いたりすることがありますか	よくある	10	たまにある	4	ほとんどない		
4	児童・生徒の学級文庫の活用は多いと思いますか	はい	9	いいえ	3	その他	2	
5	授業で学校図書館を利用しますか	はい	11	いいえ	2	その他	1	
6	授業で教科書や副教材以外の本を併用しますか	はい	10	いいえ	4			
	はいの場合、その本の調達はどのようにしますか	自分や他教員の蔵書	4	学校図書	10	公共図書館	4	その他
7	3年前と比較して、学校図書館の状況は変化したように思いますか	はい	7	いいえ	2	よくわからない	2	無回答
	どのような点でそう思いますか（自由記述）	・書籍の整理が進み、児童も把握しやすくなった。 ・学サポさんの配置により、どんどん使いやすくなっている。 ・学サポさんが活躍している。 ・授業で活用する場面が増えた。 ・本が豊富（いろいろな分野）になってきている。 ・本を読む児童が増えたと感じるため。						
8	学校図書館はご自身での授業や児童・生徒にとって使いやすいと思いますか	はい	12	いいえ	0	わからない	2	
	それらの理由も教えてください（自由記述）	・見やすく整理していただいています ・書籍の整理が進み、児童も把握しやすくなった ・本が沢山あり、見やすく置かれている ・学サポさんが活躍している ・蔵書を確認すると、活用しやすい資料が必ずあるから ・サポーターの方がいらっしゃることで、調べ学習の際の相談、準備がしやすい ・広いテーブル、広いスペース ・本がわかりやすく並んでいるため ・努力はしていますが、使いやすいと聞いたことはない						
9	授業で児童・生徒はデジタルと本の活用をうまく使っているように思いますか	はい	8	いいえ	5	わからない	1	
10	図書担当となって、苦勞していること、悩んでいることはありますか（自由記述）	・子ども達に著作権について教えるのが難しいなと思いました ・常により良い図書館とは、、、と考えています ・図書室にこない先生がいること、本をあまり読まない先生もいること ・保護者の図書ボランティアさんがコロナでなくなったため、休み時間に図書室に行かねば、、、が太家。 ・仕事内容がよくわからなくて、戸惑うことも多いです ・司書さんにまかせっきりになってしまいます						
11	学校図書館がどのようななら使いやすいですか（自由記述）	・最新の文庫本が沢山あると思います。子どもたちの興味をひく本が増えるよう選んでいきたいです ・図書館自体がデジタルになると、、、 ・文庫本ではなく単行本の重厚さが伝わる。とか、全ての本が新しく綺麗（難しいことでしょうけど） ・もっと広い空間 ・人が欲しい。（子どもが触れる機会を増やすために図書室を開けておく際） ・調べたいことを知ることができる蔵書である ・最新の本がたくさんあるとよい						
12	公共図書館に希望すること	・学級文庫助かっています。これからもよろしくお願いします ・今までどおり学校との連携をとってほしい						

■小学5年生、中学2年生保護者

令和3年9月調査

【小学5年生保護者 423／693人 回収率61.0％】

【中学2年生保護者 242／689人 回収率35.1％】

1. お子さんへの本や絵本の読み聞かせ経験

	回答者数	よくした (している)	割合 (%)	時々した (している)	割合 (%)	あまりして いない	割合 (%)	まったくし ていない	割合 (%)	覚えてい ない	割合 (%)	その他	割合 (%)
小学5年生	422	139	32.9	185	43.8	71	16.8	23	5.5	0	0.0	4	0.9
中学2年生	242	92	38.0	103	42.6	33	13.6	10	4.1	3	1.2	0	0.0
合計	664	231	34.8	288	43.4	104	15.7	33	5.0	3	0.5	4	0.6

読み聞かせの経験は全体的に「よくした」「時々した」で78.2％で高い割合となっており、関心が高いことがわかる。

2. あなたは読書が好きですか

	回答者数	好き	割合 (%)	どちらかとい えば好き	割合 (%)	どちらかとい えば好き ではない	割合 (%)	好きではな い	割合 (%)
小学5年生	422	116	27.5	172	40.8	93	22.0	35	8.3
中学2年生	242	59	24.4	111	45.9	58	24.0	15	6.2
合計	664	175	26.4	283	42.6	151	22.7	50	7.5

約7割の保護者が読書が好きな傾向にある。このことは「読み聞かせの」傾向とも一致している。

3. 子どもが読書をしようと思うきっかけづくり

	回答者数	自分が読んだ本を勧める	割合 (%)	子どもが読みたい本を渡す	割合 (%)	電子書籍が読める端末を渡す	割合 (%)	本を読む時間を作る	割合 (%)	自ら進んで本を読む	割合 (%)
小学5年生	422	116	27.5	198	46.9	15	3.6	39	9.2	71	16.8
中学2年生	242	80	33.1	120	49.6	12	5.0	12	5.0	33	13.6
合計	664	196	29.5	318	47.9	27	4.1	51	7.7	104	15.7
	回答者数	読んだ本の内容について話をする	割合 (%)	子どもと一緒に図書館に行く	割合 (%)	子どもと一緒に書店に行く	割合 (%)	子どもが住めてくれた本を読む	割合 (%)	家に本を置く	割合 (%)
小学5年生	422	104	24.6	191	45.3	221	52.4	46	10.9	171	40.5
中学2年生	242	58	24.0	84	34.7	138	57.0	37	15.3	95	39.3
合計	664	162	24.4	275	41.4	359	54.1	83	12.5	266	40.1
	回答者数	読書の記録を取る	割合 (%)	特にしていない	割合 (%)	その他	割合 (%)				
小学5年生	422	11	2.6	56	13.3	8	1.9				
中学2年生	242	8	3.3	28	11.6	2	0.8				
合計	664	19	2.9	84	12.7	10	1.5				

小中学生の保護者とも「子どもと一緒に書店に行く」「子どもが読みたい本を渡す」「子どもと一緒に図書館に行く」の割合が高く、このことは書店で子どもが選ぶ本を購入するか、あるいは、図書館で貸出していることが伺える。このことは、親が子どもとともに行くことにより、子どもが本を選ぶきっかけになることにつながっていると思われる。

4. 1日当たりどれくらいの時間読書しますか

	回答者数	2時間以上	割合 (%)	1時間以上2時間未満	割合 (%)	30分以上1時間未満	割合 (%)	10分以上30分未満	割合 (%)	10分未満	割合 (%)	ほとんど全く読まない	割合 (%)
小学5年生	422	8	1.9	15	3.6	72	17.1	87	20.6	94	22.3	147	34.8
中学2年生	242	6	2.5	9	3.7	40	16.5	49	20.2	44	18.2	93	38.4
合計	664	14	2.1	24	3.6	112	16.9	136	20.5	138	20.8	240	36.1

小中学生の保護者とも「ほとんど全く読まない」割合が30％以上となっている。次に「10分未満」「10分以上30分未満」となっており、全体的には読書に費やす時間は10分～30分程度であることが伺える

5. 読む本の形態

	回答者数	紙の本	割合 (%)	電子書籍	割合 (%)	その他	割合 (%)
小学5年生	422	264	62.6	73	17.3	2	0.5
中学2年生	242	152	62.8	37	15.3	0	0.0
合計	664	416	62.7	110	16.6	2	0.3

紙の本が6割以上占めている。

6. 本はどのようにして手に入れますか

	回答者数	家にある	割合 (%)	購入する	割合 (%)	図書館(室)で借りる	割合 (%)	その他	割合 (%)
小学5年生	422	65	15.4	225	53.3	133	31.5	14	3.3
中学2年生	242	35	14.5	128	52.9	72	29.8	6	2.5
合計	664	100	15.1	353	53.2	205	30.9	20	3.0

「購入する」割合が5割以上で最も高く、次に「図書館(室)で借りる」が3割程度となっている。

7. 読書しない理由

複数回答

	回答者数	読書する時間がない	割合 (%)	読みたいと思う本がない	割合 (%)	どの本を読んでもいいかわからない	割合 (%)	読書する必要性を感じない	割合 (%)	本の値段が高い	割合 (%)
小学5年生	147	108	73.5	16	10.9	12	8.2	6	4.1	8	5.4
中学2年生	93	69	74.2	16	17.2	9	9.7	8	8.6	6	6.5
合計	240	177	73.8	32	13.3	21	8.8	14	5.8	14	5.8
	回答者数	地域の図書館が近くにない	割合 (%)	書店が近くにない	割合 (%)	家に読みたい本がない	割合 (%)	文字を読むのが苦手	割合 (%)	本を読むのがめんどろ	割合 (%)
小学5年生	147	1	0.7	2	1.4	12	8.2	16	10.9	22	15.0
中学2年生	93	1	1.1	5	5.4	6	6.5	10	10.8	21	22.6
合計	240	2	0.8	7	2.9	18	7.5	26	10.8	43	17.9
	回答者数	身近な人が本を読んでいない	割合 (%)	わからない	割合 (%)	その他	割合 (%)				
小学5年生	147	3	2.0	1	0.7	17	11.6				
中学2年生	93	2	2.2	1	1.1	6	6.5				
合計	240	5	2.1	2	0.8	23	9.6				

「読書する時間がない」割合が最も高く70%以上となっている。次に「本を読むのがめんどろ」が全体で約18%となっており、読書に費やす時間がないことが伺える。

8. 時間があれば読書したいと思いますか

	回答者数	はい	割合 (%)	いいえ	割合 (%)	わからない	割合 (%)
小学5年生	422	341	80.8	27	6.4	44	10.4
中学2年生	242	190	78.5	14	5.8	37	15.3
合計	664	531	80.0	41	6.2	81	12.2

8割の保護者の方が読書したいと思っている。設問7とも連動し、時間があれば読書の時間を増やしたいことがうかがえる。

9. 子どもがもっと読書をするようになる取り組みは

	回答者数	読書をする時間を取る	割合 (%)	図書館など読書ができる場所を増やす	割合 (%)	読みたくなる本をプリントで紹介する	割合 (%)	読みたくなる本をSNSで紹介する	割合 (%)	読書したくなるイベントをする	割合 (%)
小学5年生	422	233	55.2	158	37.4	90	21.3	56	13.3	95	22.5
中学2年生	242	137	56.6	61	25.2	36	14.9	57	23.6	40	16.5
合計	664	370	55.7	219	33.0	126	19.0	113	17.0	135	20.3
	回答者数	本の値段を安くする	割合 (%)	電子書籍が充実する	割合 (%)	友達と本の話をする	割合 (%)	家族で本の話をする	割合 (%)	図書館や学校図書館に読みたくなる本を置く	割合 (%)
小学5年生	422	99	23.5	29	6.9	105	24.9	123	29.1	166	39.3
中学2年生	242	58	24.0	23	9.5	64	26.4	68	28.1	86	35.5
合計	664	157	23.6	52	7.8	169	25.5	191	28.8	252	38.0
	回答者数	図書館や学校図書館に本のことを相談できる人がいる	割合 (%)	読書手帳など記録や達成する目標を持つ	割合 (%)	その他	割合 (%)				
小学5年生	422	29	6.9	50	11.8	18	4.3				
中学2年生	242	19	7.9	18	7.4	5	2.1				
合計	664	48	7.2	68	10.2	23	3.5				

小中学生の保護者の方がともに「読書する時間を取る」割合が最も高く、設問7、8とも連動している。次に小学生では「図書館や学校図書館に読みたくなる本を置く」「読書できる場所を増やす」となっている。全体的には読書環境を整備することが読書につながると考えられている。

10. 市立図書館(室)等を利用したことがありますか

	回答者数	はい	割合 (%)	いいえ	割合 (%)
小学5年生	422	348	82.5	70	16.6
中学2年生	242	207	85.5	35	14.5
合計	664	555	83.6	105	15.8

利用された割合は高いものとなっている。

11. 交野市の図書館HPを見たことがありますか

	回答者数	はい	割合 (%)	いいえ	割合 (%)
小学5年生	422	174	41.2	243	57.6
中学2年生	242	105	43.4	136	56.2
合計	664	279	42.0	379	57.1

半数以上利用がない結果となっている。

■公私立認定こども園、保育所、小規模保育施設、市立幼稚園の読書環境

令和3年8月調査【20／24園 回答】

1	保護者に対して行っている取組みがあれば教えてください	ア. 絵本の読み聞かせ講座の実施	2	イ. おすすめ絵本の紹介	3	ウ. おすすめ絵本リストなどの作成・配布		エ. 家庭への絵本の貸出	4
		オ. 読書の記録ノートの推奨	1	カ. その他	2				
		2	職員（教諭・保育士）以外が幼児に対して行っている取組はありますか	ア. ある	6	イ. ない	14		
3	ある場合、どのような人達のどのような取組みですか（該当するアルファベットにも○をしてください）	ア. 保護者		イ. 市立図書館司書		ウ. 読書ボランティア	3	エ. その他（ALT、大学教員、市職員）	1
		A. 絵本の読み聞かせ	3	B. ストーリーテリング	1	C. パネルシアター	1	D. 紙芝居	2
		E. その他							
4	貴園に絵本ルーム（絵本コーナーを含む）はありますか	ア. ある	15	イ. ない	5				
(1)	ア. ある場合、絵本ルームや職員室等に絵本は何冊ありますか	A. 1～99冊	5	B. 100～199冊	2	C. 200～299冊	3	D. 300～399冊	1
		E. 400～499冊		F. 500冊以上	4				
(2)	ア. ある場合、保護者への貸出をしていますか	A. している	3	B. していない	10				
(3)	ア. ある場合、絵本の選定はどのような情報を参考にしていますか（複数回答可）	A. 書評誌	2	B. 新聞書評・広告	1	C. 出版社や取次店の目録	5	D. インターネット情報	1
		E. 公立図書館の選定リスト	2	F. その他（職員のリクエスト、絵本の専門家のおすすめ）	1				
5	子どもと関わる職員が選書や読み聞かせなど読書について学習する機会があれば利用しますか	ア. する	16	イ. しない	2				
6	現在、交野市立図書館と連携を行っていますか	ア. 行っている	12	イ. 行っていない	4				
(1)	ア. 行っている場合、連携の内容と回数を教えてください。（複数回答可）	A. 団体貸出	10	B. 自動車文庫利用	9	C. 担当者連絡会		D. 学習会	
		E. 司書の派遣		F. 図書館見学	2				
		G. 図書やイベント等の情報共有	2	H. レファレンス（調査・相談）		I. リサイクル図書	5	J. その他	
(2)	イ. 行っていない場合、今後は公立図書館と連携をしたいと思いますか。	A. 連携を希望する	2	B. 機会があれば連携したい	2	C. 連携しない		D. わからない	1
7	今後、市立図書館とどのような連携を望まれますか（複数回答可）	ア. 団体貸出	12	イ. 図書配送システム	5	ウ. 自動車文庫	10	エ. 担当者連絡会	
		オ. 学習会	3	カ. 司書の派遣（読み聞かせ等）	10	キ. 図書館見学	6	ク. 図書やイベント等の情報共有	3
		ケ. レファレンス（調査・相談）		コ. リサイクル図書	8	サ. その他			
8	お尋ねした項目以外に読書活動で特色ある取組があれば教えてください								
9	子どもの読書活動の推進について、ご意見があれば自由にお書きください	■図書配送システムとはどのようなものか ■0・1・2才用の紙しばいの貸出を増加してほしい ■紙芝居や大型絵本を定期的に持って来てほしい ■夏休み巡回の自動車文庫なども利用したいが、駐車スペースの確保が難しい為、出来ないのが残念 ■小規模保育園なのでどのような取組みが可能か、何か良い意見があればお願いしたい							

■こども園、幼稚園保護者集計

令和3年9月調査 【こども園4、1幼稚園1園協力 465／751人回答率 61.9%】

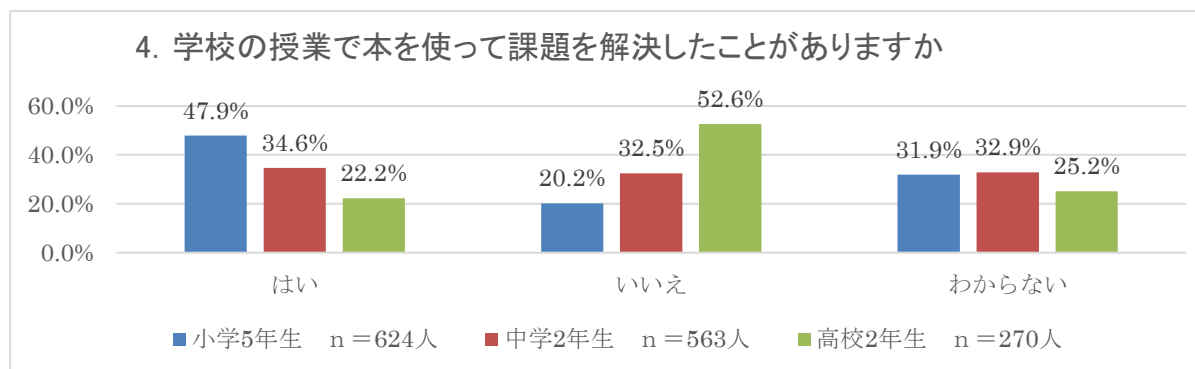
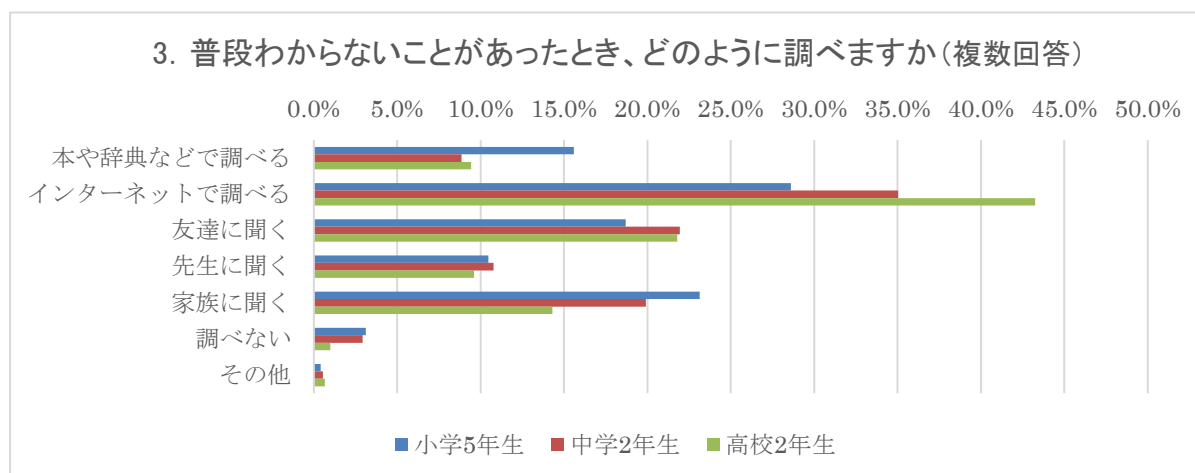
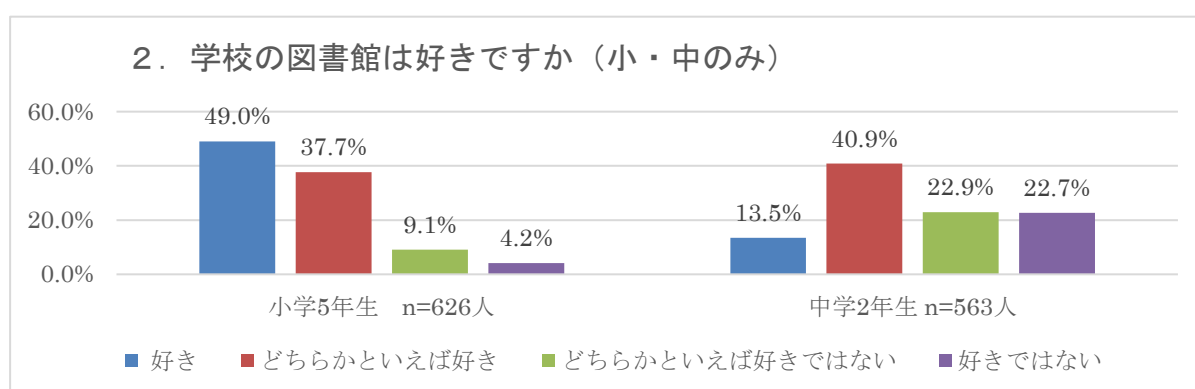
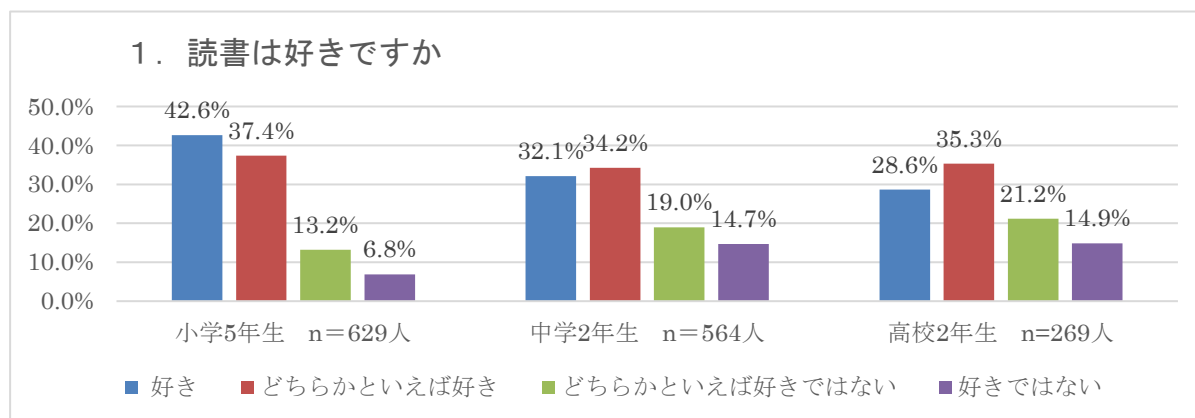
1	お子さんの年齢は	0歳	12	1歳	32	2歳	44	3歳	100
		4歳	109	5歳	126	6歳	49		
2	読み聞かせは	よく読む	159	時々読む	218	あまり読んでいない	71	全く読んでいない	14
		その他	1						
3	どのくらいの頻度で読んであげていますか	毎日	122	週に3～4回	89	週に1～2回	80	時々	106
		決まっていない	52						
4	読む本の形態は	紙	442	電子書籍	4	その他	4		
5	本はどのようにして手に入れますか	家にあった	207	購入した	315	図書館(室)で借りた	156	その他	45
6	読まない理由は何ですか	時間がない	3	絵本がない	2	どれを読んだらいいのかわからない	1	まだ早いから	0
		本がきらい	0	必要性を感じない	0	その他	8		
7	ブックスタートの絵本を読んでいますか	はい	317	いいえ	51	受け取っていない	85		
8	ご自身は本を読みますか	はい	293	いいえ	168				
9	読む本の形態は	紙	322	電子書籍	99	その他	1		
10	時間があればご自身や子どもに対して本を読んでもらえますか	はい	434	いいえ	14	その他	6		
11	子どもが読書をしようと思うきっかけづくり	自分が読んだ本を勧める	77	子どもが読みたい本を渡す	206	電子書籍が読める端末を渡す	7	本を読む時間を作る	198
		自ら進んで本を読む	46	読んだ本の内容について話す	149	子供と一緒に図書館に行く	219	子どもと一緒に書店に行く	236
		子どもが進めてくれた本を読む	71	家に本を置く	272	特にしていない	23	その他	16
12	子どもが読書をするようになる取り組みは	読書をする時間を取る	286	図書館など読書ができる場所を増やす	185	読みたくなる本をSNSで紹介する	31	小さいころから本の読み聞かせをする	327
		本の値段を安くする	102	家族で本の話をする	139	電子書籍が充実する	8	図書館や学校図書館に読みたくなる本を置く	156
		図書館や学校図書館に本のことを相談できる人がいる	25	その他	15				
13	市立図書館(室)等を利用したことがありますか	はい	326	いいえ	135				
14	交野市の図書館のホームページを見たことがありますか	はい	196	いいえ	264				

■ 4 か月児健診保護者

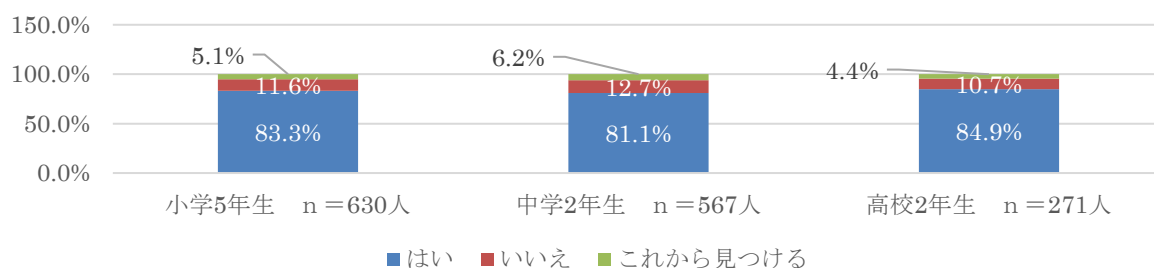
令和3年9・10月調査【87／91人回答】

1	将来、お子さんに本を読んであげたいと思いますか。兄弟がいる場合はよみかせをしていますか。	はい	85	いいえ	2				
		いいえの方は8. の質問へ							
2	主に読んであげる人は誰ですか	親	85	祖父母	9	その他	1		
3	初めて読んであげたのはいつ頃ですか。読んであげるとしたらいつ頃がいいと思いますか。	4か月頃	53	1歳くらい	20	1歳半くらい	1	2歳くらい	0
		2歳半以降	0	3歳以降	0	4歳以降	0	その他	12
4	どのくらいの頻度で読んであげていますか	毎日	21	週に3～4回	16	週に1～2回	9	時々	13
		決まっていない	27						
5	主にいつ読んでいますか	夜寝る前	23	お昼寝前	4	日中	27	決まっていない	39
6	読む本はどのような形態ですか	紙	85	電子書籍	1	その他	0		
7	その本はどのようにして手に入れましたか	家にあった	40	購入した	46	図書館(室)で借りた	18	その他	10
※1. の質問に「いいえ」と答えられた方にお聞きます。									
8	読まない理由は何ですか	時間が無い	1	絵本がない	0	どれを読んだらいいのかわからない	0	まだ早いから	1
		本がきらい	0	必要性を感じない	0	その他	0		
※みなさんにお聞きます。今回の健診でブックスタート事業として図書館から1冊赤ちゃん絵本をお渡しします。									
9	今回の健診で受け取った絵本を読まれますか。	はい	84	いいえ	2				
10	交野市内の図書館・図書室を知っていますか。	はい	69	いいえ	16				
11	図書館・図書室でのおはなし会などのイベントに参加したいと思いますか。	はい	57	いいえ	25				
12	ご自身本を読みますか	はい	49	いいえ	36				
13	読む本はどのような形態ですか	紙	60	電子書籍	10	その他	0		
14	市内に4つの図書館・図書室、自動車文庫「ブンブン号」があります。図書館にご希望やご意見がありましたらご記入ください。	■小さい子供向けの読み聞かせ会など、イベントがもっと多くあれば嬉しいです。 ■上の子の保育園にブンブン号が来てくれて、本を何冊か借りて楽しんでいました。また、図書館からのリサイクル本を保育園を通じていただくことができ、子どもが家でも楽しく本を読んでいます。ありがとうございます。これからも園にまわって下さるとありがたいです。 ■本の予約などアプリで出来るようになってほしい。返却BOXは駅前、ゆうゆうセンター、市役所、フレンドマート、イズミヤに設置してほしい。 ■乳児、幼児も使いやすいような設備がある図書館が増えると嬉しいです。 ■昔から交野市民ですが、どの図書館も古すぎ、規模も小さい。暗い。4年間だけ寝屋川市民でしたが、一か所だけでも新しい図書館があれば車を出してでも通います。 ■各図書館にトイレ、おむつ交換台、授乳室個室ができればもっと行きたいと思う。							

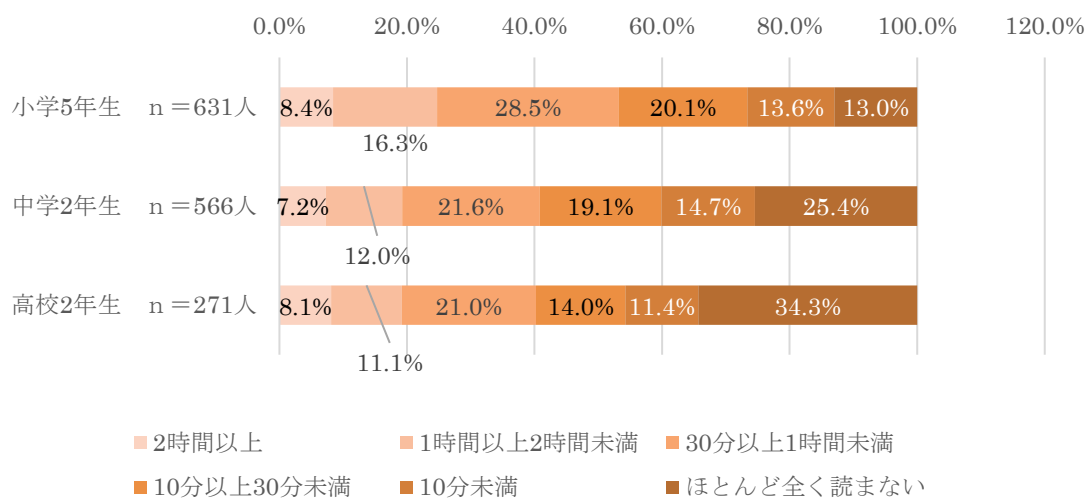
読書アンケート 小学5年生、中学2年生、高校2年生 （抜粋）



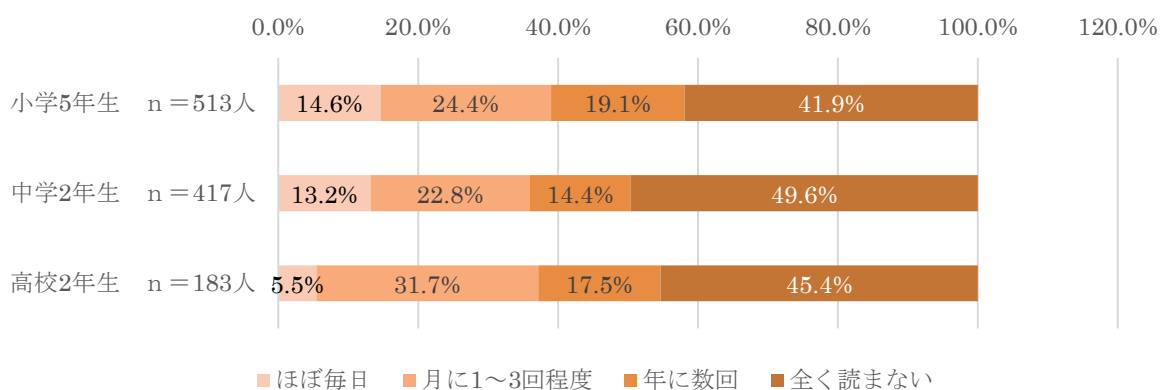
5. 好きな作家や本、マンガ、文章はありますか



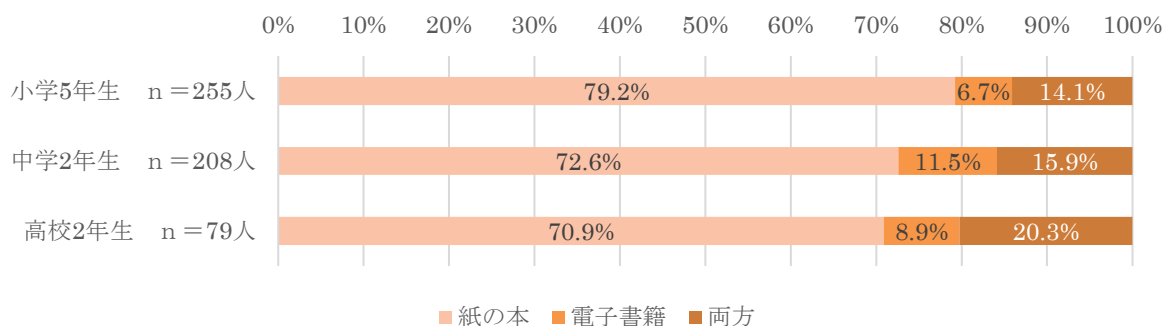
6. 学校の授業時間以外に普段1日にどれくらいの時間読書しますか



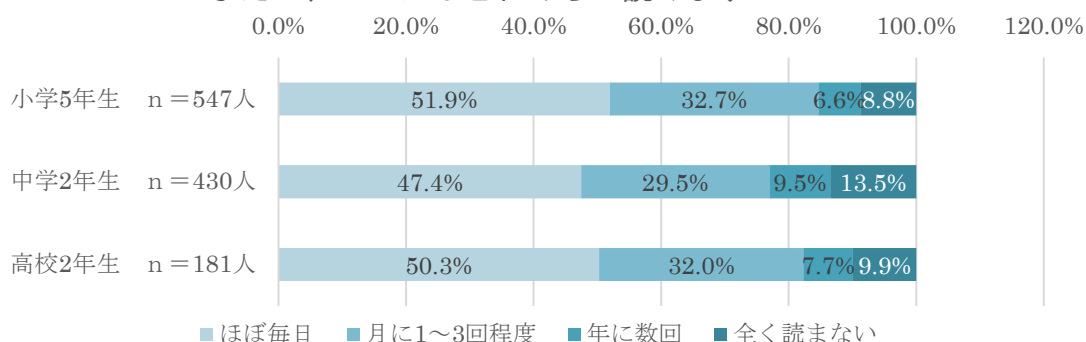
7-1. ふだん、雑誌はどれくらい読みますか



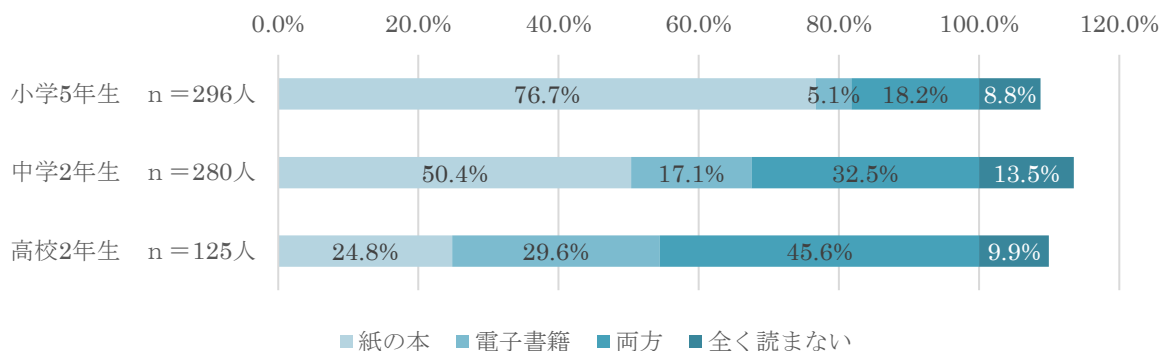
7-2. それは紙の本ですか、電子書籍ですか



7-3. ふだん、マンガはどれくらい読みますか



7-4. それは紙の本ですか、電子書籍ですか



■ アンケート集計 児童、生徒自由意見	
小学5年生 自由意見	
15.自由意見	
施設関係 9件	長くても面白い本とか短いけど、ためになる本とかの種類に分けて、わかりやすいところにおいてほしい。
	個室を作ったら安心して読める。
	〇〇冊読んだら、図書カード1000円分プレゼント。毎月オススめを変えて置いておく。
	ウォーターサーバーなどの水を用意して、マンガなどを増やす。
	子どもが取りやすいように、たなを低くした方がいいと思う。
	1年生、2年生、3年生などに本をわけろ。松塚に図書館をつくってください。
	本のくぎりをもうすこしみやすくしてほしいです。
	サバイバルマンガはどこがいかしよにおいてほしい
	ポップや、その本の内容などが書いてあるプリントをおいてほしいです。
蔵書関係 117件	いろいろな本をだして(もっと)
	サッカーの本を多くおいてほしい(サッカー日本)。
	もっとマンガをふやしてほしいです。
	おもしろい本など色々な本などがよみたいで。
	もっとおもしろい本を出してください。
	もう少し図書館に地図、案内図を置いてほしい。
	「こちらパーティー編集部」の⑦がありません。おいてください(こども図書)。「すとりべりーめもりー」をおいてください。角川つばさ文庫の本をもっとおいてほしい(こども図書)。
	青い鳥文庫の本をもっとふやしてほしい。
	ふくろうについての本をふやしてほしい
	マンガをおいてほしい(ワンピース)。
	ノベライズを置いてほしい。
	シリーズは全巻置いてほしい。
	東京リベンジャーズの本がかりたいです。
	シリーズ本はできるだけ早く入れてください。「黒魔女さんが通る」シリーズ待ってます。
	ヨシタケシンスケの本を置いてほしい。マンガを置いてほしい。
	今人気の本、マンガを置いてほしい。
	あさのあつこさんのミヤマ物語のシリーズをふやしてほしい
	ゲームの本がほしい
	マンガなど子供に人気の本を調べそれを入れる。
	六法全書の本を置いてほしい。
	マンガをいっぱいおいてほしい。
	もっといろんな本をふやしてほしい。
	続く小説やマンガはできるだけ揃えてほしい。
	もう少し静かにできたらいいと思います。「はたらく細胞」(マンガ)や江戸川乱歩さんの作品などをもっと増やしてほしいです。
	本をたくさん置いてほしい。
	ドラえもののマンガ
	マンガを増やして。
	コナンの本を増やしてください。
	「アオアシ」をいっぱい置いてください。サッカー雑誌を置いてください。
	本を増やしてほしい。
	最新刊を加えてください。
	ひろしまれい子さんの本をふやしてほしいです。
	JOJOのマンガ

蔵 書 関 係 1 1 7 件	昆虫の本をふやしてほしい。
	まんがをふやしてほしい。
	おもしろい本をもっとふやしてほしいです。
	まんがをふやしてほしい。できれば、少女まんがや、青年まんが。
	ないワンパンマン
	爬虫類の本をもっと置いてほしい。マンガをもっと置いてほしい。
	十年屋と銭天堂を全巻置いてほしい。ホラーの本をふやしてください。
	サバイバルシリーズの新しいのを図書館(学校)に置いてほしいです。
	ホラーけいをふやしてください。
	るろうけんしん
	ドラエモンと、クレヨンしんちゃんの本を置いてください。
	言語を勉強できる本を置いてください。(韓国語の本)他の言語で書いてある本を置いてください。
	るろうに剣心(北海道編)を入れてほしいです。
	時間割男子(全巻)と炎炎ノ消防隊をおいてください。
	重松清さんの本を置いてほしい。
	こわい本をふやしてください。
	「10歳までに読みたい日本、世界名作」を図書館に置いてください。図書館を増やしてください。
	アガサクリスティーの本「ミスマーブル」や「ポクロ」シリーズをたくさん置いてください。
	マンガ置いてほしい。
	本の数を増やしてほしいです。
	角川つばさ文庫増やしてほしい。
	マイクラフト系
	看護師の本を増やしてほしい。韓国語の本を増やしてください。
	ハッキングの本(ハッキングの学校など)プログラミングの本を追加してほしい。
	こわい本をもっと増やしてほしい。
	マンガをたくさん出してほしい
	読みたい本(リクエスト)に答えたらいいと思う
	さいしんの本をふやしてほしい。
	良ければ、もう少し本の種類を増やしてほしい。
	私は青年の家を何度もいっているのですがいつもヨシタケシンスケの絵本がありません。調べてみたら英語しかなかったのでおいてほしいです。
	マンガもおく
	人気の本(鬼滅の刃など)をたくさんおけばいいと思います。
	もう少し図かんやかいだん話、マンガ(勉強けい)を増やしてほしい。
	もっといろいろな本をおいてほしいです。
	アースパイダーウィッグの本をもっといれてほしい。
	キングダムというまんがを入れてほしい。
	子ども用の本をふやしてほしい。
	マンガもおいてほしい
	マンガなどを、おいてほしい。
	図書館にマンガを置いてほしい。
	作者がゴムドリさんのサバイバルをふやしてほしいです。
	ゆうれいのほんをふやす
	希望……れんあい系のマンガがよみたい
	マンガをおいてほしい(にんき)
	じゅじゅつかいせん 東京リベンジャーズ きめつのやいば のマンガをおいてほしい。

蔵書関係 117件	ミニオンのえいがの絵本
	マンガ系をふやしてほしい たとえば、「キングダム」
	新作の本をたくさん出してほしい。
	マンガを置いてほしい。
	マンガほしい
	まんがほしい。
	まんがほしい
	もうちょっと子供向けの歴史の本をふやして下さい。
	もっと物語系を多くしてほしい。
	学校に気になる本や「あっ、これ読みたい」と思うことが少なくなったので、本の種類をふやしてほしい
	マンガを増やしてほしい
	小説じゃなくマンガで学べる本をふやしてほしい(読む気になるから)
	マンガ、アニメマンガ
	もっと気になるような本がほしい(マンガなど)
	ニャンコ大戦争やカービィのまんがを置いてほしいです。あとワンピースも
	ニャンコ大せんそうとカービィとマリオのマンガをついかと歴史のしょうせつがいい
	ドラゴンクエスト
	ドラゴンクエストの本がよみたい
	マンガをついかして
	マンガをおいてほしい
	すずなあんといばらかせんとすいちょうがいてほしい
	マンガを図書室においてほしい
	青年の家は小説など、と中のかんがあるので、全てのかんを入れてほしい
	ヘレンケラーとか世界のすごい人たちのマンガがあつたらいいなと思う。
	スポーツの本をたくさん置いてほしい。スポーツ選手の本もたくさん置いてほしい。
	マンガをよみたいです。
	シートン動物記ろいう本をふやしてください。
	サッカーの本を多くおいてほしい(サッカー日本)。
	マンガ(頭がよくなる本)をもっとふやしてほしい
	マンガをもっとおいてほしいです。
	ブンブン号が家の近くまで来てくれること。英語の本をふやしてほしい。
	都市伝説の本を置いてほしい(たくさん)
	マンガをいっぱいおいてほしい
	にんたまらんたろうの本をおいてほしい
	こわい話の本をいっぱいつくってほしい
	もっと色々な「しょうせつ」や「マンガ」などを置いてほしい！！
	バレエ関係の本を、もっと、置いてほしいです。
	もっと本をふやしてほしい
	地ばく少年花子くん(マンガ)全かんみたいです。あと、LSのトリセツ(マンガか小せつ)おいてほしいです。タブレットでよめるようにしたいです。)おそらく※「JSのトリセツ」です。
図書館サービス関係 8件	好きな本をとっておける予約のようなものがほしいです。
	借りて読む期間を長くしてほしい。
	本が読みたくなるようなキャッチフレーズをつけてほしい。
	図書館をあんまり見ていませんが〇年生におすすめとか〇〇におすすめですってやってもいいと思うし、人口に紙ではっていいと思います。
	1冊だけだと借りられるのが早いので2冊欲しい。
	おもしろかった本やよんでほしいほんをいらすとかいてかざってほしいです。
	交野市内の図書館はかりれるきかんが1週間ってちょっとみじかい気がするので2週間にしてほしいです。
	店員さんからおすすめをいりいくことが意見です。

施設 配置 関係 7 件	もうちょっと図書館をふやしてほしい
	ぼくの家から図書館がとおいから近くしたい。
	図書館を増やす。
	校区内に建ててほしい。
	図書館をふやしてください。
	交野市にもうちょっと図書館を増やしてほしい。
	としょかんをふやしてください
感想 1 0 件	音楽をつけれるようにする(好きな曲)
	いろんな物語から図鑑があるので僕も好きになりたいです。
	図書館はとても静かで本が読みやすいです。
	図書室で走ってる人とかを減らしてほしいです。
	もっと色々な本を読んでみたいです。
	図書館にはいろんな本があって楽しいです。
	読書手帳を売ってほしい
	とてもいいです 毎週か2週間に1回6さつずつぐらいかりているので便利です 本がたくさんあって選びやすい
中学2年生 自由意見	
施設 関係 6 件	もう少し勉強スペースを増やした方がいいと思う。
	本を見つけやすく、本を増やし、読む場所（いす、テーブル）を増やす。
	自習室がほしい。
	本を入れる棚には仕切りがあった方が良くとおもいます。
	勉強スペースが欲しい。
	水のみ場をつける。（無料）
蔵書 関係 4 4 件	マンガもおいてほしい
	マンガ
	最新の本をもっと入れてほしい
	もっとマンガを増やしてほしいです
	「オンライン」という本を全巻(?) おいてほしい。m(-_-)m
	感動する本をおいてほしい。
	多少はマンガも置いてほしい。電子書籍が本になったライトノベルなどもほしい。
	雑誌「セブンティーン」が交野市の星田会館にあってうれしいので他の雑誌も置いてほしいです。
	ドラゴンボールのまんがをおいてもらいたい。
	今時のマンガをおいて下さい。
	科学のマンガを置いてください
	災害系の本を入れてください。またあれば増やしてください。
	若者向けの小説を増やしてほしい。
	もっとライトノベルや若者に人気な本を置くべき。
	マンガ置けば利用者が増えてイイと思う。
	今どきのよみたい本をおいてほしい。あと、ファッションざっし!
	マンガおいて!!
	最新の本をもう少し置いてほしいです。
	マンガをすこしぐらいおいてください。
	釣りの本が欲しい
	まんがを置いてほしい
	マンガふやせ
	感動する本や、人の気持ちがいっぱい入っている本が見たい
	もっといろんな本おいてください
	集英社の本を増やしてほしいです。

蔵書関係 44件	ラノベの追加おねがいします。（マンガの小説とか）
	まんがに入れてください。
	マンガをおいてほしい
	もっと文庫本を増やしてほしいです。
	もう少し、エドガー・アラン・ポーの本とコナン・ドイルのシャーロックホームズの話を増やしてほしいです。
	「本」について相談できるカウンセリングルーム的なものを設けてほしいのと、女子中学生が読みそうな「中学生雑誌」のようなものも図書館内でよめる本として取り入れてほしい。
	流行ってる本を置いてほしい。
	マンガをたくさん入れてほしい。
	もっとライトノベルの増加を。
	ライトノベルが充実してほしい。
	ライトノベルを増やしてほしい。
	新しい5分後シリーズがあったら置いてください。
	小説も面白いけど、最新のマンガや最新の雑誌なども取り揃えて欲しい。
	マンガをたくさん置いてほしい。（ジャンプなど）
マンガをもっと置いてほしい。	
マンガを増やしてほしい。	
SCP財団やオカルトの本を増やしてほしい。学級文庫を増やして欲しい。	
最近流行しているアニメとかの小説を置いてほしい。	
天国までの49日間を読みたいです。	
感想 5件	がんばってください
	図書館の雰囲気ですつと少し入りにくいと感じてしまうので、もっとオープンな場所にしてほしい。
	図書だけでなく、倉治図書館みたいに卓球台を置いたら、「ついでに読もう！」と思う。
	本をください
	字がいっぱいの本嫌い。
高校2年生 自由意見	
施設関係 8件	勉強するスペースが欲しい。
	カフェを作って欲しい。
	自習室を増やしてほしい。
	勉強できるスペースをもっとたくさん増やしてほしい。
	ゆっくりできるスペースが欲しい
	カフェを中に入れる。（枚方Tサイトみたいな感じ）本から映画化された作品を見れるスペースを作る。
	青年の家以外にも倉治図書館などにも自習室を設置してほしい
出版された年代別に本を並べる棚があれば良いと思います。	
蔵書関係 6件	本数が少ない。
	資格に関しての本を増やしてほしいです。
	マンガをもっとふやしてほしい。
	チェーンソーマンと東京リベンジャーズを読みたいです。P o p t e e n でもいいです。
	最近の漫画を置く
感想 3件	少女まんがとかを、もっと出してほしい
	いろいろな種類の本が置いてあって、いいと思った。
	時間がある時に行きたい
	遠い

■アンケート集計 保護者自由意見

こども園、幼稚園保護者自由意見	
15.自由意見	
施設関係 10件	小さい子だけじゃないですが、大きい声を出しても大丈夫な図書館作りをお願いします。
	図書館の子どもの本の配置が分かりにくい。検索エンジンで調べても本の場所がよく分からない。本のポップなどがあると手に取りやすいと思う。
	倉治図書館によく行きます。キッズスペースが星田図書館みたいに広いと子供たちが通いやすいかと思います。外の公園もブランコだけじゃなくてももう少し遊具がほしい。
	図書館へ時々行くのですが子どもと行くどうしても騒いでしまいます。騒いでも良い、その中で読める！様な所があれば行きやすいです。
	青年の家図書室を利用しますが検索しにくい。見つけにくい。福音館等、数の多いものはとくに探しにくい。同じ書店でもラベルなどで分けるなどして分かりやすくしてほしい。
	本の種類が少ない。本の陳列がわかりにくい、見つけにくいと感じることがあったので改善してほしい（案内板を詳細にするなど）
	市内のどの図書館でも学習できる環境（自習室、新聞の種類と数を増やすなど）がほしい。子どもが中高生になれば図書館へ行き、朝～正午までは自習室、お弁当を食べ昼～息抜きにビデオを見たり音楽を聴いたりしながら自習室で学習できる環境があれば良いなと思う。
	図書館の駐車場をもっと大きくして図書館も2、3階にも作って欲しいです（星田）。
	図書館は家族でよく利用します。小さい子どもはどうしても走ったり叫んだりします。静かにしなければいけないのですが、もう少し読み聞かせ会などして行きやすい雰囲気にして頂ければと思います。
	図書館をよく利用するが子どもがすぐさわいでしまい、他の利用者の迷惑になるのですぐ帰ることになってしまう。子どもだけの絵本部屋を別館など少しはなれた場所に作ってもらえたら助かる。
蔵書関係 17件	私は青年の家図書室をよく利用しますが、絵本の種類、新しい絵本をもっと増やして欲しいです。
	図書館（星田会館）の本が少ないと思います。子供と歩いてしか行かないので近くの行ける図書館に読みたい本が置いていないと諦めています。コロナが流行してから衛生面が少し気になります。
	蔵書を増やす。おすすめPOPをかざる。痛みが多い本は買い換えてほしい。
	見て楽しい読んで楽しい本新しい本をどんどん取り入れてほしい。
	交野市にはたくさん図書館があるのでありがたい。あと蔵書を増やしてほしいです（絵本）
	国語力はすべての教科の土台であり、小さな頃から読書の習慣をつけたいと思います。子どもに良い本をおいて下さい。よろしくお願いします。
	0才、1才児向けの絵本が少なく感じたので増やして頂けると嬉しいです。
	絵本が古すぎる。もっと最新版の本を置いてほしい。人気の本は多く置いてほしい。
	星田に図書室ができて歩いて行ける近さで便利になり嬉しいです。交野市の図書館は本の冊数、設備ともに少し物足りないのが枚方の中央図書館に行くこともあります。それぐらいの規模の図書館に遊びに行く感覚で行けると読書もより楽しくなると思う。また、英語の絵本をもっと増やしてほしい。絵本を日が変わり週が変わりでレコメンドしてくれると自分では選ばないものも手にとってみようというきっかけになる。（育児支援センターで司書さんが色々な絵本を紹介してくれた企画はとっても良かったです。（1才の時参加）
	なるべく新しく清潔感のある本・絵本を充実させてほしい。
	ミニバスを子供がしています。月間バスケットをおいてほしい。ドラえもんやその他アニメの映画etcの小説をおいてほしい。
	本の種類が（星田会館は）少ないです。いつも検索すると「倉治が青年の家にある」と出るが遠い。もっと図書館を増やしてほしいです。
	本が古い（傷み・汚れ）ものが多いのでもう少し手入れをするなり買い直すなりしてほしい。HPが見づらいし使いにくい。本を検索して蔵書情報をみても、どの『館』にあるかわからない時がある。『教文1F書庫』等と表示されるがどの館のことですか？
	星田会館図書室は目新しい（興味をもてる）本が少なく、料理の本も古い。国語の教科書に載っているような有名な本もほとんど見づからず他の図書室に行くことになる。巨大絵本や紙しばいの種類も増やしていただきたいです。
	交野の図書室の本は古い物が多い。古めかしい本が（図書室）借りて読みたいという意欲をなくす。新しい読みたい本はなかなか順番がまわってこない。きれいな広いスペース・沢山の蔵書のある図書館を作ってもらえるのを切に希望。
	読みたい本が倉治に集まっている印象です（星田会館をよく利用します）。「背表紙からの新しい出会い」の為に本の入れ替えとかしてもらえれば…嬉しいなあ…。インターネットの予約では本人（子供）が選ぶことができないので。
サー ビス 関係	誕生日に図書カードをプレゼントしてください。
	図書館で本を手に取り選ぶが一番の魅力だとは思いますが、共働きのとなかなか足を運ぶ時間がとれないのも現状です。ネットやカタログで本を選ぶことが出来、それが自宅ポストに届けばベストですが、そうなるとお金もかかりますよね。駅前のコンビニや保育園で選んだ本が受けとれるシステムがあればなーと思いました。月500円とかくらいかかってもいいので…。
	予約本の保育園での受け取り

サービス関係39件	なかなか本屋さんに行けないので園より紹介（推薦）してもらって取り寄せしてもらえるとうれしいです。
	〇才向けのおすすめ絵本セットとして3冊ぐらいパッキングしておいてもらえると、借りてみようかな？と思えるし、すぐ選べて便利。
	本が自宅に届くサービスがあればいいなと思う。（一緒に図書館に行きたいが、子供が暴れたり騒ぐので静かな図書館はとても気がつかれます…）
	子どもの図書コーナーについては、出版社ごとや作者の五十音順に絵本を並べるよりも、“でんしゃ”や“むし”“たべもの”“どうぶつ”等のようにテーマごとに並べておいて下さるコーナーがたくさんあると小さい子どもも絵本を選びやすい。Tサイトの児童書・絵本はそのようにまとめられていて子どもは自分で選んでいる。
	本の交換イベントをしてほしいです。各自で持ってきたほんと同じ冊数の本をもって帰れるとして、子どもの年齢にあわなくなったのとか読まなくなったほんで読みたい本を交換できたらいいと思います。
	駅や保育園に返却BOXを設置していただきたい。
	私の実家に比べると図書館は充実していると思います。〇年生におすすめ!!とか書いて頂けると気になって手を伸ばすと思います
	本を読みたいと思いますが本が高くてなかなか買うことができません。子どもが小さいとさわぐので図書館も行きづらいです。もっと子供が本を読みやすいように図書カードをくばったり、図書館で借りた本を返却場所をどこでもかえせるように増やしていただきたいと思います。
	図書館をよく利用しています。働いていると駅を利用する方が多いと思うので返却ポストを駅に設置してもらえると助かります。
	本を読みたいと思いますが本が高くてなかなか買うことができません。子どもが小さいとさわぐので図書館も行きづらいです。もっと子供が本を読みやすいように図書カードをくばったり、図書館で借りた本を返却場所をどこでもかえせるように増やしていただきたいと思います。
	近所の図書館を利用して頂いて子供も本が読めて喜んでいる。この時世なのでマンパワーの問題もあり難しいと思いますが、図書館でのお楽しみ会などいつもとても喜んでおり、友人を図書館に誘って行き、本に触れ合ういい機会になっているので今後もそういったイベントや機会が増えるといいなと思っている。
	本を開かなくても内容がわかる（子供の興味を引きそうな）案内文があれば手に取ってみようかなと思います。書店の新刊や話題の売り場のような。
	広報にオススメ本が載っているコーナーがありますが幼稚園や遊び場でも紹介コーナーがあれば本がより身近に感じられそうです。
	本の返却日数をもう少し長くしてほしい。
	家でも読めるように本を買って置いているが、幼稚園から持ち帰る本がお気に入り（一度先生に読み聞かせてもらっているのが良いらしく家でマネして読んでくれている）。これから小学校に入っても一度授業で取り上げた内容のものなど先生からも紹介などあれば興味をしめしたり取っかかりやすいのかな？と思った。
	通っている保育園に借りたい本を届けてくれる取り組みがあると本を借りやすい
	紙しばいを保育園に来ていただいてよんでほしいです（図書館で毎月行っているもの）。仕事をしていたらつれていってあげられないのであれば嬉しいですよ!!
	市内の蔵書にない本を予約する時、インターネットまたはメールでできるようにしてほしい。年齢別ランキング等あれば本を選ぶのに役立つし、小学生だと本を読むきっかけになると思います。
	0～5歳児が図書館の絵本を園で借りれるようにしてほしい。保育園で読んでいる（読んで下さっている）絵本を知りたい。年齢に応じた絵本の紹介をしてほしい。
	年齢毎におすすめの絵本を教えてください。何を読んでもいいと思うけど年齢に合ったものも読んであげたい。
	読みたい本があり、まだ発売前の本など図書館に入庫されてからしか予約が出来ないので発売されてもどのタイミングで図書館に入るかわからず、何度もホームページを確認しなければならないのが不便です。他の市では発売前でも人気の作家（東野圭吾さんや宮部みゆきさんなど）は予約できるところもあります。
	保育園で自分で本を読む機会が増えればいいなと思う
	図書館以外の場所（幼稚園や小学校）でも返却できるようになるといいなと思います。「返しにいく時がないから」借りるのをやめる時があります。
	図書館を利用したことがないので知らないことも多いですが、読み聞かせイベントなんかがあると楽しく子供も興味をもてるように思います。（すでにあればすみません）
	保育園ではどんな本を読んでいるのか、またおすすめの本があれば知りたい。
	交野広報などに年齢別の推薦図書など出して（紹介して）欲しいです。季節に合った物などであればより嬉しいですし、子供と節句の話などできて良いな…と思いました。
	図書館の開館時間について、星田会館図書室の土日の開館時間を早めてほしい。10時では遅い。絵本が破れたままのものが有り修繕しておいてほしい。
	返却BOXを駅前等に置き、利便性をよくして欲しい。仕事と子育てをする中で返却だけでも近所できると大変助かります。図書館までは車でいけないといけなくて…。あさひ幼稚園では年中さんから本の借出しをしてくれています。幼い頃から本を自分で選び、借り、返すという図書館のまねごとを体験させて頂き、とても自然に図書館にも行って楽しんでいます。
	星田会館図書室の時間をもう少し長くして欲しい。18：00では保育園の休みの日しかいけなない。子ども為に借りたくても仕事していると休みの日は買い物などでおわるので…。

サ ー ビ ス 関 係 39 件	図書室で借りた本を気軽に返却できるように駅に返却ポストがあるといいなと思います。
	・あさひ幼児園の貸し出しとしよは」4、5才児のみなので兄弟で借りれないことや乳児が借りれない事が残念。絵本は高額なので絵本の古本市など開催して頂けるとありがたいです。先月、園にブンブン号が来て頂き子どもがとても喜んでいました。ありがとうございます。図書館に授乳スペースや乳児が過ごしやすい（マット、たたみコーナー）、補助便座等充実すると子どもを連れて行きやすいです。
	・図書館の近くに公園や遊具等があると利用者が増えると思います。
	本の種類を増やしてほしい。図書館の数を増やしてほしい。特に幼児書は子どもの手に触れるので新しいものをしてほしい。古く汚い本が多い。交野は図書館ではなくて図書室のようです。あまりにも貧困。司書さんの待遇をよくしてほしい。0～3才の絵本とそれ以外をわけて配置してほしい。赤ちゃん期に親が手に取りやすい、探しやすいので。週1か週2で図書館にお世話になっています。季節ごとや年齢ごとの本があるので子どもも興味をもって読んでよんとなり図書館はありがたい存在です。だからこそ充実させてほしいです。
	校区内に図書館があったり、せめて利用しやすい時間、曜日にブンブン号が来てくれたりすると図書の利用がもっとしやすくなるのではないかと思います。
	児童が自分で予約できるシステムをもう少し考えてほしい。星田をよく利用するがキレイでとても心地良い。
	私は図書館によく行きます。いけない人はどこにあるのかも知らない人が多いです。一度行ってみると時々行くようになることもあるようです。図書館に行くきっかけが作れば本も自然と近くに感じれるのではないのでしょうか。年間100冊読んだ家庭に何かプレゼントをもらえるとかそんなイベントもあるとうれしいです。
施 設 配 置 関 係 6 件	（その時期その時期で発達に合う本があると思うので）ブックスタート事業で4か月以外に各健診でも配布してほしいです。教育に関する書籍など古くて参考になるものが少ないので新しくしていただきたい。ゆうゆうセンターや駅、バス亭などでもかりれるようなシステムが将来できればいいと思う。
	星田会館の時間をもう少し長くして欲しい。
	寝屋川に新しくできた図書館のような生きたくなるような図書館が近場にあるといいなと思いました。
	小さくてもいいので図書館場所を増やしてほしいです。
	もっと図書館がたくさん増えてほしいです（自動車文庫は時間があわず利用が難しいです）。いきいきランドやゆうゆうセンターにサテライトでいいので図書館があればいいなと思います。
	枚方市の図書館の方が本の数も多く、駐車場もあり利用すること多いです。もっと大きな図書館があればいいなあとと思います。
	倉治図書館、星田会館図書室、こども図書室を利用したことがあります。自治体と比べると規模の小ささに驚きました。中心となる図書館1つでも良いので大きくしてもらえると嬉しいです。図書館を見ると、その自治体が教育にどれだけ力を入れているか（お金をかけているか）が分かるというのでその点についても不安を感じます。図書館へのリクエストはすぐに本を入荷していただけるので助かります。職員の方の迅速な対応に感謝します。
感 想 9 件	親が本を読んでいる姿を見れば大きくなって自分で読むのでは？と思います。本を読むというのは楽しい行為で読みたいと思う気持ちがないと無理に読ませるものではないと思います。読みたいと思った時がきたら気軽に手に取れる環境があればいいと思います。
	予約ができてとても活用しています。枚方市と比べて本の種類（冊数）が少ないのが残念ですが、とても満足しています。
	日曜日に図書館（幾野）に行く事が多いです。よく会う図書館の先生がいつも笑顔で本を優しくかしたしてくれます。子供もその先生に会える、と行く事を楽しそうです。先生が楽しそうにお仕事をされているとその場の空気がいいですね(^-^)
	図書館これからもっと活用していきたいです。予約ができるのはとても便利です。
	最近ネットニュースで取り上げられた本を読むことが多く、興味を持った本があれば、まずは図書館においてあるかを調べます。その際にネットで在庫の確認ができるのはとても便利です。それに近くの図書館まで持ってきてもらえるのも助かります。小学生の頃はよく幾野図書室で卓球をしたりジャングルジムで遊んだり、本を借りること自体は少なくとも図書館は身近な存在でした。そういう経験が大人になった今、図書館に足を運ぶことにつながっているのかなとも思います。
	幼稚園の近くに図書館があり、帰り道に寄るようになったことがきっかけで本を手にとること、読むことが身近になりました。そもそものきっかけは図書館の本ではなく敷地内にあった遊具でした。遊ぶ目的で行って、ついでに図書館の中ものぞいてみようというかんじでした。そこから少しずつ本を借りて返してをくり返すうちに、子どもたちは本好きになりました。遊具は撤去されてなくなりましたが図書館に行く習慣は根付いています。本以外でも図書館へ行くほかの目的があれば身近になるのではないかと思います。
	昨年コロナがあり、図書館の利用をやめてしまった。対策はしていると思うが少し不安が大きい。
	図書館のホームページの検索ページが以前の方が見やすく使いやすかったです。
	親が本に興味を抱くきっかけを作る（園経由で）
	読書は今後生きていく際に非常に大切なものだと思います（情緒面、学習面）。近隣の市（寝屋川市や枚方市など）のように交野市の図書館がもっと充実してほしいと思います。

小学5年生保護者 自由意見	
施設関係5件	本を読むスペースが増えると、本を読む人も増えるのではないかと思います。
	12.⑨の質問で和泉市、寝屋川市のようなと書きましたが、大きい図書館を造るとなると、分散していた図書館を閉館しないといけないというデメリットもあると思います。交野は分散していて、子供だけでもいけるのが魅力もあると思いますが、トイレが古くて子供が行きたがらないとかの問題を少し改善していただけたら、もっと子供が行きたいと思ってくれるかなと思いました。
	図書館で勉強しやすいようになっていれば友達と一緒に勉強したり分からない時はすぐに調べられたりできるのになあと思っています。
	フリースペースみたいに子供の遊び場をつくって欲しい。図書館では喋れないためあまり行かないようです。
	駐車場が満車で車が停められないことが多いため(特に土日祝)駐車場を広く確保してほしい。
蔵書関係22件	人気のある本はいつも借りられている状態で読めないことが多いです。数冊用意してもらえると助かります(1巻から読みたくても5巻からしかなくて読めないということがあったりします)
	マンガ本も置いて欲しい。代表的な物でもいいと思うが、学校からアンケートを取って、子どもに読んで欲しいと思うマンガ本を募集するなど。具体的に読んで欲しい気持ちを理解してもらえたら嬉しいです。
	子供の興味が少しかたよった子なので、車の本とかマニアックなものも置いて頂けるとありがたい！！
	学校図書館にもっと色んな本を置いてほしい。本が少ないように思います。
	図書館で電子書籍の貸し出しを考えてほしい。
	図書館の本が古かったり汚れていると読む気がなくなると思います。マンガや動画CDも置いて入口を広くしてほしいです。
	学校の図書室にある本を定期的に入れ換えをしてほしい。子供は本を読むのが好きでよく図書室に行くが、読んだ本が増えていき新しい本が入ってきたらいいのになとよく言っている。
	交野市立図書館の本は古く汚く種類少ない。もっと充実して欲しい。話題の本など少ない。あったと思ったら予約されててなかなか手に入らない。いつの情報？って思う本も多々ある。
	種類が少なく古い本ばかり。
	図書館を週1回利用しますが、予約することが多いので、もっとほんの種類をふやしてほしい。(青年の家)
	(? 判読不能)…のようになり子どもが喜んで読書量が増えたと言いました。予算など問題もあると思いますが面白い方法だと思いました。
	第1児童センターこども図書室に、もう少し年齢高めの本をおいて欲しいです。
	近くの図書館は小さく、おいている本の種類、よみたい本が少ないと子どもがよくばやいています。本屋も近くにないので、もう少し充実していただきたいと思います。
	自転車でもいいので、よく星田会館図書室を利用させてもらっているのですが、高学年以上の子供が読む本をもっと充実させてほしいです。あと、小説なども新しいものを入れてほしいです。
	星田会館図書館の本をもっと増やして欲しい。子供の読みやすい本(小・中学校向け)をもっと置いて欲しい。
	星田会館図書館は新しくキレイなのですが、置いている本が少なく、いつ行っても同じ本ばかりです。
	図書館の本をきれいにしたい。
	児童小説(ジュニア小説)をおいてほしい。怪談本などワクワク、ドキドキの本がほしい。
	子どもが好きな(ほねほねザウルス)の本をよく図書館でかかりますが、人気のため全くない日もあれば2～3冊ほどある日もあります。できればたくさん買ってもらえると嬉しいです。
	子どもたちが読みたいと思っている本を置いてほしい。アンケートBOXがあり読みたい本を書いているが、希望の本を置いてもらえないと言っています。読みたい気持ちがあるうちに置いてもらえると子供も喜ぶと思います。
	よく図書館を利用させてもらってます。第1児童センターにはマンガの読み物もあるけど(偉人伝や歴史)倉治図書館にはないので増やしてほしいです。
	ミステリアスな本や考えさせられる本
サービス関係25件	学年ごとによく借りられている本や話題の本等 借りるものに悩むことが多い為、掲示物で見れるようにすると興味を示すことができる。
	図書館の仕事をやるイベントや子どものぬいぐるみがおとまりするイベントなど、当たったことはないですが、とても素敵なイベントだと思います。本を好きになるきっかけは子どもの興味のある事、好きな事(物)の先に本がある…みたいなイメージがあります。だからこの様なイベントは続けてほしいです。ふと手を伸ばした時にすぐ届くような近い存在の本、図書館であってほしいです。
	市の図書館で本を予約したりしますが、やはり取りに行く時間がない、返却する時間がないなどで利用するのをやめてしまいます。駅前に返却ボックスを置くなど利用しやすくしてほしいです。
	他の市町村などで設置されている「読書通帳機」、またスタンプラリーをしている枚方の図書館やドリンクバーを設置している図書館もありました。図書館に毎週連れて行っているの、そうした行きたくするような試みをしていただけるとありがたいです。
	返却ポストを河内磐船駅に作ってほしいです。
	自動車文庫を交野市内全域で、地域によって期間を決めて走らせてはどうですか。私市では見かけたことがないので。

サ ー ビ ス 関 係 25 件	子供たちが自分でたちで、本を仕入れ、本屋さんのようにほんの紹介タグをつけたらもっと興味がわくと思います。
	朝に一斉の読書時間をつくるetcいかがでしょうか
	毎朝のホームルームの時間を活用するなど、定期的な読書時間を確保することで習慣化する工夫があれば良いと思います。
	実際に本が身近に感じられるイベントがあれば良いと思います。(例えば絵本を読んで実際にやってみよう!や絵本を自分で作って見る企画、谷口さん(四条畷の絵本作家)のライブイベント、植物園で読書イベント)星田図書館がとても明るくて行きやすいですいつもありがとうございます。
	親や身近なものが(家族)進んで本を読む姿を子どもが見ていれば自然と子供も読書が好きになると思います。親自身が読書をする時間や、曜日を決めてでも読書していく習慣をつけていく事が大切なのだと感じます。図書館でも、小学生の学年ごとに毎月'おすすめの本'(数冊でも)をホームページ(夏休み前だけではなく)で載せて頂けるととても子どもにも本を進めやすくなると思います。
	図書館(室)に行っても、子供がどんな本を読んでいるのか、読みやすい面白い本が分からないと手に取ろうとしないので、いくつか紹介したり、おすすめなど置いてあると選びやすくなると思います。
	閉館時間をもっと遅くしてほしい(枚方図書館のように19:00とかです)
	電子書籍の貸出し、希望文庫の郵送、返却も郵送とかできたらどうでしょうか?読みたくる本の紹介がわかりづらい→課題図書の一覧など。本好きにはあのこまかい字で本の表紙だけで、読みたいと思えるかもしれませんが、本や活字を読まない人が読んでみたいと思える紹介をしてもらえたらいいと思います。YouTubeやアニメの方が子供たちにわかりやすく手取り早く、手にしやすくなるでしょうね。
	子どもに読んでほしい本を図書館の一角にコーナーとして並べて置いてもらって手取りやすいと思います。(小学生向け)
	以前は朝読の時間みんなで読んでいたけど、今は読む時間はないと聞いています。本を読むとカードに記入して先生にハンコをもらったり楽しみもありましたが…。そういう取り組みを府kk津させてほしいです。
	子どもが図書館に行きたくるようなイベントを行ってほしいです。
	他県で取り組んでいる図書館通帳(自分が読んだ本が銀行の預金通帳のように記録できるもの)をやってほしい。目で見ただけ読んだか何を読んだかわかるふり返る時も楽しそう。
	おすすめの本などを紹介してほしい。
	子供に読ませるではなく自ら読んでみたいと興味を持つことが大事だと思うので、図書館・図書室だけではなく、普段教室など何気なく手にとれる環境があると良いかと思います。さまざまな種類を週ごとに入れ替えるなどその本についてコメントを自由に書いたりみんなで紹介しあったりできる時間もあったらよりすばらしいと思います。
施 設 配 置 関 係 9 件	ぬいぐるみのお泊り会がよかったです。大人側からすると好ましくないと思いますが、寝転ぶ、音楽を聞きながら友だちとしゃべりながらリラックスできる個々のスタイルで楽しめる空間となれば、足を運びやすくなると思います。ほかにも本以外にマンガや映画のオススメや感想のコーナーがあってその原作の本を紹介するなどあればラノベやマンガに親しい世代も関心が少しは持てるのではないのでしょうか。
	東倉治にもブンブン号」が来たくれたらうれしいです!!図書館に隣接してcaféがある、保育士さんが常駐している、BGMが流れているetc…通いやすい通いやすい図書館が理想的だなと思います。
	大人にも子ども用にも簡単なあらすじを紹介したカードなど貼っていただけるとありがたいです。
	コロナがはやっている今、買いに行く事やかりのに抵抗があります。学校が支給しているタブレットで電子書籍の無料レンタルなどやったら子供たちも読みやすいくないと思います。
	TVで以前、他の地域での取り組みで読書記録として通帳のようなものがあり読書をするごとに数字が増えていくので、読書貯金など。
	小学生がひとり歩いて行ける)に1つは図書館をつくる。私市小学校区内には無いと思うのですが…
	自宅から図書館まで子どもだけでは行けないので、子どもが気軽にいつでも本を読みに行ける場所が近くにあればと思います。
	図書館は徒歩や自転車ですぐ行ける、身近な場所にあるのが理想です。市の中心的な場所に大きい図書館があり、家の近くにもゆっくり過ごせるスペースのある図書館があれば居場所にもなり本に親しみやすいのかなと思います。
	広い図書館を交野市内に作ってほしい。そこでイベント等を実施してほしい。土・日だけではなく平日の開催も希望。
	枚方寝屋川の図書館のような立ち寄りたくなるきれいで充実した施設を希望する。
感 想	いつも枚方市中央図書館を利用しています。とても本を探しやすいです。交野市にも大きな図書館や誰でも立ち寄りやすい場所が増えると嬉しいですね。
	ゆうゆうセンターに図書室がほしい
	いっぱい本がある図書館を建てて欲しい、色々な市に行って色々な図書館を見たが交野は小さすぎると思う。
	図書館の本が全体的に古い。もっと大きなきれいな図書館をつつてほしい。

感想 11 件	図書館の本の予約、ホームページからよくさせて頂いています。いつもありがとうございます。開館時間でも外のポストに返却可にして頂けたらとてもありがたいです。(小さい子を連れて自転車からおろし中に入りまた自転車に乗せて、、、それだけで時間が取られます。)
	場所が遠い為通えないのであまり図書館は利用しない。
	新型コロナウイルスの影響で図書館が利用できない事が残念なのですが、いつ開館なのかどうかの情報も入ってこないで、それも困っています。
	例えば絵本を読んで実際にやってみよう！や絵本を自分で作ってみる企画、谷口さん(四条畷の絵本作家)のライブイベント、植物園で読書イベント)星田図書館がとても明るくて行きやすいです。いつもありがとうございます
	コロナで利用をひかえています。
	市内の図書館ならどこでもネット予約できて、近くの図書館で受け取れるため助かっています。
	藤が尾にブンブン号が来なくなった星田出張所もなくなったのいので、図書館へ行くの遠のいてしまった。また、コロナで行くの多少考える、、、。
	交野市の小学校の図書館に、司書の先生を常駐させて頂けたなら、子供達のちょっとした質問の答えや本を選ぶ際のアドバイスなどを頂けると、より一層良い環境になるなあ...と思っています。市の図書館の司書の皆様もいつも子供達に優しく接して下さい、ありがとうございます。
	本にふれる機会があると子供も読みだす(図書館に行く読み聞かせのイベントなど)なかなかその機会をあたえられない。時間を親がつくりずらくなっている为学校での図書の時間はありがたいです。
	今の子供達は時間が無い子(習い事をたくさんしている子)が多いと思うので、家で気軽に読める電子書籍が、図書館のように無料レンタルできれば、本を読む子供が増えるのでは?と思います。
施設 関係 7 件	一度借りて気に入った本などを購入して手元に置きたい時が多々あるので(いつでも読めるように)やはり値段が安くなったり中古本などの入手先が増えるとうれしいです。
	いろんなご家庭があるので、平等にするには学校の図書室で週1~2回、全員本を借りて、朝10分間本を読む時間を取ってあげないと、本を借りたところで読まずに返却となると思う。ビブリオバトルに参加するのもいいのでは。本を読むのに順位をつけるのはどうかと言われるが、結局、読書感想文(夏休みの宿題)も選んで表彰する訳ですし、中学に行けば内申も点数化される。ゲームの好きな年代だからこそ、ビブリオバトルいいと思います。
	倉治図書館の絵本コーナーが出版社別になっていて大変探しづらい。
	青年の家図書室をよく利用させて頂いています。整理整頓が行き届いていて、気持ちがいいのですが、重苦しい雰囲気なのです。他の図書室や図書館に比べると設備も古く、せまいのは、理解できるのですが、職員の方達も楽しく働いてる様には感じません。もっと明るい雰囲気になれば利用しやすいと思いました。(職員の方は、きちんとされています。本当にありがとうございます。)
	仕事でブンブン号や図書館をよく利用します。リクエストにもこたえて頂きありがとうございます。もう少しゆったりした場所で読書したい(ソファなどイスの工夫があればよい)
	ゆっくり読める場所が図書館に少ない。
	本の貸出以外で図書館に足を運ぶような施設やイベントが充実すれば子供が本を目にしたり手に取る機会が増えると思う。
	コロナ対策が学校によって違い、図書室の本の貸出が s t o p している学校がある。子供の好きな本が継続して読めず、本離れにつながりそう。本の貸出以外で図書館に足を運ぶような施設やイベントが充実すれば子供が本を目にしたり手に取る機会が増えると思う。
	図書館(←希望します)をもっと大きくしてほしい。交野市に本屋をもっと建ててほしいと思います。(住んでいる地区には本屋がありません)学校で感想文を書くことを意識させてほしい。小学校の頃からビブリオバトル等を積極的に導入してほしい。
	中・高生向けの蔵書数を増やして欲しいです。
蔵書 関係 10 件	子どもの興味がある本をたくさん置いて欲しい。人気のある本はなかなか借りれないので、できるだけ早く順番がまわってきたらいいと思います。
	図書館で新しい本が手に入りにくい。図書館でも漫画の貸し出しが充実すると良い。
	第1児童センターに年齢高めの本をもう少しおいてほしい。
	わが子(中学生)はライトノベルをよく読みますが図書館にはあまりないので書店やネットで購入しています。読みたい本があれば書店や図書館にも足を運びほかの本も目にするきっかけになるとと思います。
	先日久しぶりに図書館へ行きました(青年の家)。小学校低学年や絵本コーナーと大人のコーナーは充実していましたが、中高生コーナーがもっと充実すればいいと思いました。サッカーの戦術の本等もっと目立つところに置けばサッカー人口の多い小中学生も手に取り、本をよむきっかけになるとと思います。
	こども図書室だけではなく、その他の図書室にもYAコーナーの本を増やして欲しい。
	新刊、話題作を増冊して頂けたら嬉しいです。

蔵書	中高生が楽しく読める本を市の図書館に増やしてほしい。
	もっとたくさん本を置いて欲しい。予約をしてもなかなか順番が回ってこなく読める事がよくある。種類も少ない。
サ ー ビ ス 関 係 5 件	図書館の開館時間を延長してほしい。
	図書館が少し近寄り難い雰囲気なのかも知れません。もう少し身近な施設になるようなイベント、相談会、お話会などあればいいなと思いますが、コロナ禍では難しいですね。
	東倉治のほうにもブンブン号が来てくれたらうれしいです！！
	手に取って読みたくなるようなPOPがあっても良いと思う。
	子どもが自分で小説などを作るアプリやネットサイトがあれば楽しんで文章を作れるようになりそうだし、他の人はどんなのを作ってるのかなあと興味も持つようになるかなあと思う。
関係 施設 1 件 置	交野市として大規模な図書館を作ってほしい。
感 想 7 件	学校の図書室がいきやすい雰囲気だいいと思う。
	図書ボランティアのみなさん、いつも子供達の為にありがとうございます。（星田小学校の）星田出張所がある時は子供がちよくちよく図書館に行きましたが、星田会館になってからは少し通うのが遠くなり行ってませんが、このアンケートをきに行ってみようと思いました。星田会館の図書はきれいでよさげなので他の図書館も一回見に行こうと思います。
	読みきかせが平日にあるので、仕事が休みの土日に読みきかせがあればなあ。と子どもが幼い時に思っていました。
	（コロナ対策は必要だと思うが、）図書館の本を手に取りにくくなった。図書館に行っても短時間ぶらぶらして出てきてしまう。
	個人的には、読書推進活動を自分もできることがあればしたいですし、協力できることがあればしたい。活動のプロフェッショナルの方？がおられるなら話をきいてみたい。
	感謝しています。これから子どもたちが興味をもてる新しい本をどんどん入れてもらえるとありがたいです。
	子供が小さな頃に、読書をすると言うより、無我夢中になれる本を探して出会えたらいいのではと思う。

P8 より

本計画にかかる交野市のアンケート調査

○時期 令和3年6月～10月

○調査対象

（ア）市内公立小中学校の児童・生徒

（小学5年生：635人、中学2年生：569人）

（イ）市内府立高等学校の生徒

（高校2年生：271人）

（ウ）保護者（（ア）児童・生徒の保護者）

（小学5年生保護者：422人、中学2年生保護者：242人）

（エ）公立小中学校〔全数調査〕小学校10校・中学校4校

（オ）学校図書担当教員 14人

（カ）公・私立認定こども園、保育所、小規模保育施設〔抽出調査〕計20園

（キ）保護者（（カ）の保護者）〔抽出調査〕465人

（ク）4か月児健診受診保護者〔抽出調査〕87人

参-3.

子どもの読書活動の推進に関する法律

平成 13 年法律第 154 号

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めな

ればならない。

- 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
- 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

- 2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。
- 3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

○ 衆議院文部科学委員会における附帯決議

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

- 一 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。
- 二 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。
- 三 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことができる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。
- 四 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。
- 五 子どもの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。
- 六 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

参一4. 用語集

ア行 ・ アクセシブルな書籍

点字図書、拡大図書、録音図書、さわる絵本、LLブック、布の絵本等、視覚障がい者等がその内容を容易に認識することができる書籍

・ 移動図書館「ブンブン号」BM (Book Mobile)

自動車に図書資料を積み、固定の図書館から離れている地域を対象に図書サービスを提供する。

・ ICT

Information and Communication Technology の略。情報通信技術のこと。情報処理及び情報通信に関連する技術の総称

・ SNS

Social Networking Service の略。人と人との社会的な繋がりを維持・促進する様々な機能を提供する、会員制のオンラインサービス

・ えほんのひろば

たくさんの絵本や図鑑、写真集などを表紙が見えるよう並べた広場のようなスペースを設け、子どもが本をくつろぎながら読んだり、眺めたり、読んでもらったりする活動

・ LL ブック

エルエルブック、「LL」とは、スウェーデン語の「Lattlast (分かりやすく読みやすい)」の略で、「LLブック」は、読むことに困難を伴いがちな青年や成人を対象に、生活年齢に合った内容を、分かりやすく読みやすい形で提供すべく書かれた本のこと

力行 ・ 学習指導要領

全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省が学校教育法等に基づき、各学校で教育課程（カリキュラム）を編成する際に定めている基準

・ 学校司書

学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する者。学校図書館法では、「司書教諭」のほか、学校司書を置くよう努めなければならないと定められている。

・ 子ども文庫

地域において、本を備え付けて近隣の子どもたちに、本の貸出やおはなし会、手作り遊びなどを行う組織及びその活動

・ 子ども読書の日 4月23日

「子どもの読書活動の推進に関する法律」により4月23日と定め、国民の広くに子どもの読書活動について関心と理解を求めるとともに、子どもの積極的読書活動を高めるために設けられた。

・ こどもの読書週間

4月23日から5月12日。昭和34年に、「子どもたちにもっと本を」、「子どもたちにもっと本を読む場所を」との願いから、「こどもの読書週間」が誕生。全国の出版社、取次店、書店、図書館等の団体でつくれる「読書推進運動協議会」が主催団体となり、運動を進めている。

サ行 ・ 司書

図書館の専門的職員で、司書資格所有者。図書館資料の選択、発注及び受け入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを行う専門的職員

・ 司書教諭

学校図書館法により、全国の12学級以上の小・中・高等学校に司書教諭が配置されることになった。司書教諭は学校図書館における資料整理、貸出、読書指導などの日常業務を行うなど、子どもの読書活動推進の担い手として期待されている。

・ 書架 本を並べて置く棚。本棚

・ 相互貸借

図書館の間で資料を貸し借りすること。近くの図書館に所蔵されていない場合などに他市等の図書館から取り寄せる。

・ 書誌 本の情報を記載したもの

・ 全国学力・学習状況調査

文部科学省が、全国的に子ども達の学力状況を把握するため、平成19年度から実施している調査

・ さわる絵本

さまざまな材料を用いて盛り上がった形の挿絵を作り、それを貼り付けるなどして、指でさわって絵が分かるようにした絵本

タ行～

・団体貸出

図書館が学校や地域の子ども文庫、幼稚園や保育所、PTA、ボランティアグループ、事業所などに、図書館の本等をまとめて貸し出すこと。

・対面朗読

視覚による読書に困難を感じている人を対象として、本や雑誌等を代読すること

・電子書籍

電磁的に記録され、電子端末機器を用いて読めるようにした書籍。動画や音声が再生可能なものもある。電子書籍には、あらかじめ固定されたレイアウトで表示される「固定レイアウト型」と端末の画面に合わせて自動表示され、文字の大きさも変更できる「リフロー型」がある。

・ぬいぐるみお泊り会

アメリカで始まったと言われ、お気に入りのぬいぐるみを図書館に預けて、お泊りの疑似体験と図書館に行くきっかけに、ぬいぐるみと幼児の写真撮影なども行われている。

・ビブリオバトル（知的書評合戦）

発表者がお薦めの本の魅力を5分間で紹介し合い、聞いていた人たち全員で「一番読みたくなった本」（チャンプ本）を投票で決めるゲーム感覚で楽しめる書評合戦

・複本

図書館に同じ本を複数冊所蔵すること

・ブックスタート

1992年に英国のバーミンガムで始まった運動。地域で生まれた全ての乳児に0歳児健診等を利用して「赤ちゃんの絵本を開くひとときの楽しさや大切さ」といったメッセージを伝え、絵本を手渡し取組み

・ブックトーク

テーマにそって、何冊かのさまざまなジャンルの本を順序だてて聞き手に紹介すること。効果として、その本が読みたいという気持ちを起こさせる。知らなかった本や分野に出会える等。

・ブックリスト

ある基準やテーマで選択した本を紹介する簡便な選定目録。形態は様々

・学びあいサポーター（交野市独自の制度）

平成25年度「交野市学校教育ビジョン」から、市内全小・中学校の学校図書館に配置されている。学校教育ビジョンの柱の一つである「言語活用力の向上」にある学校図書館の活用として、各教科、領域の特性に応じて教職員と協働し、授業づくり支援、情報提供等の学習活動や図書館業務を行っている。

・ヤング・アダルト（YA）

Young Adult の略。主に12歳から18歳の中学生・高校生を中心とした10代の若者を指す

・YouTube

Google社の運営する世界最大の動画共有サービス

・よみきかせサポーター（交野市独自の制度）

独自の資格制度を構築し読み聞かせの普及に努めた。講習会参加と読み聞かせ経験等を考慮し、読み聞かせサポーター資格を授与。H29年度より「よみきかせサポーター養成講座」を3年連続で実施し、R元年度で事業終了。修了生は年度ごとにグループを結成、図書館でのおはなし会を担当するほか、各自で学校図書館ボランティアとしても活動しており、「地域組織の連携と支援」という面においても、後継者不足に悩むボランティアの支援となった。

・レファレンス（参考業務）

図書館利用者が学習・研究・調査等のために必要な資料及び情報を求めている場合に、図書館の資料と機能を活用して資料の検索を援助し、資料を提供し、あるいは回答するサービス

第4次交野市子ども読書活動推進計画

発行年月 令和4年(2022年)3月

発行 交野市・交野市教育委員会

編集 交野市教育委員会事務局 生涯学習推進部 図書館

〒576-0051 大阪府交野市倉治6丁目9番20号

電話 072(891)1825 FAX 072(891)1811 URL <https://www.katanotoshokan.jp>

